Canon

レーザビームプリンタ

Satera

ネットワークガイド／本編

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

本書の構成について

ネットワーク設定項目一覧やネットワークボードのおもな仕様、索引などを掲載しています。

● ご確認ください

- お使いのプリンタによって、対応するネットワークボードのファームウェアのバージョンが異なります。古いバージョンのファームウェアの場合、正常に動作しないことがあります。
  キヤノンホームページ（http://canon.jp/）から、最新のアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアを更新してください。
  なお、プリンタに付属の CD-ROM 内の「NB-C1_Firmware」フォルダに収められているアップデートファイルを使用して、ファームウェアを更新することもできます。
  プリンタに付属のCD-ROMに収められているファームウェアのバージョンの確認方法および更新方法については、「NB-C1_Firmware」フォルダに収められている README ファイルをご覧ください。
- PDF形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

目次

第３章　ネットワーク環境でプリンタを管理するには

第４章　困ったときには

第５章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：[OK]
　　[設定]

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

お使いになる前に

この章では、ネットワーク環境で印刷、管理するときに必要な作業の概要とソフトウェアのシステム環境について説明しています。

ネットワーク環境で印刷・管理するときに必要な作業

ネットワーク環境で印刷する環境を設定する

プリンタを設置し、オプションのネットワークボードを装着したあとに行う作業は以下のとおりです。

メモ　ネットワークボードの取り付けかたについては、ネットワークガイド／スタート編「第2章 ネットワークボードの取り付け」を参照してください。

■ プリンタドライバをインストールする

※ プリンタドライバのインストール方法は、2種類あります。
インストール方法によって、IPアドレスの設定方法やポートの作成方法が異なります。

＜自動セットアップ＞

CD-ROM Setup
からインストールする
（→P.2-2）

※ IPアドレスの設定、ポートの作成、プリンタドライバのインストールを一度に行うことができます。

＜手動セットアップ＞

IPアドレスの設定

- NetSpot Device Installer による IPアドレスの設定（→P.2-26）
- ARP/PING コマンドによる IPアドレスの設定（→P.2-35）
  ※ Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している場合、ARP/PINGコマンドでIPアドレスの設定を行います。
- プリンタステータスウィンドウによる IPアドレスの設定（→P.2-37）
  ※ すでにUSB接続でプリンタドライバがインストールされているときは、プリンタステータスウィンドウから設定を行うことができます。
  ※ LBP3600をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウによるIPアドレスの設定はできません。

▼

ポートの作成

Print Monitor Installer による
Canon CAPT Print Monitor のインストール（→P.2-40）

▼

プリンタドライバのインストール

［プリンタの追加ウィザード］からの
プリンタドライバのインストール（→P.2-44）

▼

■ プリンタのプロトコル設定をする

※ プロトコル設定は、必要に応じて行います。
プロトコル設定の方法は3種類あり、ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。

プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバのインストール方法は以下の 2 種類あります。インストール方法によって、ネットワーク環境で印刷するために必要な IP アドレスの設定やポート（Canon CAPT Port）の作成方法が異なります。

■ CD-ROM Setup からインストールする（→P.2-2）
付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）からプリンタドライバをインストールすると、IP アドレスの設定、ポートの作成を一度に行うことができ、簡単にネットワーク環境で印刷する環境を設定することができます。

■ 各種ユーティリティソフトウェアを使用して、手動でインストールする（→P.2-25）
付属の CD-ROM に収められているソフトウェア（「NetSpot Device Installer」、「Print Monitor Installer」）や ARP/PING コマンドなどを使って IP アドレスの設定やポートを作成し、［プリンタの追加ウィザード］からプリンタドライバをインストールします。

プリンタのプロトコル設定をする

プリンタドライバのインストールが終わったら、必要に応じてプリンタのプロトコル設定を行ってください。プリンタのプロトコル設定は、次のいずれかのソフトウェアを使用してお使いのコンピュータから設定できます。

■ リモート UI によるプロトコル設定（→P.2-72）
お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プロトコル設定を行います。

■ NetSpot Device Installer によるプロトコル設定（→P.2-82）
付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動し、基本的なプロトコル設定を行います。DNS サーバや SMTP サーバの設定をする場合は、リモート UI、FTP クライアントを使用してください。

■ FTP クライアントによるプロトコル設定（→P.2-88）
コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、ネットワークボードの FTP サーバにアクセスし、プロトコル設定を行います。

ネットワーク環境でプリンタを管理する

次のソフトウェアを使用して、プリンタの状況の確認や各種設定など、ネットワーク環境でプリンタの管理を行うことができます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。「ネットワーク設定項目一覧」（→P.5-2）を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。

■ リモート UI（→P.3-3）
リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザを使ってプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プリンタの状況やジョブ履歴の確認、ネットワークやセキュリティに関する設定などができます。

1

お使いになる前に

■ NetSpot Device Installer（→P.3-48）

NetSpot Device Installer は、付属の CD-ROM に収められているソフトウェアです。NetSpot Device Installer はインストールが不要なソフトウェアで、付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動し、プロトコル設定やデバイス情報の設定ができます。

■ FTP クライアント（→P.3-46）

FTP クライアントは、コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、ネットワークボードの FTP サーバにアクセスし、デバイスに関するさまざまな情報の設定、ネットワークやセキュリティに関する設定ができます。

■ NetSpot Console（→ オンラインマニュアル）

NetSpot Console は、お手持ちの Web ブラウザを使ってネットワークに接続されているさまざまなプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。プリンタの一覧表示やマップ表示など、さまざまな情報の表示ができます。

重要　NetSpot Console を使用する場合は、ネットワーク上にあるいずれかのコンピュータに NetSpot Console がインストールされている必要があります。インストールされているコンピュータがない場合は、インストールしてください。インストール方法については、NetSpot Console の Readme を参照してください。詳しい操作方法については、NetSpot Console のオンラインマニュアルを参照してください。

メモ　NetSpot Console は、キヤノンホームページ（http://canon.jp）からダウンロードしてインストールします。

必要なシステム環境

プリンタドライバ

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版 *
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版 *

* 32 ビットプロセッサバージョンのみ

重要
- 日本語以外の OS には対応していません。
- 動作環境や推奨環境については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

■ インタフェース環境

- コネクタ：10BASE-T または 100BASE-TX
- プロトコル：TCP/IP

メモ
- サウンドをお使いになる場合は、PC 音源（および PCM 音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PC スピーカードライバ（speaker.drv）はお使いにならないでください。
- Macintosh へのプリンタドライバのインストール、およびMacintoshからのネットワーク経由での印刷には対応しておりません。

Print Monitor Installer（Canon CAPT Print Monitor）

Print Monitor Installer（Canon CAPT Print Monitor）を利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版 *
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版 *

* 32 ビットプロセッサバージョンのみ

重要　日本語以外の OS には対応していません。

・動作環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium II 300MHz 以上	Pentium II 300MHz 以上
メモリ（RAM）*	64MB 以上	128MB 以上
ハードディスク	20MB 以上	20MB 以上

（IBM-PC 互換機）

* お使いのコンピュータのシステム構成や使用するアプリケーションにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

・推奨環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium III 600MHz 以上	Pentium III 600MHz 以上
メモリ（RAM）	128MB 以上	256MB 以上

■ プロトコル

- TCP/IP

リモート UI

リモート UI を利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ Web ブラウザ

- Netscape Navigator 4.7 以降
- Internet Explorer 4.01SP1 以降

■ OS

- 上記の Web ブラウザが動作する OS

■ ディスプレイ

- 解像度：800 × 600 ピクセル以上
- 表示色：256 色以上

メモ　Web サーバなど、上記以外のソフトウェアは必要ありません。（Web サーバはプリンタに内蔵されています。）

NetSpot Device Installer

NetSpot Device Installer を利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Microsoft Windows 98 日本語版＋ Service Pack 1 以降
- Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0日本語版＋Service Pack 4以降*
- Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版

* ネットワークの設定を行うことはできますが、印刷することはできません。

■ コンピュータ

- 上記 OS が動作するコンピュータ

■ ハードディスク

- 15MB以上の空き領域(本ソフトウェアをコンピュータにインストールして使用する場合)

■ プロトコル

- TCP/IP

■ プロトコルスタック

- Windows に付属の TCP/IP プロトコル

ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには

2
CHAPTER

この章では、ネットワーク環境で印刷するための設定方法について説明しています。

ソフトウェアをインストールする

お使いのコンピュータにプリンタドライバをインストールします。プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバのインストール方法は以下の 2 種類あります。インストール方法によって、ネットワーク環境で印刷するために必要な IP アドレスの設定やポート（Canon CAPT Port）の作成方法が異なります。

■ **CD-ROM Setup からインストールする（→P.2-2）**

付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）からプリンタドライバをインストールすると、IP アドレスの設定、ポートの作成を一度に行うことができ、簡単にネットワーク環境で印刷する環境を設定することができます。

■ **各種ユーティリティソフトウェアを使用して、手動でインストールする（→P.2-25）**

付属の CD-ROM に収められているソフトウェア（「NetSpot Device Installer」、「Print Monitor Installer」）や ARP/PING コマンドなどを使って IP アドレスの設定やポートを作成し、［プリンタの追加ウィザード］からプリンタドライバをインストールします。

重要　プリンタドライバは本プリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。

メモ　プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続するときや、コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、ネットワーク環境で接続するときのソフトウェアのインストール方法は、「ユーザーズガイド」を参照してください。

CD-ROM Setup からインストールする

付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）からプリンタドライバをインストールする方法を説明します。付属の CD-ROM からプリンタドライバをインストールすると、IP アドレスの設定、ポートの作成を一度に行うことができ、簡単にネットワーク環境で印刷する環境を設定することができます。

お使いの機種によって、インストール方法が異なります。

• LBP5000、LBP3500 の場合（→P.2-3）
• LBP5600、LBP3600 の場合（→P.2-15）

重要　ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中でメッセージが表示されます。インストールを中止し、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。

メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

LBP5000、LBP3500 の場合

1 コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

2 コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。

メモ　Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ずAdministrators のメンバとしてログオンしてください。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

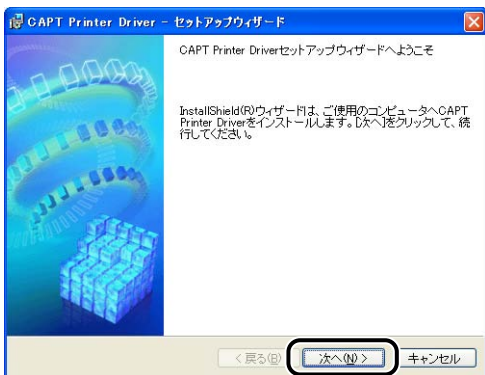
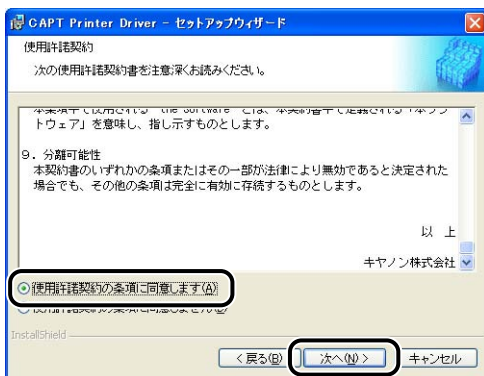
重要　CD-ROM Setup が表示されない場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、[OK] をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

4 [おまかせインストール] または [選んでインストール] をクリックします。

[おまかせインストール] は、プリンタドライバの他に取扱説明書も同時にインストールできます。取扱説明書をインストールしない場合は、[選んでインストール] を選択します。

5 ［インストール］をクリックします。

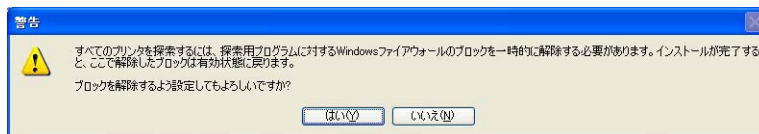
手順４で［選んでインストール］を選択した場合は、［オンラインマニュアル］のチェックマークを外してから［インストール］をクリックします。

6 ［次へ］をクリックします。

7 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

8 ［ネットワーク上のポートを探索してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

9 ［追加と削除］をクリックします。

ネットワーク上の TCP/IP ポートを探索して、プリンタを自動的に検出します。

Windows XP Service Pack 2などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、以下の画面が表示されます。

すでにプリンタの IP アドレスが設定されている場合は、［いいえ］をクリックします。
ブロックを解除して、IP アドレスが設定されていないプリンタを検出する場合は、［はい］をクリックします。

メモ　あらかじめ IP アドレスを設定する場合は、インストールを中止して、「各種ユーティリティソフトウェアを使用して、手動でインストールする」（→P.2-25）を参照して、IP アドレスを設定してください。

10 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択し、［インストールするプリンター覧へ追加］をクリックします。

メモ　［プリンター覧］にインストールするプリンタが表示されない場合は、コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

● ［デバイス名］に本プリンタの名称が表示されている場合

❑ インストールするプリンタを選択し、［インストールするプリンター覧へ追加］をクリックします。

メモ　お使いの環境によっては、［プリンター覧］の［IP アドレス］に「192.168.0.215」（ネットワークボードの初期設定値）と表示されます。IP アドレスを変更する場合はインストールが終わったあと、「プリンタのプロトコル設定」（➞P.2-71）を参照して IP アドレスを変更してください。

● ［デバイス名］に［不明なデバイス］と表示されている場合

❑ ［不明なデバイス］と表示されているプリンタを選択し、［IP アドレスの設定］をクリックします。

メモ　［不明なデバイス］が複数表示されている場合は、インストールするプリンタの MAC アドレスを選択します。MAC アドレスは、ネットワークボード裏面の（A）の部分に記載されています。

❑ ［IP アドレスの設定］ダイアログボックスでプリンタの IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

［自動的に取得する］：DHCP を使用して IP アドレスを取得します（DHCP サーバが起動されている必要があります）。DHCP サーバの設定については、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
［次の IP アドレスを使う］：直接 IP アドレスを指定します（IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します）。

メモ　［プリンター覧］にインストールするプリンタが表示されない場合は、以下の操作を行ってください。

・［プリンター覧の更新］をクリックします。再度ネットワーク上のプリンタを探索します。
・［IP アドレスで探索］をクリックします。表示された［IP アドレスで探索］ダイアログボックスで、インストールするプリンタの IP アドレスを入力して［OK］をクリックすると、入力した IP アドレスのプリンタを探索します（IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します）。

11 ［OK］をクリックします。

Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windowsファイアウォール機能が有効になっている場合、以下の画面が表示されたときは、［はい］をクリックします。

ポート（Canon CAPT Port）が自動的に作成されます。

12 ［インストールするプリンター覧］に本プリンタが追加されていることを確認します。

● プリンタの共有設定などプリンタ情報の設定を行わない場合

❑ ［次へ］をクリックします。

● プリンタの共有設定などプリンタ情報の設定を行う場合

❑ ［プリンタ情報を設定する］にチェックマークを付けて、［次へ］をクリックします。

❑ プリンタ情報を設定します。

設定する項目

［プリンタ名］：	プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力します。
［プリンタを共有する］：	インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合、［プリンタを共有する］にチェックマークを付けます。
［通常のプリンタとして使う］：	本プリンタを通常使うプリンタとして使う場合、［通常のプリンタとして使う］にチェックマークを付けます。

❏ ［プリンタを共有する］にチェックマークを付けた場合、［詳細設定］をクリックして、共有プリンタの詳細を設定します。必要であれば共有名を変更します。ネットワーク上に OS が Windows 98/Me のコンピュータがある場合は、［Intel Windows 98/Me］を選択し、［OK］をクリックします。

❏ ［次へ］をクリックします。

13 ［開始］をクリックします。

Windows XP Service Pack 2などの Windowsファイアウォール機能を持っている OSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、プリンタ共有時のクライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除するかどうかを設定します。
プリンタの共有機能を使用する場合は、[はい] をクリックします。
プリンタの共有機能を使用しない場合は、[いいえ] をクリックします。

メモ　インストール後でも、付属の CD-ROM に収められている「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、Windows ファイアウォールの設定を変更することができます。詳しくは、「ユーザーズガイド」を参照してください。

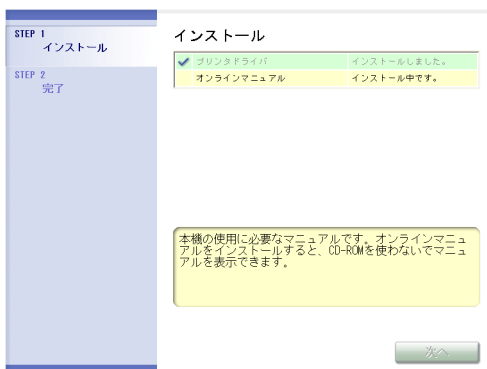
14 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

メモ
- Windows 2000 をお使いの場合、[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 をお使いの場合、[ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。

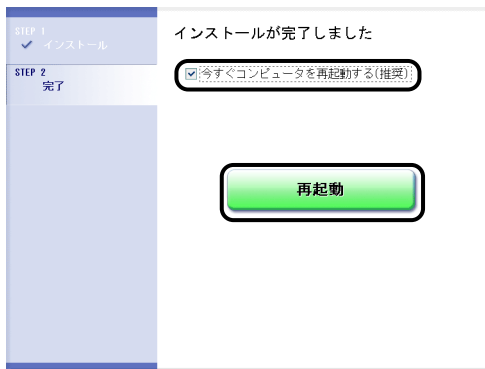
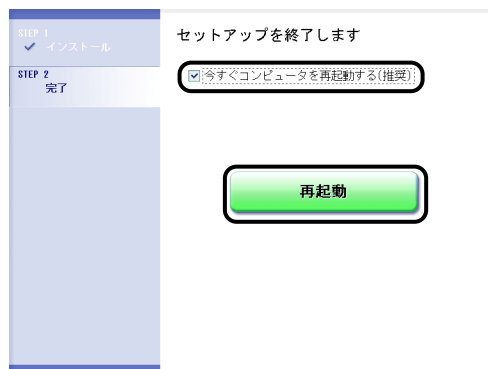
15 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、[はい] をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

16 プリンタドライバのインストール完了の画面が表示されますので、[終了] をクリックします。

17 手順４で［おまかせインストール］を選択した場合は、取扱説明書がインストールされます。

18 インストール結果を確認して、[次へ] をクリックします。

メモ　正常にインストールされなかった場合は、「インストールのトラブル」(→P.4-2) を参照してください。

19 [今すぐコンピュータを再起動する] にチェックマークを付けたあと、[再起動] をクリックします。

• LBP5000 の場合

• LBP3500 の場合

Windows が再起動します。

プリンタドライバのインストールが完了しました。プロトコル設定を行う場合は、「プリンタのプロトコル設定」(→P.2-71)を参照してください。

LBP5600、LBP3600 の場合

1 **コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認します。**

2 **コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。**

メモ　Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ずAdministrators のメンバとしてログオンしてください。

3 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

重要　CD-ROM Setup が表示されない場合は、[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択して「D:¥Japanese¥CNAC2MNU.exe」(LBP5600 の場合)/「D:¥Japanese¥CNAB1MNU.exe」(LBP3600 の場合)と入力し、[OK]をクリックします。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)

4 ［ドライバインストール］をクリックします。

5 言語を確認し、［はい］をクリックします。

6 ［次へ］をクリックします。

7 内容を確認して、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

8 [ネットワーク上のポートを探索してインストール] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

9 [追加と削除] をクリックします。

ネットワーク上の TCP/IP ポートを探索して、プリンタを自動的に検出します。

Windows XP Service Pack 2などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、以下の画面が表示されます。

すでにプリンタの IP アドレスが設定されている場合は、［いいえ］をクリックします。
ブロックを解除して、IP アドレスが設定されていないプリンタを検出する場合は、［はい］をクリックします。

メモ　あらかじめ IP アドレスを設定する場合は、インストールを中止して、「各種ユーティリティソフトウェアを使用して、手動でインストールする」（➞P.2-25）を参照して、IP アドレスを設定してください。

10 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択し、［インストールするプリンター覧に追加］をクリックします。

メモ　［プリンター覧］にインストールするプリンタが表示されない場合は、コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認してださい。

●［デバイス名］に本プリンタの名称が表示されている場合

❑ インストールするプリンタを選択し、［インストールするプリンター覧に追加］をクリックします。

メモ　お使いの環境によっては、［プリンター覧］の［IP アドレス］に「192.168.0.215」（ネットワークボードの初期設定値）と表示されます。IP アドレスを変更する場合はインストールが終わったあと、「プリンタのプロトコル設定」（➞P.2-71）を参照して IP アドレスを変更してください。

● [デバイス名] に [不明なデバイス] と表示されている場合

❑ [不明なデバイス] と表示されているプリンタを選択し、[IP アドレスの設定] をクリックします。

メモ　[不明なデバイス] が複数表示されている場合は、インストールするプリンタの MAC アドレスを選択します。MAC アドレスは、ネットワークボード裏面の（A）の部分に記載されています。

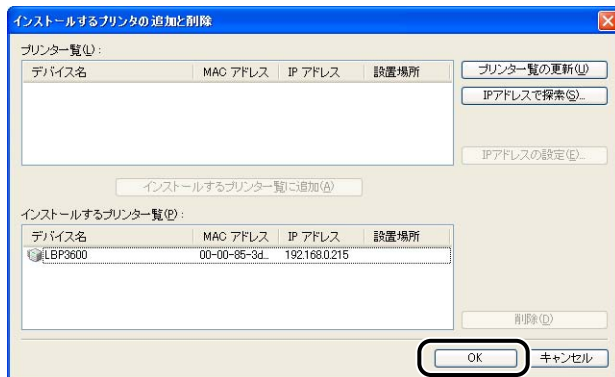
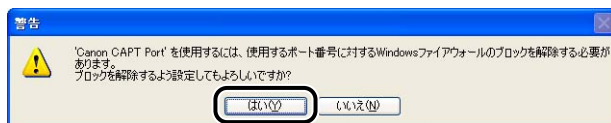
❑ [IP アドレスの設定] ダイアログボックスでプリンタの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

[自動的に取得する]：DHCP を使用して IP アドレスを取得します（DHCP サーバが起動されている必要があります）。DHCP サーバの設定については、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
[次の IP アドレスを使う]：直接 IP アドレスを指定します（IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します）。

メモ

[プリンター一覧]にインストールするプリンタが表示されない場合は、以下の操作を行ってください。

・[プリンター一覧の更新]をクリックします。再度ネットワーク上のプリンタを探索します。
・[IP アドレスで探索]をクリックします。表示された[IP アドレスで探索]ダイアログボックスで、インストールするプリンタの IP アドレスを入力して[OK]をクリックすると、入力した IP アドレスのプリンタを探索します(IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します)。

11 [OK]をクリックします。

Windows XP Service Pack 2などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、以下の画面が表示されたときは、[はい]をクリックします。

ポート(Canon CAPT Port)が自動的に作成されます。

12 ［インストールするプリンター覧］に本プリンタが追加されていることを確認します。

● ［プリンタ情報を設定する］の項目がない場合や、プリンタの共有設定などプリンタ情報の設定を行わない場合

❑ ［次へ］をクリックします。

● プリンタの共有設定などプリンタ情報の設定を行う場合

❑ ［プリンタ情報を設定する］にチェックマークを付けて、［次へ］をクリックします。

❑ プリンタ情報を設定します。

設定する項目

［プリンタ名］：　プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力します。

［プリンタを共有する］：　インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合、［プリンタを共有する］にチェックマークを付けます。

［通常のプリンタとして使う］：本プリンタを通常使うプリンタとして使う場合、［通常のプリンタとして使う］にチェックマークを付けます。

❑ ［プリンタを共有する］にチェックマークを付けた場合、［詳細設定］をクリックして、共有プリンタの詳細を設定します。必要であれば共有名を変更します。ネットワーク上に OS が Windows 98/Me のコンピュータがある場合は、［Intel Windows 98/Me］を選択し、［OK］をクリックします。

❏ ［次へ］をクリックします。

13 ［開始］をクリックします。

Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、プリンタ共有時のクライアント側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックを解除するかどうかを設定します。
プリンタの共有機能を使用する場合は、［はい］をクリックします。
プリンタの共有機能を使用しない場合は、［いいえ］をクリックします。

メモ　インストール後でも､付属のCD-ROMに収められている「CAPT Windowsファイアウォールユーティリティ」を使用して、Windowsファイアウォールの設定を変更することができます。詳しくは、「ユーザーズガイド」を参照してください。

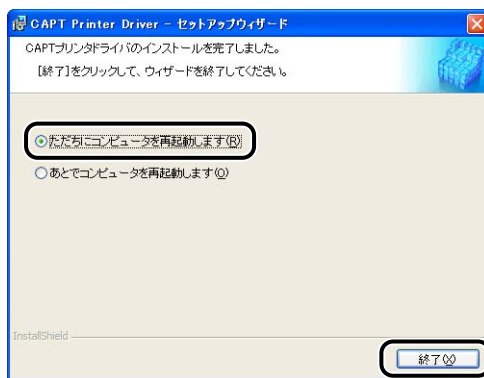
14 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

メモ

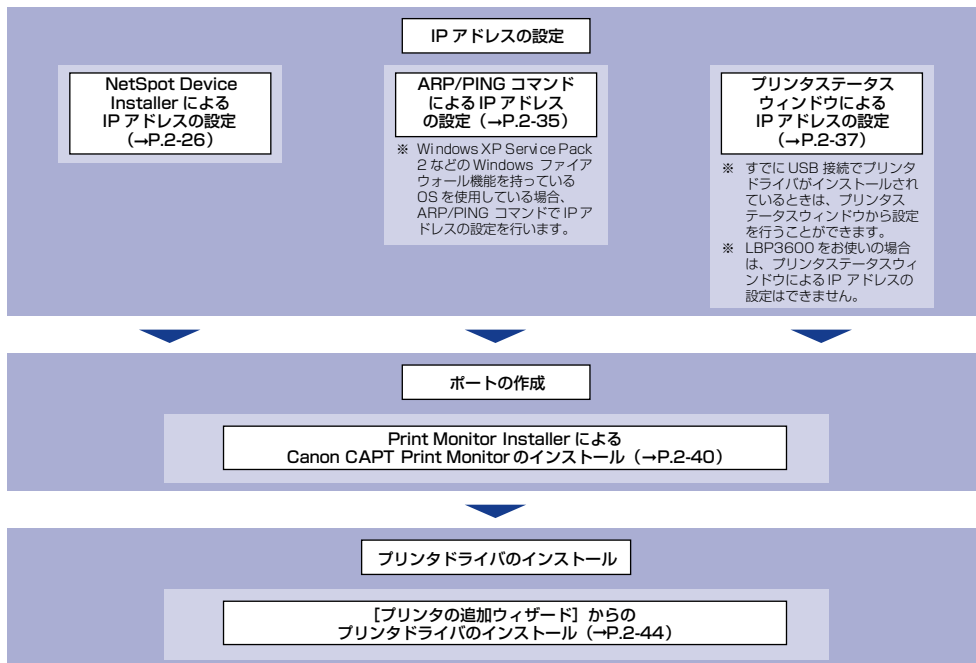
- Windows 2000 をお使いの場合、［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 をお使いの場合、［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

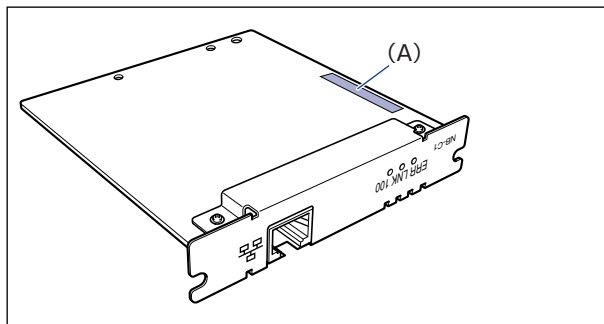
15 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

16 インストール完了の画面が表示されますので、［ただちにコンピュータを再起動します］を選択し、［終了］をクリックします。

Windows が再起動します。

プリンタドライバのインストールが完了しました。プロトコル設定を行う場合は、「プリンタのプロトコル設定」（→P.2-71）を参照してください。

各種ユーティリティソフトウェアを使用して、手動でインストールする

各種ユーティリティソフトウェアを使用して、手動でインストールする方法を説明します。次の図のように［プリンタの追加ウィザード］からプリンタドライバをインストールする前に、IP アドレスの設定やポート（Canon CAPT Port）を作成して、プリンタとお使いのコンピュータが通信できる環境を設定する必要があります。図に示した手順にしたがって、ネットワーク環境の設定をしてからプリンタドライバをインストールしてください。

メモ

ARP/PING コマンドを使用して IP アドレスの設定をする場合は、MAC アドレスが必要です。MAC アドレスは、ネットワークボード裏面の（A）の部分に記載されています。

NetSpot Device Installer による IP アドレスの設定

- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、IP アドレスはARP/PING コマンドを使用して設定することをおすすめします。ARP/PING コマンドを使用して設定する方法については、「ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定」(➞P.2-35)を参照してください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合に、NetSpot Device Installer を使用して IP アドレスを設定するときは、以下のどちらかの操作を行ってください。
  - ・[Windows ファイアウォール]ダイアログボックスの[例外]ページに「NetSpot Device Installer」を登録する(➞NetSpot Device Installer の Readme)
  - ・NetSpot Device Installerをインストールする(➞P.3-49)

メモ

- ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。
- ここでは、NetSpot Device Installerをインストールせずに使用する手順で説明します。NetSpot Device Installer をインストールする方法については、「NetSpot Device Installerを使用してプリンタを管理する」(➞P.3-48)を参照してください。

1 **コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認します。**

2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

● LBP5000、LBP3500 に付属の CD-ROM をセットした場合

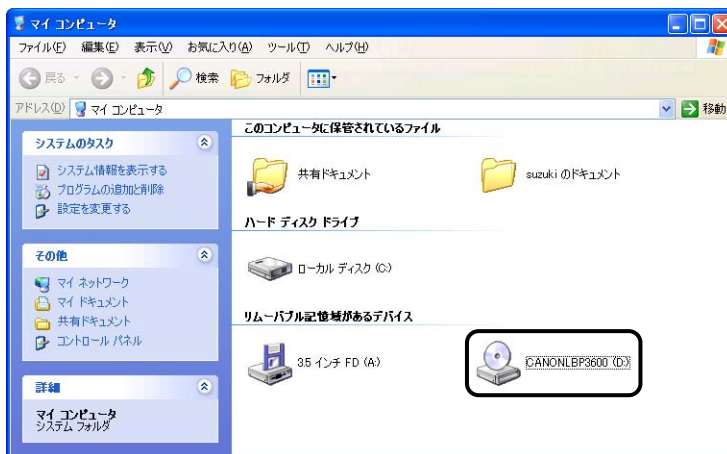
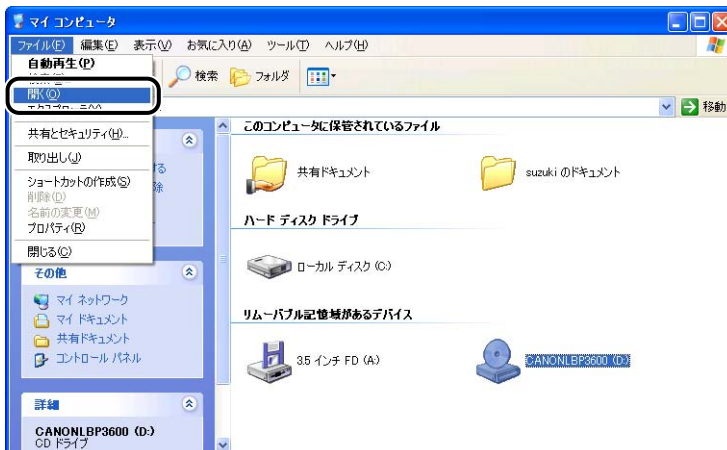
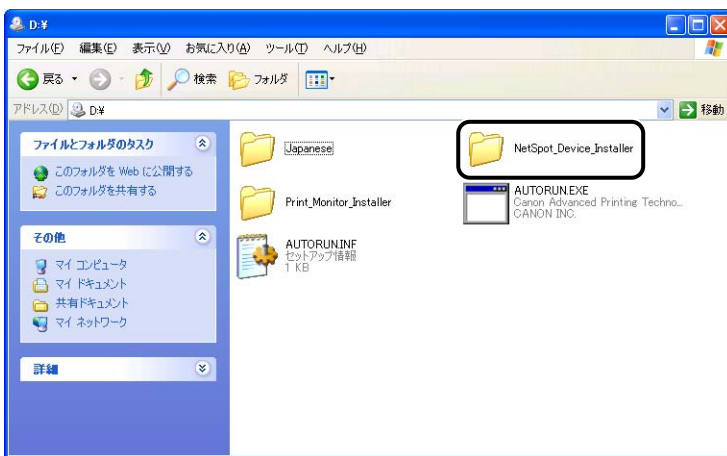
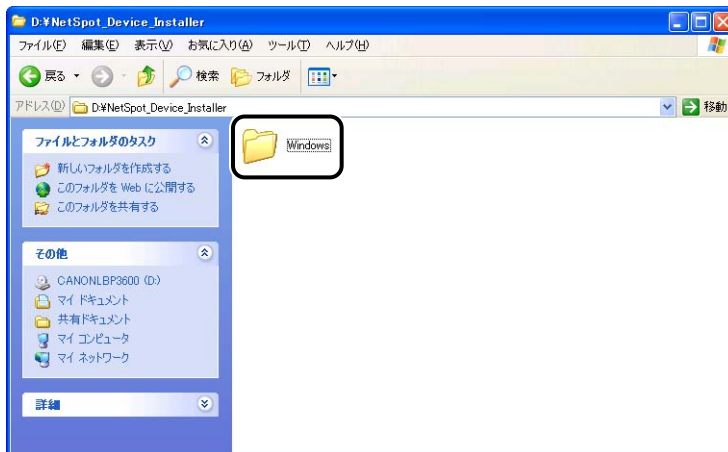
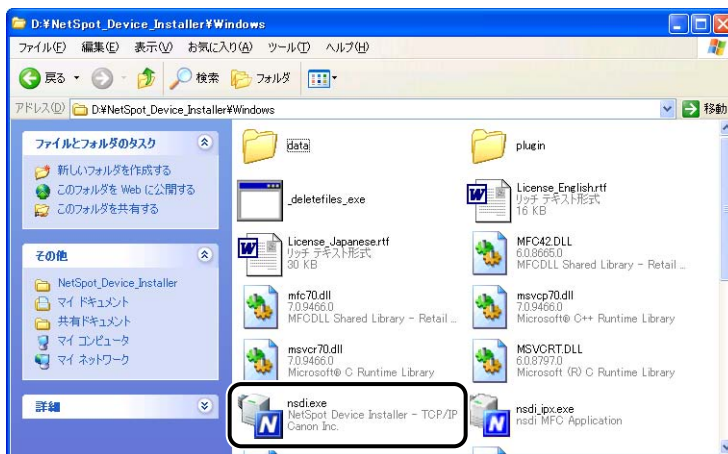
❑ [付属ソフトウェア]をクリックします。

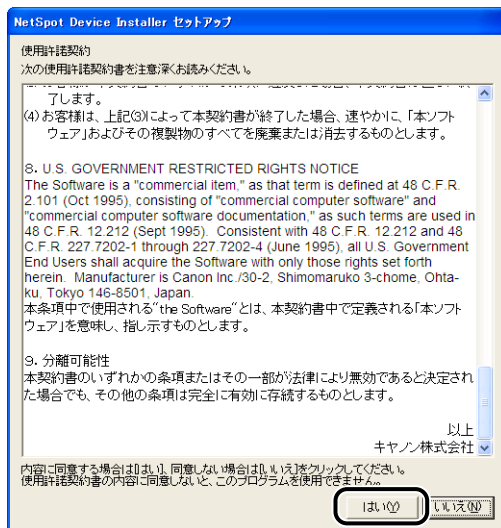
❏ ［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［起動］をクリックし、手順 9 に進みます。

● LBP5600、LBP3600 に付属の CD-ROM をセットした場合

❏ 手順 3 に進みます。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

3 ［マイコンピュータ］を開き、CD-ROM ドライブを選択します。

4 ［ファイル］メニューから［開く］を選択します。

5 ［NetSpot_Device_Installer］フォルダをダブルクリックします。

6 ［Windows］フォルダをダブルクリックします。

7 ［nsdi.exe］をダブルクリックします。

［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

8 内容を確認して、[はい]をクリックします。

NetSpot Device Installer が起動し、プリンタの探索が開始されます。

9 IP アドレスを設定します。

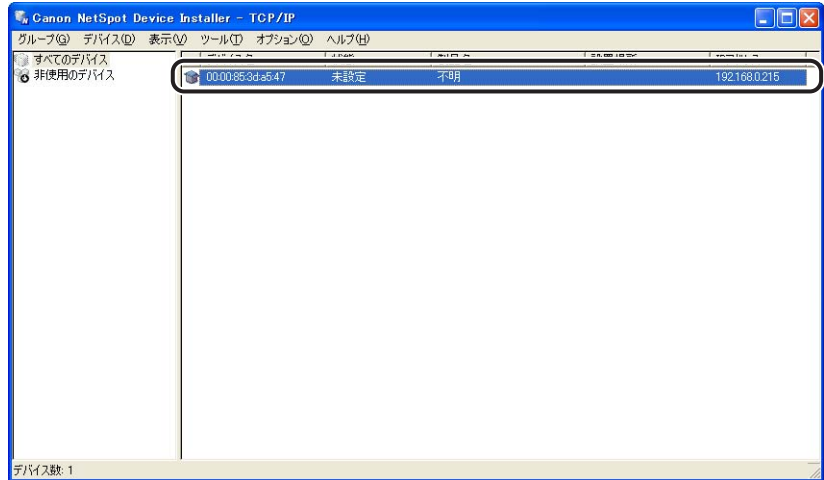
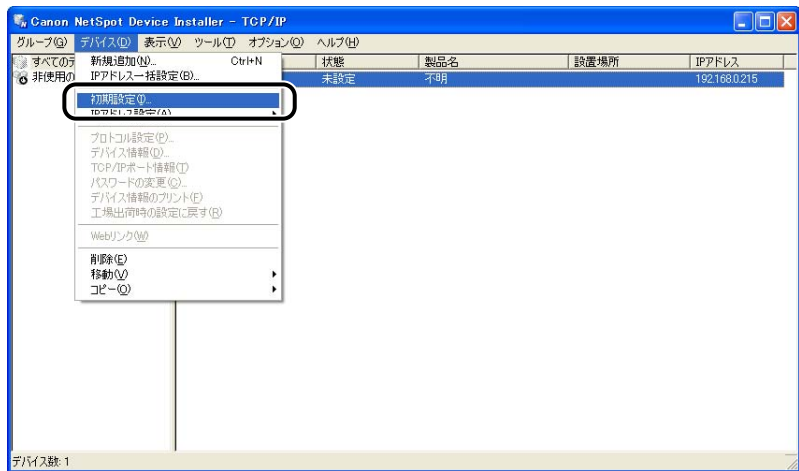
お使いの環境によって、NetSpot Device Installer の表示が異なります。
デバイスリストに表示された内容に応じて、以下の手順を実行してください。

- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、IP アドレスが設定されていないプリンタは表示されません。IP アドレスは ARP/PING コマンドを使用して設定することをおすすめします。ARP/PING コマンドを使用して設定する方法については、「ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定」（➞P.2-35）を参照してください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合に、NetSpot Device Installer を使用して IP アドレスを設定するときは、以下の操作を行ってください。
  - ・[Windows ファイアウォール]ダイアログボックスの[例外]ページに「NetSpot Device Installer」を登録する（➞NetSpot Device Installer の Readme）
  - ・NetSpot Device Installer をインストールする（➞P.3-49）

メモ

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS 以外をお使いで、目的のプリンタが探索されない場合は、[表示] メニューから [デバイスの探索] を選択して、再度プリンタを探索してください。

● ［状態］が［未設定］となっていて、［デバイス名］がネットワークボードのMAC アドレスとなっているデバイスが、デバイスリストに表示されている場合

❏ 上記デバイスを選択します。

❏ ［デバイス］メニューから［初期設定］を選択します。

メモ

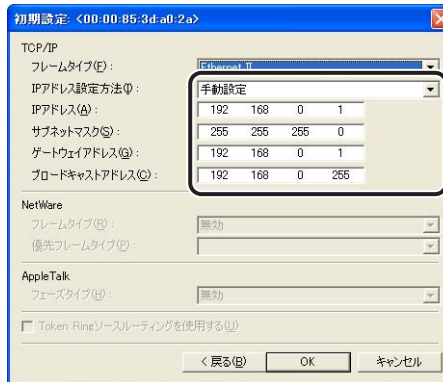
選択したデバイスを右クリックして、ポップアップメニューから［初期設定］を選択しても同じ操作になります。

❏ ［初期設定］ダイアログボックスで以下の項目を設定したあと、［次へ］をクリックします。

設定する項目

［サブネット］： NetSpot Device Installer を実行しているコンピュータが複数のネットワークに接続されている場合（複数のネットワークインタフェースボードが装着されている場合）は、設定するデバイスが属しているサブネットを選択します。

［製品タイプ］： ［Satera ＋ NB-C1］を選択します。

❏ IP アドレスを設定します。

設定する項目

［IP アドレス設定方法］： IP アドレスの設定方法を選択します。

［手動設定］： 直接 IP アドレスを指定します。［IP アドレス］に入力した IP アドレスが、ネットワークボードに設定されます。

［DHCP］： DHCP を使用して IP アドレスを取得します。（DHCP サーバが起動されている必要があります。）

［IP アドレス］： ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

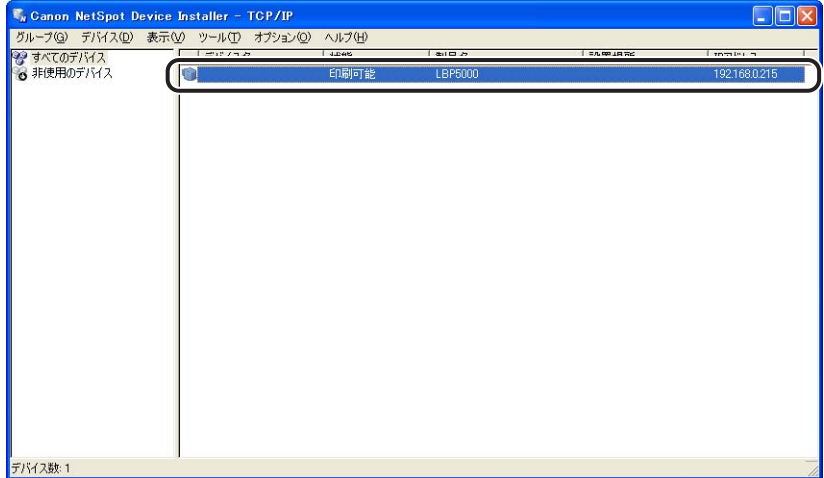
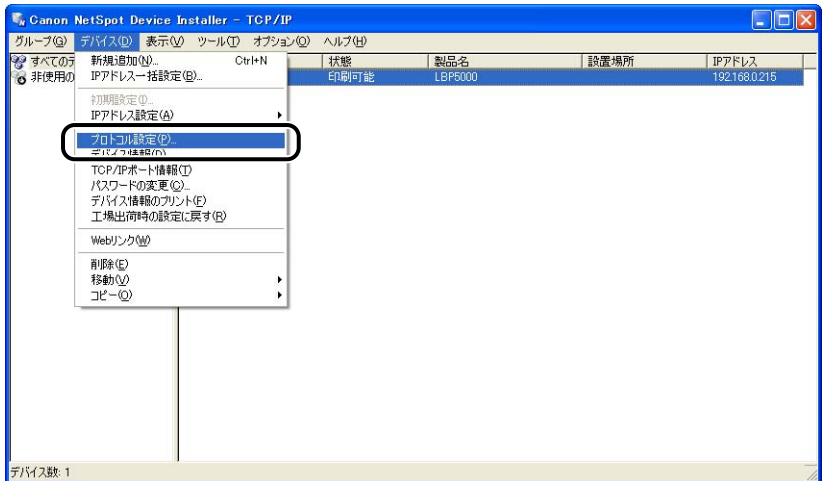
必要に応じて設定する項目

［サブネットマスク］： TCP/IP ネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

［ゲートウェイアドレス］：　TCP/IP ネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

［ブロードキャストアドレス］：TCP/IP ネットワークで使用しているブロードキャストアドレスを入力します。

● ［IP アドレス］が工場出荷時の IP アドレスとなっているデバイスが、デバイスリストに表示されている場合

❑ 上記デバイスを選択します。

❑ ［デバイス］メニューから［プロトコル設定］を選択します。

❏ IP アドレスを設定します。

設定する項目

[IP アドレス設定方法]：　IP アドレスの設定方法を選択します。

- [手動設定]：　直接 IP アドレスを指定します。[IP アドレス] に入力した IP アドレスが、ネットワークボードに設定されます。
- [自動検出]：　RARP、BOOTP、DHCP を使用して IP アドレスを取得します。
- [RARP]：　RARP を使用して IP アドレスを取得します。(RARP デーモンが起動されている必要があります。)
- [BOOTP]：　BOOTP を使用して IP アドレスを取得します。(BOOTP デーモンが起動されている必要があります。)
- [DHCP]：　DHCP を使用して IP アドレスを取得します。(DHCP サーバが起動されている必要があります。)

[IP アドレス]：　ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

必要に応じて設定する項目

[サブネットマスク]：　TCP/IP ネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

[ゲートウェイアドレス]：　TCP/IP ネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

メモ

- RARP、BOOTP、DHCP を選択したときは、[IP アドレス] は入力できません。
- RARP、BOOTP、DHCP を使用できないときは、[手動設定] に設定してください。

● 上記のどちらにもあてはまらない場合

❑ Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS 以外をお使いで、ネットワークケーブルが正しく接続されていて、本プリンタの電源が入っているにもかかわらず、NetSpot Device Installer の表示が上記のどちらにもあてはまらない場合は、本プリンタの IP アドレスの工場出荷値と同じ IPアドレスを持つデバイスがネットワーク上に存在している可能性があります。この場合は、同じ IP アドレスを持つデバイスの電源をいったん切るか、またはネットワークから切り離して、手順 1（➞P.2-26）から操作をやり直してください。本プリンタの設定が完了したら、既存のデバイスを元の状態に戻してください。この方法が不可能な場合は、ARP/PING コマンドを使用して設定を行ってください。ARP/PING コマンドを使用して設定する方法については、「ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定」（➞P.2-35）を参照してください。

10 **設定が終了したら、［OK］をクリックします。**

11 **「デバイスをリセットしました。」と表示されたら、［OK］をクリックします。**

正常にリセット処理を行うため、［OK］をクリックしたあと、約 20 秒間はそのままお待ちください。
リセットが完了すると、設定が有効になります。

次に Canon CAPT Print Monitor のインストールを行ってください。（➞P.2-40）

ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定

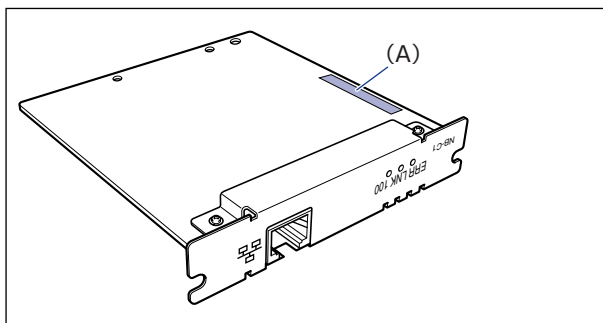
1 **コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトを起動します。**

Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。
Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。
Windows Me の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［MS-DOS プロンプト］を選択します。
Windows 98 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［MS-DOS プロンプト］を選択します。

2 以下のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

arp -s ＜ IP アドレス＞ ＜ MAC アドレス＞

IP アドレス：	プリンタに割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた 4 つの数字（0 ～ 255 の数字）で指定します。
MAC アドレス：	プリンタの MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」で区切って入力します。
入力例：	arp　-s　192.168.0.215　00-00-85-05-70-31

メモ　MAC アドレスは、ネットワークボード裏面の（A）の部分に記載されています。

3 以下のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

ping ＜ IP アドレス＞ -l 479

IP アドレス：	手順 2 で使用した IP アドレスと同じアドレスを指定します。
入力例：	ping　192.168.0.215　-l　479

ネットワークボードに IP アドレスが設定されます。

メモ
- 「-l」の l は、アルファベットの l（エル）です。
- サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、［0.0.0.0］に設定されます。

4 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトを終了します。

次に Canon CAPT Print Monitor のインストールを行ってください。（➞P.2-40）

プリンタステータスウィンドウによる IP アドレスの設定

すでに USB 接続でプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタステータスウィンドウから設定を行うことができます。

重要　LBP3600 をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウによる IP アドレスの設定はできません。

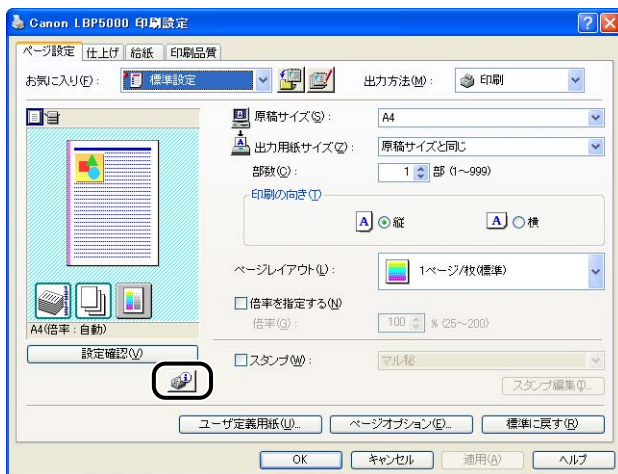
メモ　ここでは Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1　**[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] ➞ [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] ➞ [プリンタと FAX] の順にクリックします。

2　**本プリンタのアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [印刷設定] を選択します。**

Windows 98/Me の場合は、本プリンタのアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

3　**[ページ設定] ページを表示させ、[ ] (プリンタステータスウィンドウを表示する) をクリックして、プリンタステータスウィンドウを起動します。**

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［デバイス設定］→［ネットワーク設定］を選択します。

5 IP アドレスを設定します。

設定する項目

［IP アドレス設定方法］： IP アドレスの設定方法を選択します。

［手動設定］： 直接 IP アドレスを指定します。［IP アドレス］に入力した IP アドレスが、ネットワークボードに設定されます。

［自動検出］： RARP、BOOTP、DHCP を使用して IP アドレスを取得します。

［RARP］： RARP を使用して IP アドレスを取得します。（RARP デーモンが起動されている必要があります。）

	[BOOTP]：	BOOTP を使用して IP アドレスを取得します。（BOOTP デーモンが起動されている必要があります。）
	[DHCP]：	DHCP を使用して IP アドレスを取得します。（DHCP サーバが起動されている必要があります。）

[IP アドレス]： ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

必要に応じて設定する項目

[サブネットマスク]： TCP/IP ネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

[ゲートウェイアドレス]： TCP/IP ネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

[パスワード]： ネットワークボードの管理者用パスワードを入力します。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

メモ

- [RARP] を選択したときは、[IP アドレス] は入力できません。
- [BOOTP] または [DHCP] を選択したときは、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] は入力できません。
- RARP、BOOTP、DHCP を使用できないときは、[手動設定] に設定してください。

6 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

プリンタステータスウィンドウに戻ります。

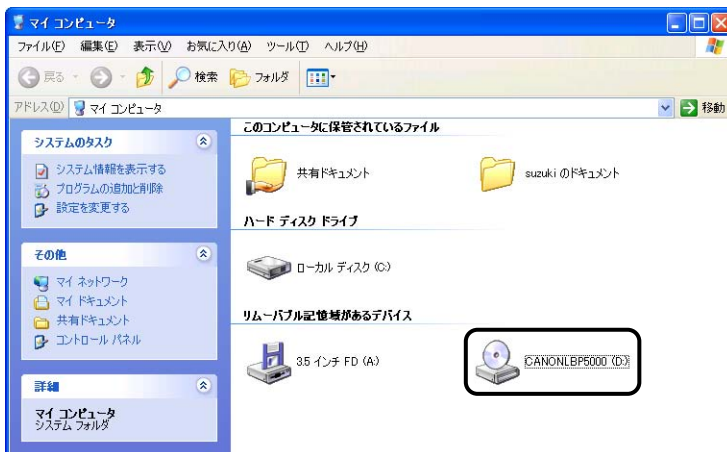
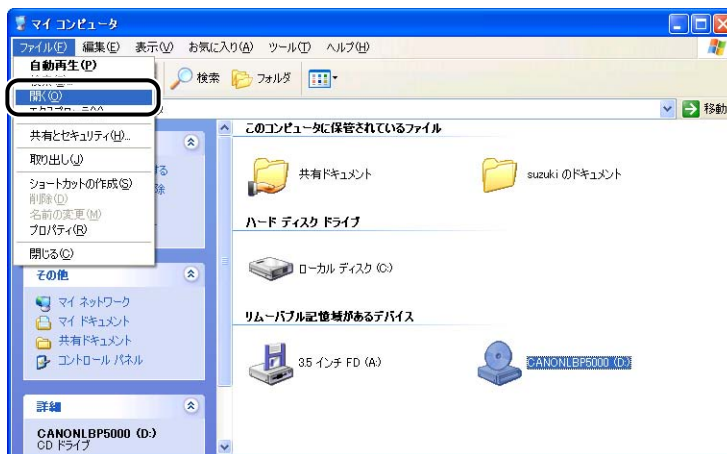
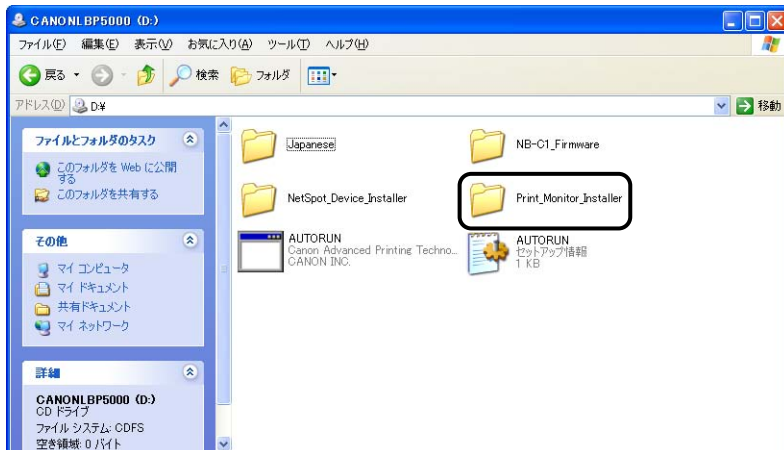
次に Canon CAPT Print Monitor のインストールを行ってください。（→P.2-40）

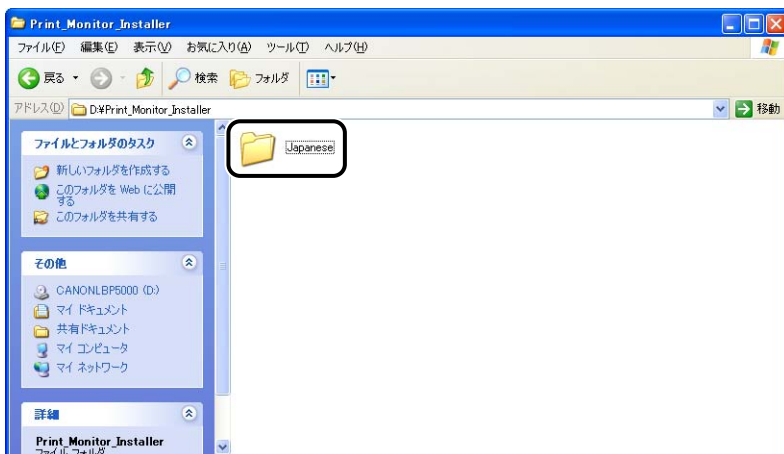
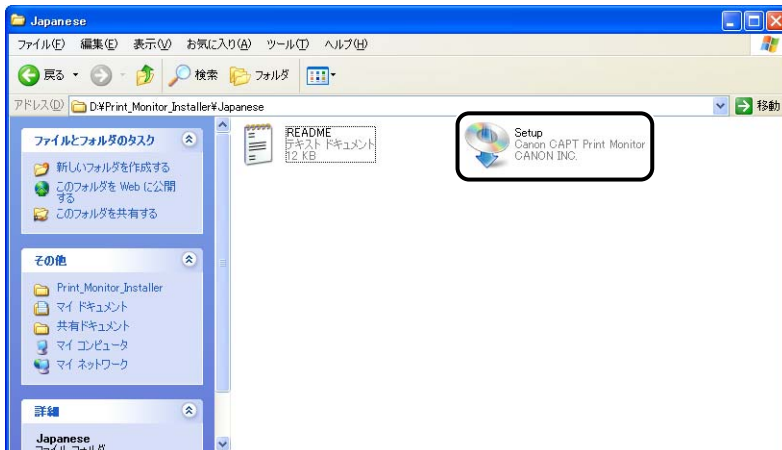
Canon CAPT Print Monitor のインストール

メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

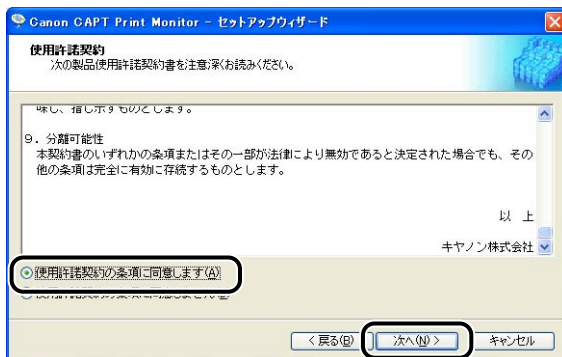
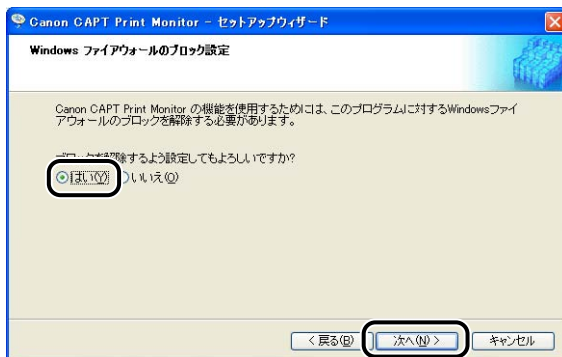
1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

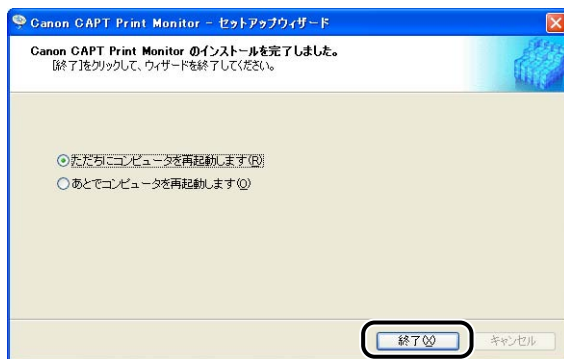
2 ［マイコンピュータ］を開き、CD-ROM ドライブを選択します。

3 ［ファイル］メニューから［開く］を選択します。

4 ［Print_Monitor_Installer］フォルダをダブルクリックします。

5 ［Japanese］フォルダをダブルクリックします。

お使いの機種によっては、［Japanese］フォルダは表示されません。次の手順に進みます。

6 ［Setup.exe］をダブルクリックします。

Canon CAPT Print Monitor のインストーラが起動します。

7 ［次へ］をクリックします。

8 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

Windows XP Service Pack 2などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS を使用している場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］を選択して［次へ］をクリックします。

9 ［開始］をクリックします。

Canon CAPT Print Monitor のインストールが開始されます。

10 画面の指示に従ってコンピュータを再起動します。

次にプリンタドライバのインストールを行ってください。（→P.2-44）

[プリンタの追加ウィザード] からプリンタドライバをインストールする

■Windows XP/Server 2003 の場合

 テストページを印刷する場合は、プリンタドライバをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

2 コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。

3 Administrators のメンバとしてログオンします。

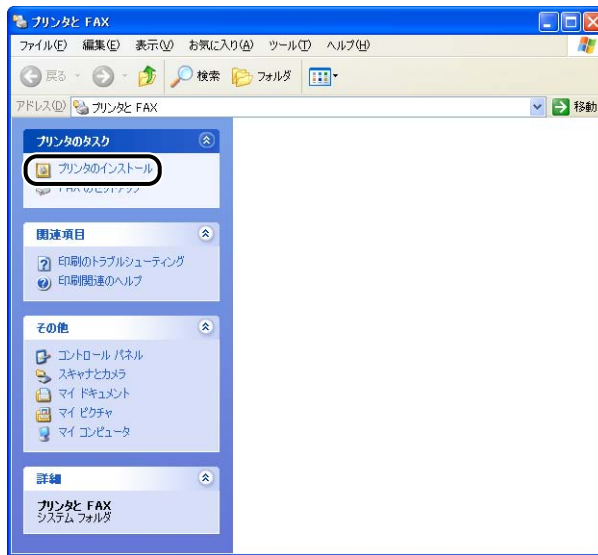
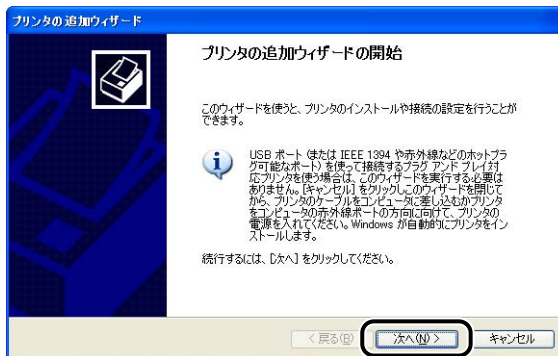
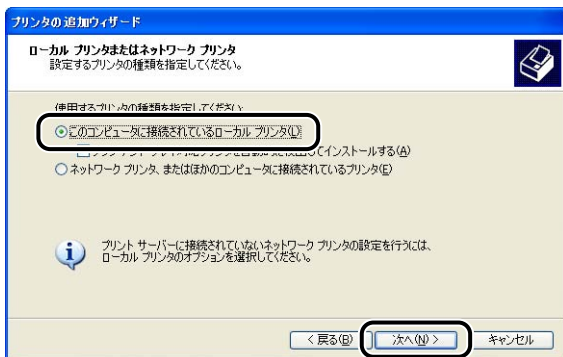
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

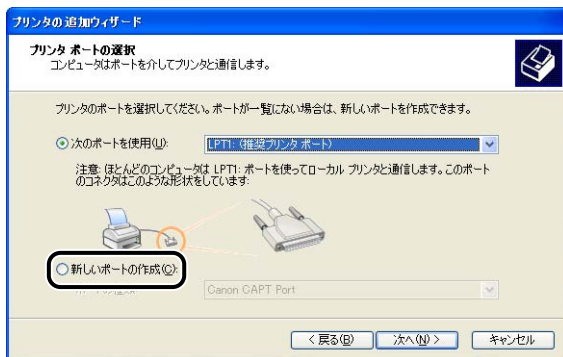
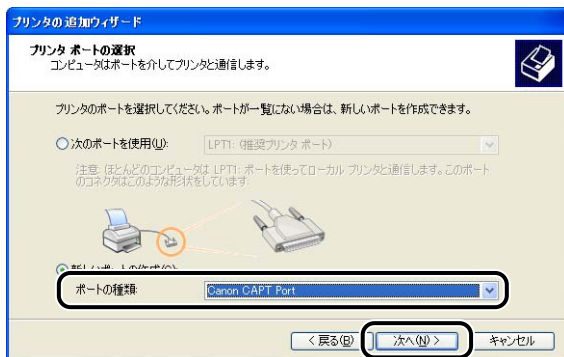
4 ［プリンタと FAX］フォルダを表示します。

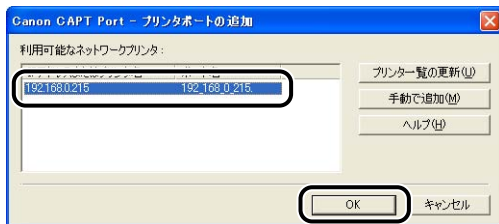
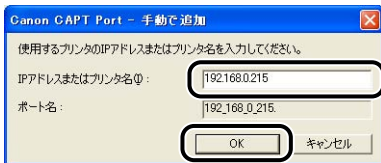
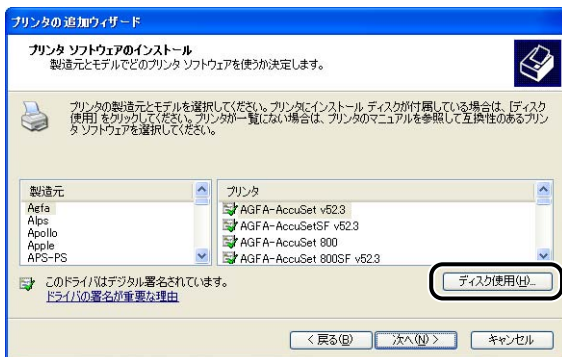
Windows XP Professional/Server 2003 の場合
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

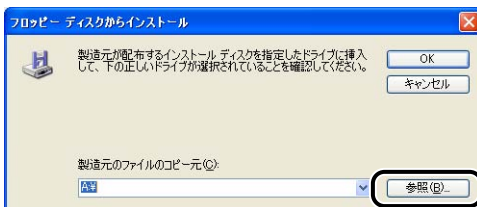
Windows XP Home Edition の場合
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

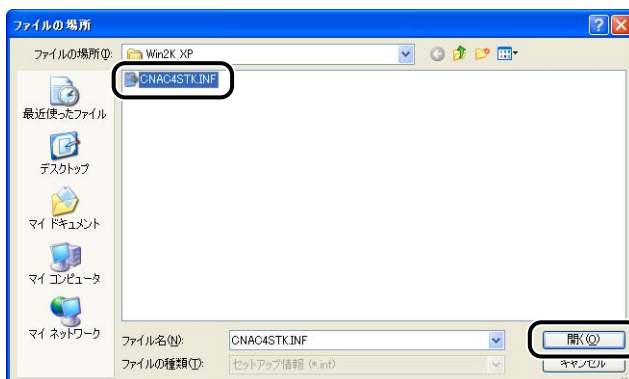
5 ［プリンタのインストール］をクリックします。

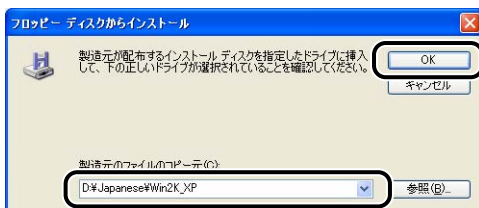
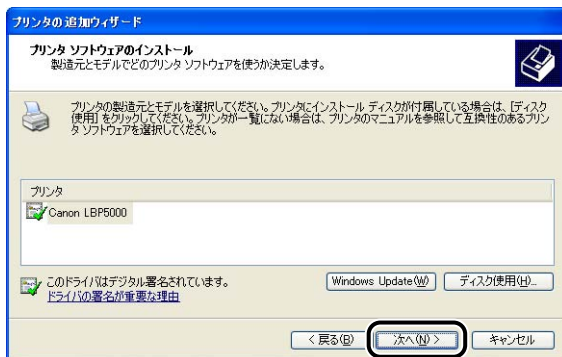
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

6 ［次へ］をクリックします。

7 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

メモ　［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

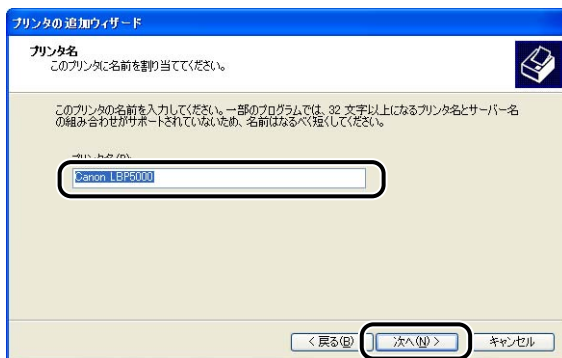
8 ［新しいポートの作成］を選択します。

9 ［ポートの種類］のリストから［Canon CAPT Port］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　［Canon CAPT Port］が表示されていない場合は、再度「Canon CAPT Print Monitor のインストール」（→P.2-40）を行ってください。

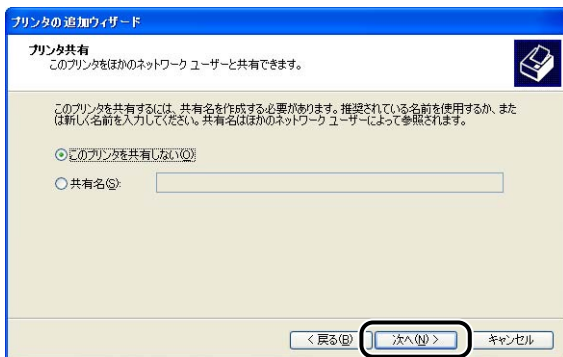
10 ［利用可能なネットワークプリンタ］から NetSpot Device Installer、ARP/PING コマンド、またはプリンタステータスウィンドウで設定した IP アドレスのポートを選択し、［OK］をクリックします。

［利用可能なネットワークプリンタ］に目的のプリンタのポート名が表示されていない場合は、［プリンター覧の更新］をクリックします。それでも表示されない場合は、［手動で追加］をクリックして、［手動で追加］ダイアログボックスの［IP アドレスまたはプリンタ名］に IP アドレスまたはプリンタ名（DNS サーバに登録する DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力し、［OK］をクリックします。ネットワークボードの IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ユニキャスト通信モードを使用する」（→P.5-12）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

11 [ディスク使用] をクリックします。

12 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[参照]をクリックします。

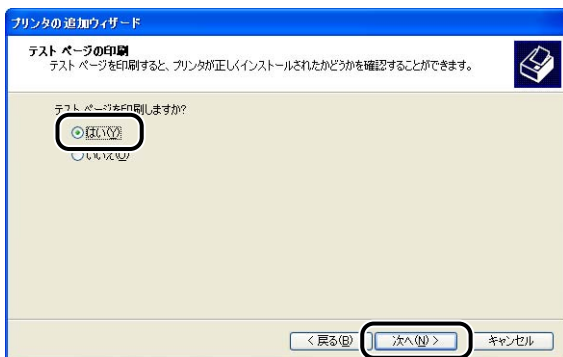
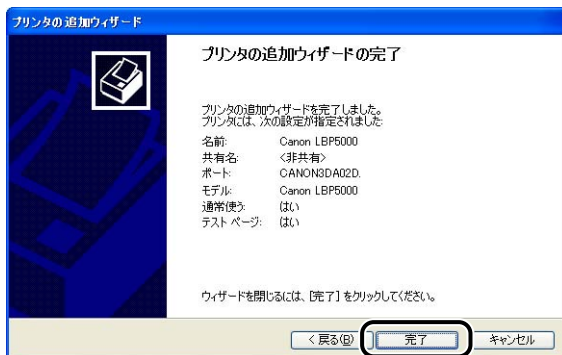
CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了] をクリックします。

13 [D:¥Japanese¥Win2K_XP] を選択します。INF ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

14 [製造元のファイルのコピー元] の表示内容を確認し、[OK] をクリックします。

例えば、CD-ROM ドライブが [D:] のときは [D:¥Japanese¥Win2K_XP] と表示されます。

15 [次へ] をクリックします。

16 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力して [次へ] をクリックします。

メモ

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。

17 [次へ] をクリックします。

メモ　本プリンタをネットワークで共有する場合は、[共有名] を選択して [次へ] をクリックします。[場所] と [コメント] を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し [次へ] をクリックします。

18 テストページを印刷する場合は、[はい] を選択して [次へ] をクリックします。

19 [完了] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

重要 Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックの解除のしかたについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

メモ [ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。プロトコル設定を行う場合は、「プリンタのプロトコル設定」(→P.2-71)を参照してください。

■Windows 2000 の場合

テストページを印刷する場合は、プリンタドライバをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 **コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認します。**

2 **コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。**

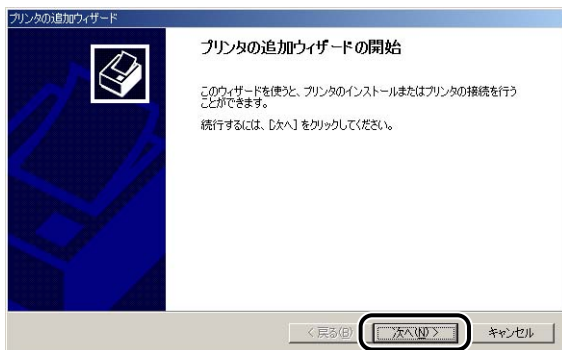
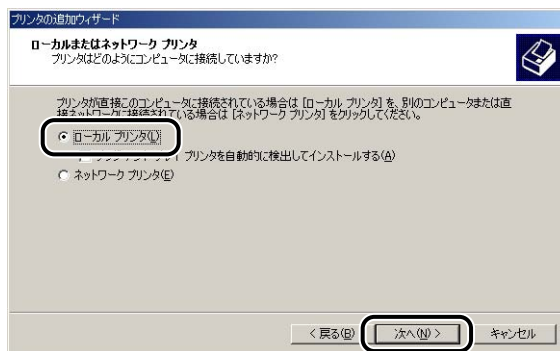
3 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

メモ

プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

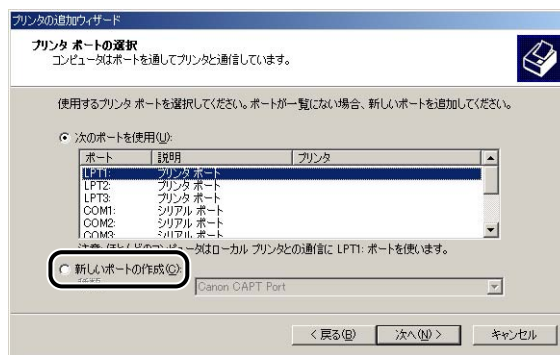
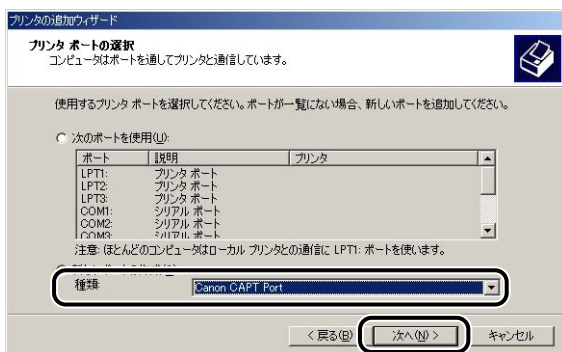
4 **[スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] をダブルクリックします。**

[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

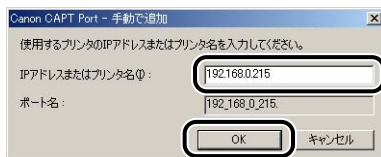
5 **[次へ] をクリックします。**

6 ［ローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

メモ　［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

7 ［新しいポートの作成］を選択します。

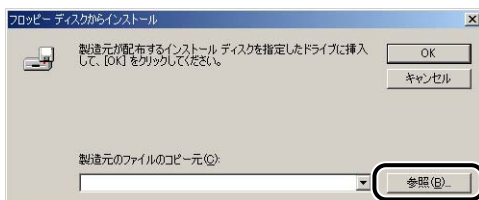
2

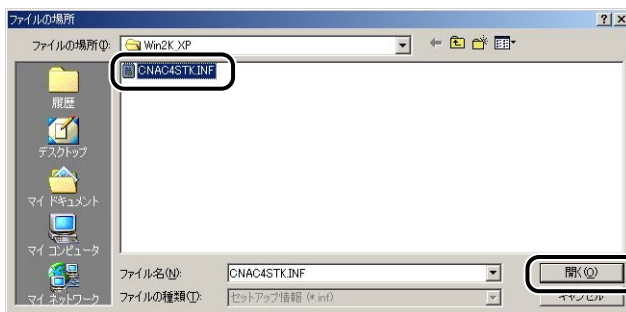
ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには

8 [種類] のリストから [Canon CAPT Port] を選択し、[次へ] をクリックします。

メモ　[Canon CAPT Port] が表示されていない場合は、再度「Canon CAPT Print Monitor のインストール」(➞P.2-40) を行ってください。

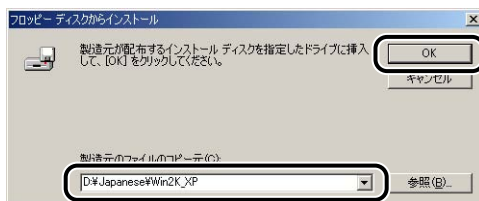
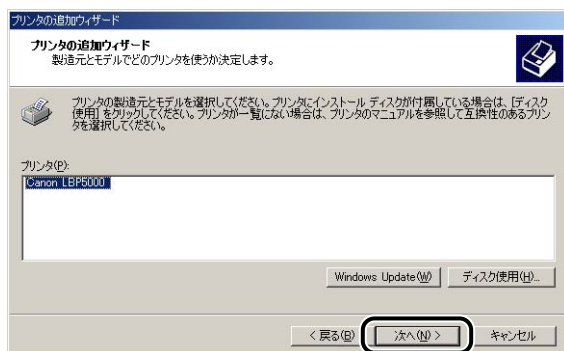
9 [利用可能なネットワークプリンタ] から NetSpot Device Installer、ARP/PING コマンド、またはプリンタステータスウィンドウで設定した IP アドレスのポートを選択し、[OK] をクリックします。

[利用可能なネットワークプリンタ] に目的のプリンタのポート名が表示されていない場合は、[プリンター覧の更新] をクリックします。それでも表示されない場合は、[手動で追加] をクリックして、[手動で追加] ダイアログボックスの [IP アドレスまたはプリンタ名] に IP アドレスまたはプリンタ名 (DNS サーバに登録する DNS 名 (最大で半角 78 文字)) を入力し、[OK] をクリックします。ネットワークボードの IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ユニキャスト通信モードを使用する」(➞P.5-12) を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

10 ［ディスク使用］をクリックします。

11 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[参照]をクリックします。

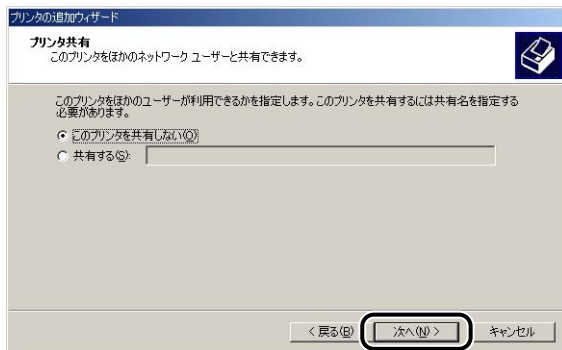
CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。

12 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。INFファイルを選択し、［開く］をクリックします。

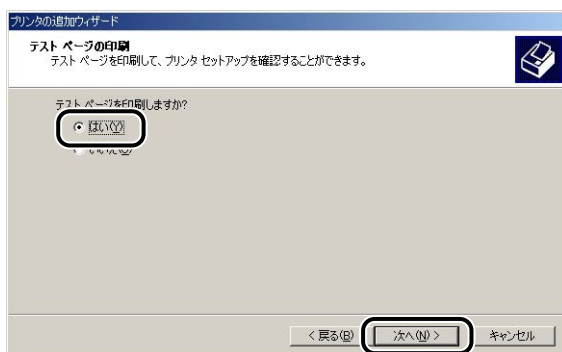
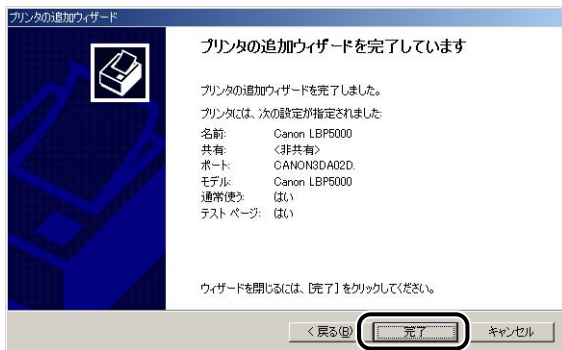
ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

13 [製造元のファイルのコピー元] の表示内容を確認し、[OK] をクリックします。

例えば、CD-ROM ドライブが [D:] のときは [D:¥Japanese¥Win2K_XP] と表示されます。

14 [次へ] をクリックします。

15 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力して [次へ] をクリックします。

メモ

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。

16 ［次へ］をクリックします。

メモ　本プリンタをネットワークで共有する場合には、［共有する］を選択して［次へ］をクリックします。［場所］と［コメント］を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し［次へ］をクリックします。

17 テストページを印刷する場合は、［はい］を選択して［次へ］をクリックします。

18 [完了] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ　[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。プロトコル設定を行う場合は、「プリンタのプロトコル設定」(→P.2-71) を参照してください。

■Windows 98/Me の場合

メモ　ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

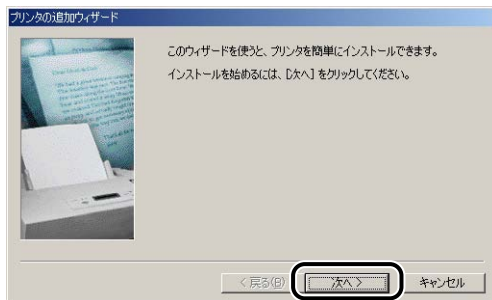
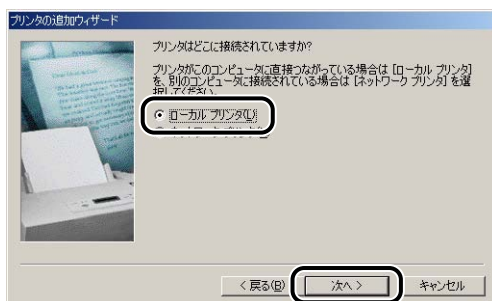
1 コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

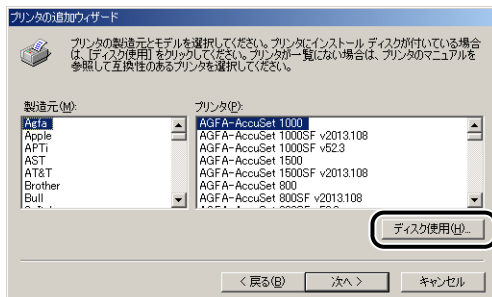
2 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

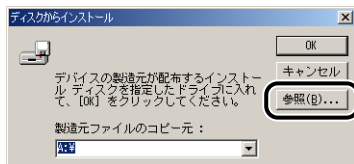
[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

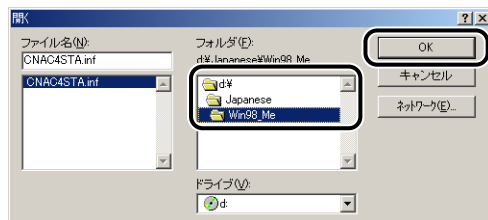
メモ　[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスは、以下の方法でも表示できます。

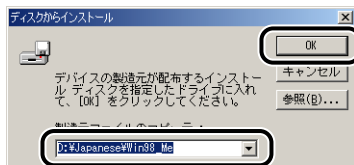
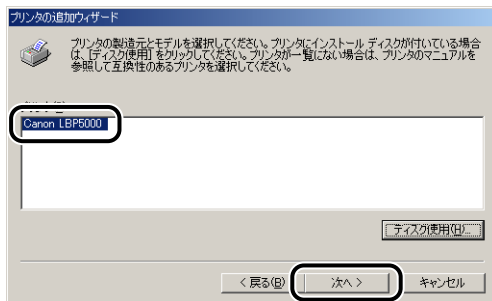
- [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [プリンタ] → [プリンタの追加] の順にダブルクリックします (Windows Me の場合)。
- [マイコンピュータ] → [プリンタ] → [プリンタの追加] の順にダブルクリックします (Windows 98 の場合)。

3 ［次へ］をクリックします。

4 ［ローカルプリンタ］を選択して［次へ］をクリックします。

メモ　ネットワークの設定を行っていないときは、この画面は表示されません。

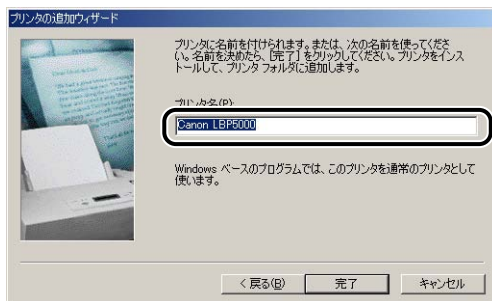
5 ［ディスク使用］をクリックします。

6 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了] をクリックします。

7 [D:¥Japanese¥Win98_Me] を選択し、[OK] をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

8 [製造元ファイルのコピー元]（Windows 98 は [配布ファイルのコピー元]）の表示内容を確認し、[OK] をクリックします。

例えば、CD-ROM ドライブが [D:] のときは [D:¥Japanese¥Win98_Me] と表示されます。

9 ［プリンタ］で本プリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

10 ［LPT1］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　ここでは［Canon CAPT Port］は選択しないでください。

11 プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力します。

メモ　すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？」が表示されますので、［はい］または［いいえ］を選択します。

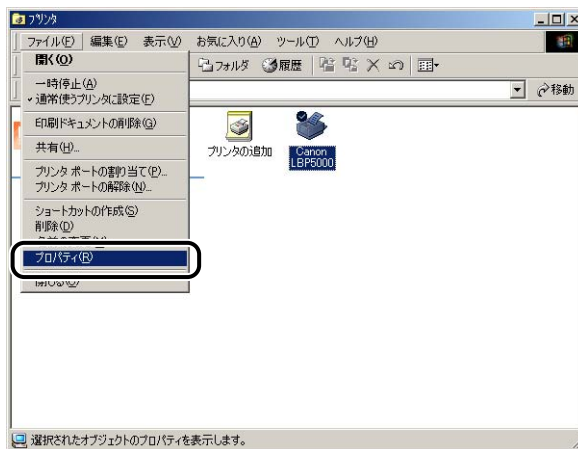
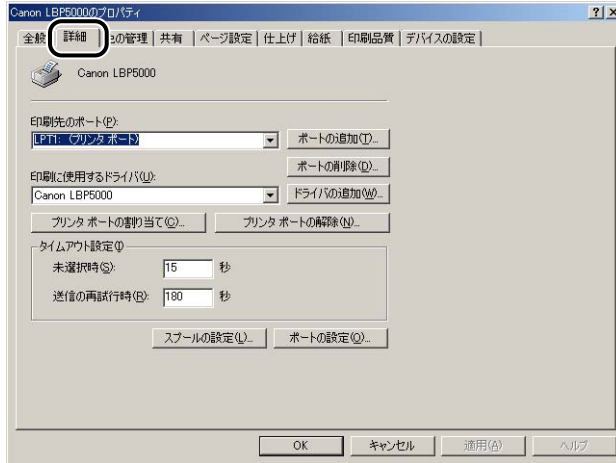
12 ［完了］をクリックします。

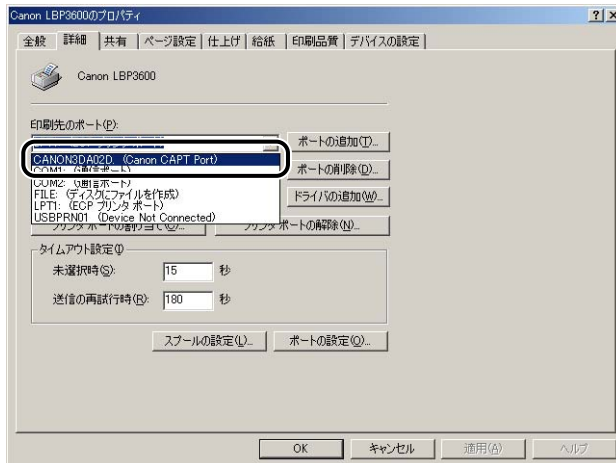
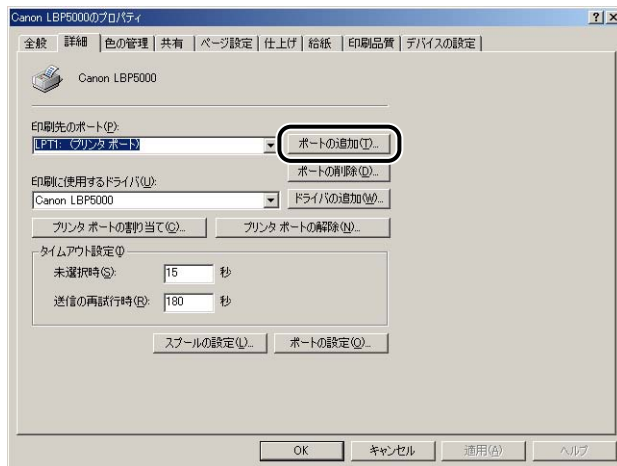
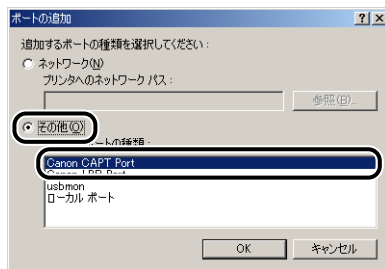
ファイルのコピーがはじまります。

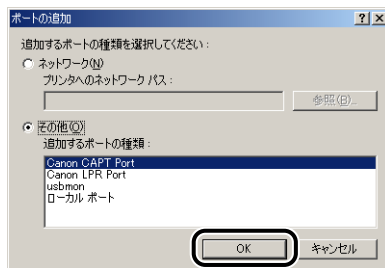
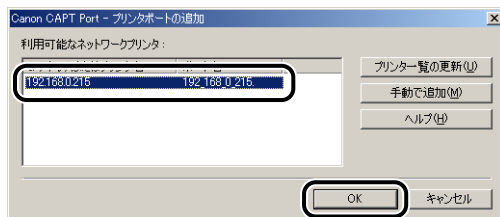
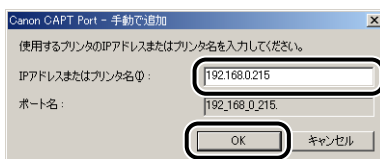
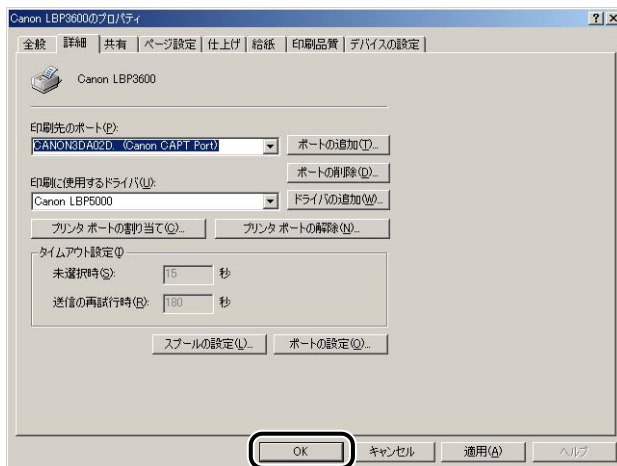
13 インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。

14 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

15 お使いのプリンタ名のアイコンを選択します。

16 ［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

17 [詳細] ページを表示します。

18 [印刷先のポート] から [Canon CAPT Port] を選択し、手順 23 へ進みます。

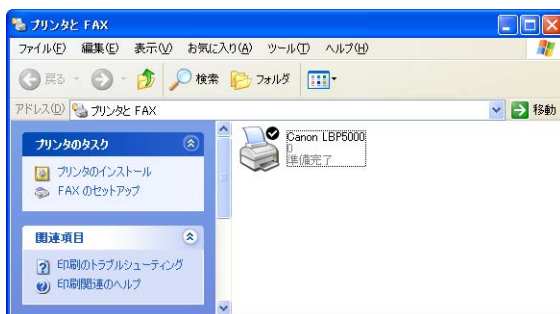
[印刷先のポート] に [Canon CAPT Port] がない場合は、以降の手順を行ってください。

19 ［ポートの追加］をクリックします。

20 ［その他］を選択し、［Canon CAPT Port］を選択します。

メモ ［Canon CAPT Port］が表示されていない場合は、再度「Canon CAPT Print Monitorのインストール」（→P.2-40）を行ってください。

21 ［OK］をクリックします。

22 ［利用可能なネットワークプリンタ］から NetSpot Device Installer、ARP/PING コマンド、またはプリンタステータスウィンドウで設定した IP アドレスのポートを選択し、［OK］をクリックします。

［利用可能なネットワークプリンタ］に目的のプリンタのポート名が表示されていない場合は、［プリンタ一覧の更新］をクリックします。それでも表示されない場合は、［手動で追加］をクリックして、［手動で追加］ダイアログボックスの［IP アドレスまたはプリンタ名］に IP アドレスまたはプリンタ名（DNS サーバに登録する DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力し、［OK］をクリックします。ネットワークボードの IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ユニキャスト通信モードを使用する」（→P.5-12）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

23 ［OK］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。プロトコル設定を行う場合は、「プリンタのプロトコル設定」（→P.2-71）を参照してください。

インストールが完了すると

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、本プリンタのアイコンやフォルダが作成されます。

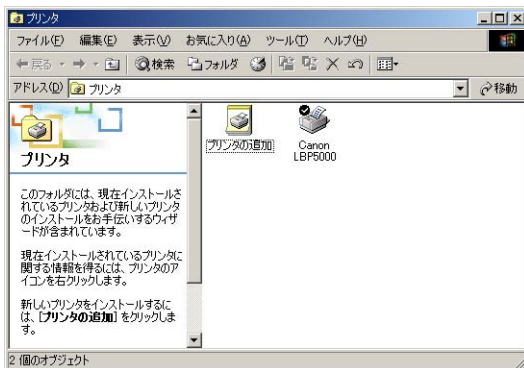
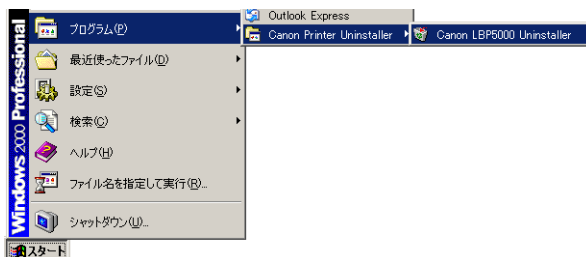
Windows XP/Server 2003 の場合

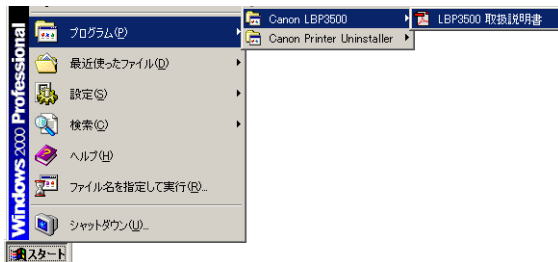
- ［プリンタと FAX］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- LBP5000、LBP3500 をお使いの場合で、取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBPXXXX 取扱説明書］が作成されます（XXXX は機種名）。

また、お使いの機種によっては、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon LBPXXXX］-［LBPXXXX 取扱説明書］が追加されます（XXXX は機種名）。

Windows 98/Me/2000 の場合

- ［プリンタ］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- LBP5000、LBP3500 をお使いの場合で、取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBPXXXX 取扱説明書］が作成されます（XXXX は機種名）。

また、お使いの機種によっては、［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon LBPXXXX］-［LBPXXXX 取扱説明書］が追加されます（XXXX は機種名）。

ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する

初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順で必ずネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認してください。ネットワークステータスプリントには、オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定などが印刷されます。

メモ
- ネットワークステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ここでは、Windows XP Professional の画面例で説明します。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 本プリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。

Windows 98/Me の場合は、本プリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

3 [ページ設定] ページを表示させ、[ ](プリンタステータスウィンドウを表示する) をクリックして、プリンタステータスウィンドウを起動します。

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

4 [オプション] メニューから [ユーティリティ] → [ネットワークステータスプリント] を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

ネットワークステータスプリントが印刷されます。

Canon ネットワークステータスプリント

製品名 :LBP5000
CAPTインタフェースバージョン :2.1
インタフェース :Fast Ethernet 10/100BaseT
伝送速度 :100Mbps
MACアドレス :00:00:85:3D:A0:2A
ファームウェア名 :NB-C1
ファームウェアバージョン :X.XX
CANON-MIBバージョン :X.XX
プリントサーバ名 :CANON3DA02A

TCP/IP
IPアドレス :192.168.0.215
サブネットマスク :Automatic router sensing
ゲートウェイアドレス :Automatic router sensing
DHCPによるアドレス設定 :OFF
BOOTPによるアドレス設定 :OFF
RARPによるアドレス設定 :OFF
DNSサーバアドレス :0.0.0.0
DNSホスト名 :
DNSドメイン名 :
SMTPサーバ名 :
WINSサーバアドレス :
WINSホスト名 :
SNTPサーバ名 :
マルチキャスト探索応答 :ON

セキュリティ
SNMPv1 :ON
SNMPv3 :OFF
TCP/IP印刷の制限 :OFF
SNMP設定/参照の制限 :OFF
マルチキャスト探索の制限 :OFF
MACアドレスアクセスの制限 :OFF
SMTP認証 :OFF

キヤノン CAPT プリントモニタ
バージョン :X.XX

Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

重要　ここに掲載されているネットワークステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したネットワークステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

メモ　ネットワークステータスプリントが正しく印刷されなかった場合は、「第４章 困ったときには」を参照してください。

プリンタのプロトコル設定

プリンタドライバのインストールが終わったら、必要に応じてプリンタのプロトコル設定を行ってください。プリンタのプロトコル設定は、次のいずれかのソフトウェアを使用してお使いのコンピュータから設定できます。

■ リモートUIによるプロトコル設定（→P.2-72）
お手持ちのWebブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プロトコル設定を行います。

■ NetSpot Device Installerによるプロトコル設定（→P.2-82）
付属のCD-ROMからNetSpot Device Installer、またはインストールしたNetSpot Device Installerを起動し、基本的なプロトコル設定を行います。DNSサーバやSMTPサーバの設定をする場合は、リモートUI、FTPクライアントを使用してください。

■ FTPクライアントによるプロトコル設定（→P.2-88）
コマンドプロンプト（Windows 98/MeはMS-DOSプロンプト）を使用して、ネットワークボードのFTPサーバにアクセスし、プロトコル設定を行います。

リモート UI によるプロトコル設定

1 **Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

重要

- 本プリンタの IP アドレスがわからないときは、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」(➞P.2-68) で印刷したネットワークステータスプリントを参照するか管理者に相談してください。
- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降、または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。(設定はネットワーク環境によって異なります。)
  ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外] (プロキシを使用しないアドレス) に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー (Cookie) が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

メモ

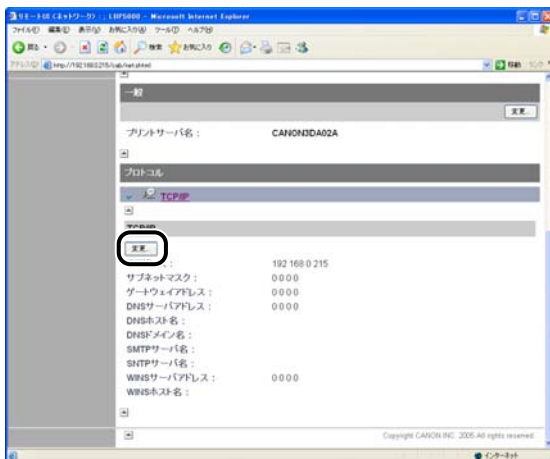
お使いの環境によっては、リモート UI の画面が表示されないときがあります。このようなときは、[アドレス] または [場所] に「http:// <本プリンタの IP アドレス> /cab/top.shtml」を入力して、ページを表示しなおしてください。

2 **[ログイン] をクリックします。**

メモ

プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[ログイン] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

4 ［TCP/IP］にある［変更］をクリックします。

5 [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定します。

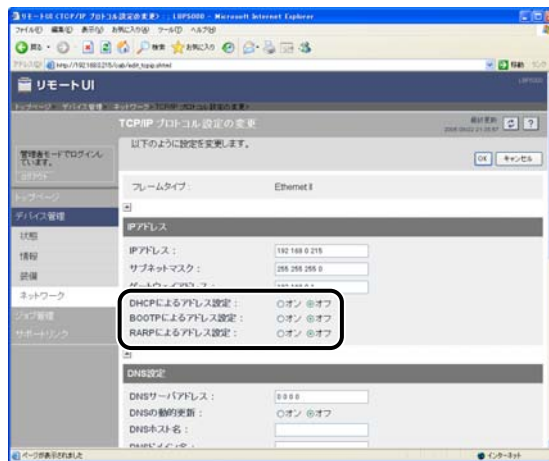
[IP アドレス] には、プリンタの IP アドレスを指定します。[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

メモ

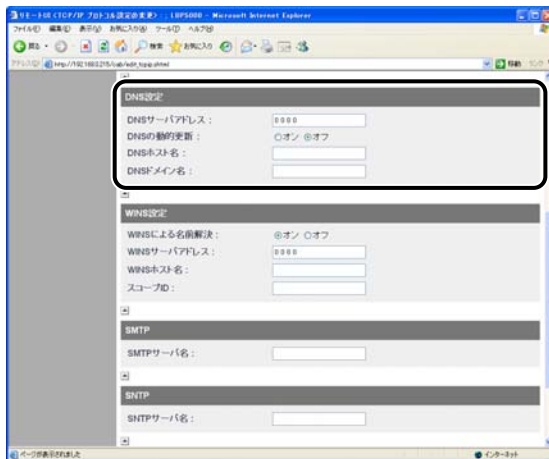
- DHCP、BOOTP、RARPのいずれかをお使いの場合でも、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定しておいてください。DHCP、BOOTP、RARPのサーバから情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
- DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用する設定を行った場合、ネットワークボードのリセット後は、これらから取得した値が表示されます（あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、BOOTP、RARP で取得できた項目については上書きされます）。

6 必要に応じて、以降の手順に記載している設定を行ってください。設定を行わない場合は、手順 13 へ進んでください。

7 プリンタのIPアドレスの設定方法を指定します。[DHCPによるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定]のうち、IP アドレスの設定に使用する項目を［オン］にします。

プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。[DHCP によるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定］を［オフ］にしたときは、その項目のチェックは行われません。
これらがいずれも使用できないときは、[IP アドレス］に設定されている IP アドレスを割り当てます。

重要　ユニキャスト通信モードを使用する場合の設定方法については、必ず「ユニキャスト通信モードを使用する」(➞P.5-12）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

メモ
- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは 1 ～ 2 分程度かかりますので、使用しない項目を［オフ］にすることをおすすめします。
- DHCP、BOOTP、RARP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、BOOTP デーモン、RARP デーモンが起動されている必要があります。

8 ［DNS 設定］を設定します。

❑ ［DNS サーバアドレス］に、DNS サーバの IP アドレスを入力します。

❑ DNS サーバへの動的更新機能を使用する場合は、［DNS の動的更新］を［オン］に設定します。

❑ ［DNS ホスト名］に、DNS サーバに登録するホスト名を設定します。

❑ ［DNS ドメイン名］に、本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例： example.co.jp

重要

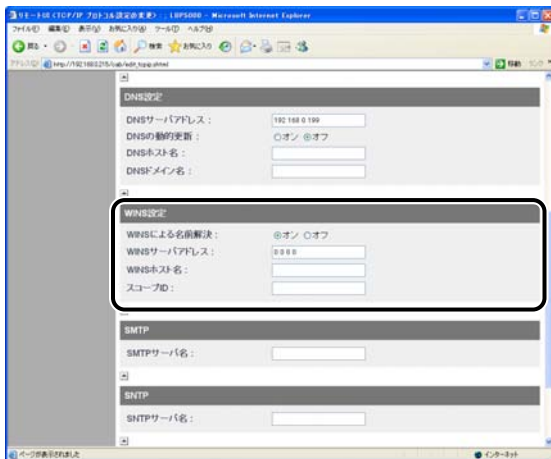
- DNS の動的更新とは、デバイスの IP アドレスとホスト名、ドメイン名に指定した名前を自動的に DNS サーバに登録する機能です。この機能は、ダイナミック DNS サーバがある環境で使用することができます。
- DNSの動的更新機能を使用するには、DNS サーバのIP アドレスとホスト名、ドメイン名の設定が必要です。
- ユニキャスト通信モードを使用する場合の設定方法については、必ず「ユニキャスト通信モードを使用する」（➞P.5-12）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

メモ

DNS は以下の場合に使用されます。

・SMTP サーバ名の名前解決を使用するとき（手順 9 で SMTP サーバを名前で指定するとき）

・SNTP サーバ名の名前解決を使用するとき（手順 10 で SNTP サーバを名前で指定するとき）

9 ［WINS 設定］を設定します。

● **WINS による名前解決を使用する場合**

❏ ［WINS による名前解決］を［オン］に設定します。

❏ ［WINS サーバアドレス］に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。

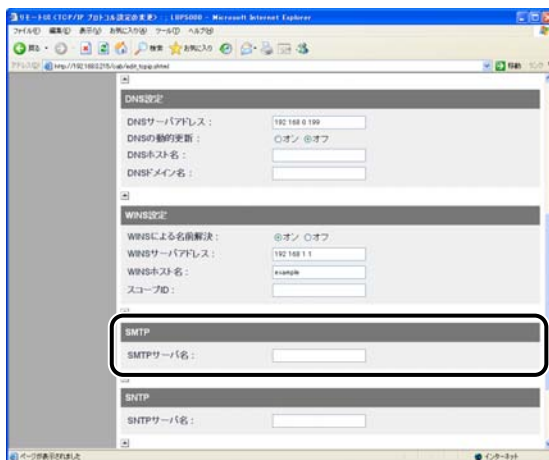
❏ ［WINS ホスト名］に、WINS サーバに登録するホスト名を入力します。

❏ ［スコープ ID］に、WINS サーバから検索したい NetBIOS 名のスコープ ID を入力します。

文字列を「.」で区切って入力することで、絞込検索が行えます。

● **WINS による名前解決を使用しない場合**

❏ ［WINS による名前解決］を［オフ］に設定します。

10 紙づまりが起きた場合などに、プリンタの状況を電子メールで送信する機能（電子メール通知機能）を利用するときは、[SMTP] を設定します。

● 手順 7 で DNS を設定したとき

❑ ［SMTP サーバ名］に、メールサーバのサーバ名を入力します。

入力例： smtp.example.co.jp

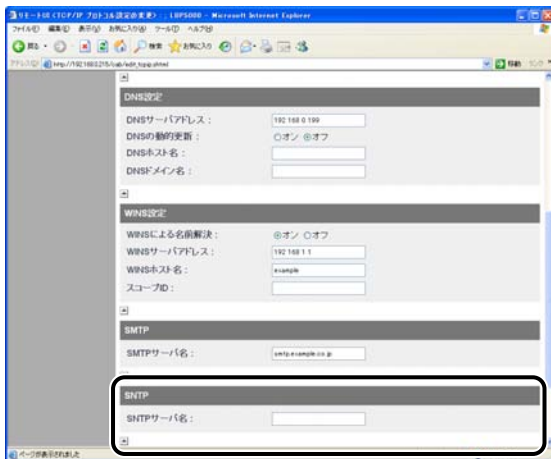
● 手順 7 で DNS を設定していないとき

❑ ［SMTP サーバ名］に、メールサーバの IP アドレスを入力します。

❑ ［DNS ドメイン名］に、SMTP サーバに送るメールの送信元ドメイン名を入力します。

入力例： example.co.jp

メモ　電子メール通知機能を利用するときは、さらに詳細な設定を行う必要があります。（➞ プリンタの状況を電子メールで通知する：P.3-4）

11 時刻情報を得るためにSNTPクライアント機能を利用するには、[SNTP]を設定します。

● 手順 7 で DNS を設定したとき

❏ [SNTP サーバ名] に、SNTP サーバのサーバ名を入力します。

● 手順 7 で DNS を設定していないとき

❏ [SNTP サーバ名] に、SNTP サーバの IP アドレスを入力します。

メモ SNTP サーバ機能が使用できない場合、以下の手順でコンピュータで設定している時刻をプリンタに通知することができます。プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

1. プリンタステータスウィンドウを表示します。
2. [オプション] メニューから [環境設定] を選択します。
3. [環境設定] ダイアログボックスの [プリンタ状態の監視] にある [常に監視] を選択して、[プリンタに時刻を通知する] にチェックマークを付けます。

12 ［マルチキャスト探索設定］を設定します。

メモ　マルチキャスト探索とは、サービスロケーションプロトコル（SLP）によって特定のデバイスを探索する機能です。マルチキャスト探索を利用すると、NetSpot Device Installer や NetSpot Console などのユーティリティソフトウェアからサービスロケーションプロトコル（SLP）を使用して、［スコープ名］が一致するデバイスのみを探索することができます。

● **マルチキャストを使用した探索に応答するように設定する場合**

❑ ［探索応答］を［オン］に設定します。

❑ ［スコープ名］に、NetSpot Device Installer や NetSpot Console などのユーティリティソフトウェアからマルチキャストによる特定のデバイスの探索をするときに使用するスコープ名を入力します。

● **マルチキャストを使用した探索に応答しないように設定する場合**

❑ ［探索応答］を［オフ］に設定します。

13 ［OK］をクリックします。

14 以下の画面が表示されたら、［リセット］をクリックしてネットワークボードをリセットします。

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ　プリンタを再起動（電源をいったんオフにし、10秒以上待ってからオンにする）しても設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

NetSpot Device Installer によるプロトコル設定

NetSpot Device Installerでは基本的なプロトコル設定をすることができます。DNSサーバや SMTP サーバの設定をする場合は、リモート UI、FTP クライアントを使用してください。

重要　Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer を使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。異なるサブネット上にあるプリンタを探索する場合は、NetSpot Device Installer の Readme を参照して、[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページに「NetSpot Device Installer」を登録してください。

メモ　ここでは、付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動する方法を説明しています。NetSpot Device Installer をコンピュータにインストールした場合の起動方法は、以下のとおりです。NetSpot Device Installer のインストール方法については、「NetSpot Device Installer をインストールする」（→P.3-49）を参照してください。

- インストール時に［スタート］メニューに追加した場合
  ［スタート］メニューから［プログラム］（Windows XP/Server 2003 は［すべてのプログラム］）→［NetSpot Device Installer］→［NetSpot Device Installer］を選択します。
- ［スタート］メニューに追加しなかった場合
  インストール先のフォルダにある［nsdi.exe］をダブルクリックします。

---

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

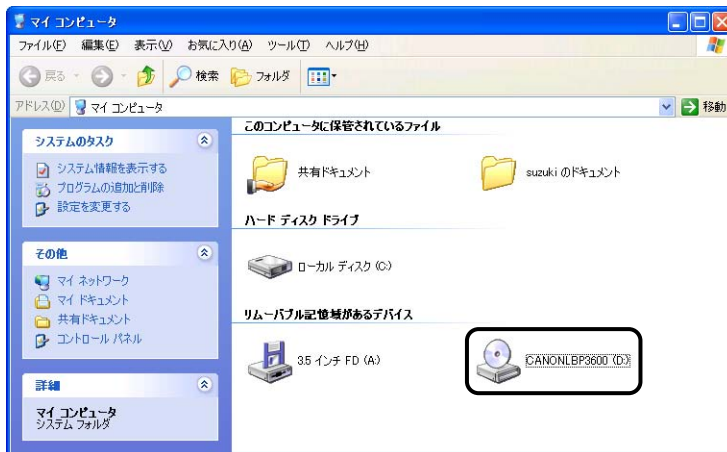
● LBP5000、LBP3500 に付属の CD-ROM をセットした場合

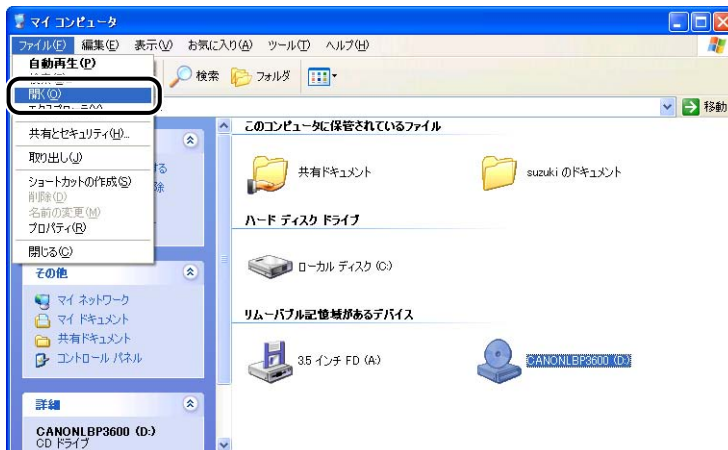
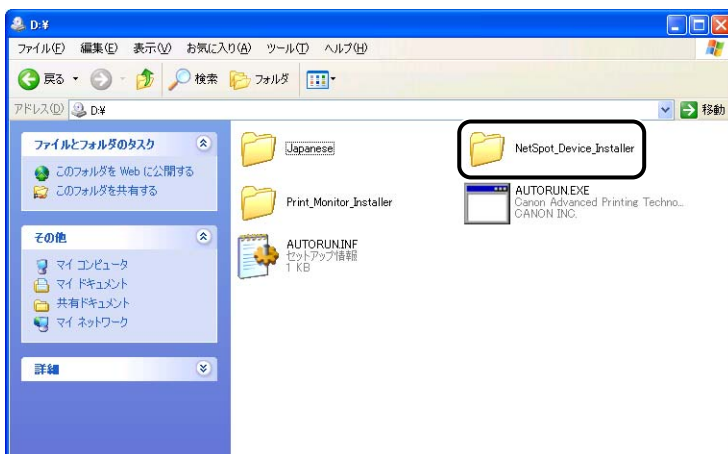
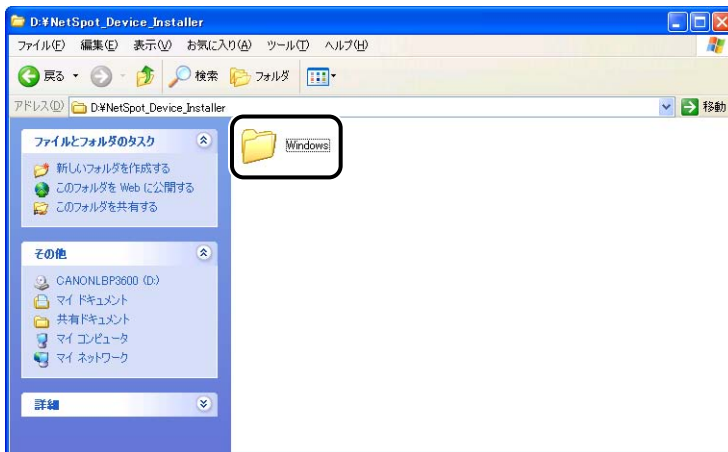
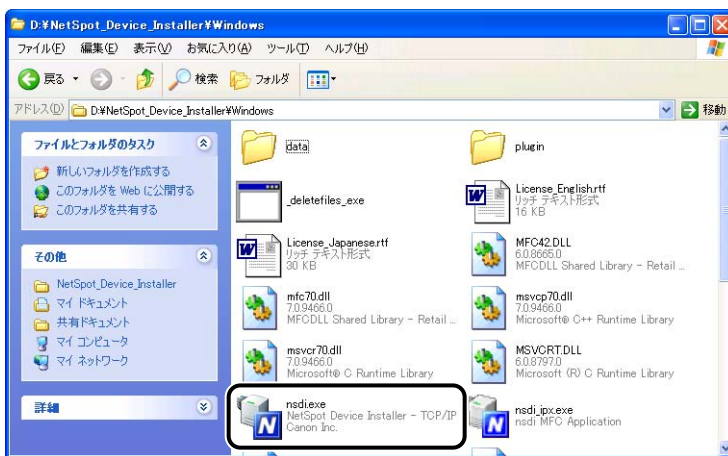
❑ ［付属ソフトウェア］をクリックします。

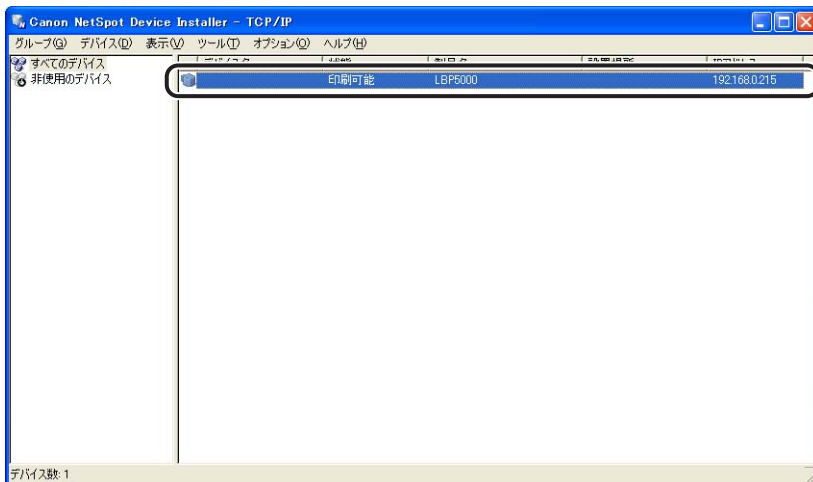
❑ ［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［起動］をクリックし、手順 7 に進みます。

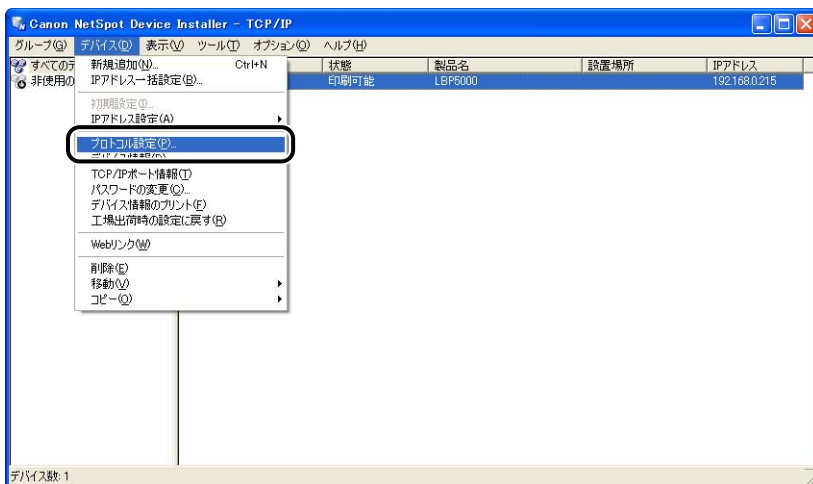
● LBP5600、LBP3600 に付属の CD-ROM をセットした場合

❑ 手順 2 に進みます。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

2 ［マイコンピュータ］を開き、CD-ROM ドライブを選択します。

3 ［ファイル］メニューから［開く］を選択します。

4 ［NetSpot_Device_Installer］フォルダをダブルクリックします。

5 ［Windows］フォルダをダブルクリックします。

6 ［nsdi.exe］をダブルクリックします。

［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

7 プリンタを選択します。

重要　Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installerを使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。異なるサブネット上にあるプリンタを探索する場合は、NetSpot Device Installer の Readme を参照して、［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページに「NetSpot Device Installer」を登録してください。

8 ［デバイス］メニューから［プロトコル設定］を選択します。

9 プロトコル設定を行います。

設定する項目

[IP アドレス設定方法]： IP アドレスの設定方法を選択します。

[手動設定]： 直接 IP アドレスを指定します。[IP アドレス］に入力した IP アドレスが、ネットワークボードに設定されます。

[自動検出]： RARP、BOOTP、DHCP を使用して IP アドレスを取得します。

[RARP]： RARP を使用して IP アドレスを取得します。（RARP デーモンが起動されている必要があります。）

[BOOTP]： BOOTP を使用して IP アドレスを取得します。（BOOTP デーモンが起動されている必要があります。）

[DHCP]： DHCP を使用して IP アドレスを取得します。（DHCP サーバが起動されている必要があります。）

[IP アドレス]： ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

[サブネットマスク]： TCP/IP ネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

[ゲートウェイアドレス]： TCP/IP ネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

メモ

- RARP、BOOTP、DHCPを選択したときは、[IP アドレス]、[ゲートウェイアドレス]、[サブネットマスク］は入力できません。
- RARP、BOOTP、DHCP を使用できないときは、[手動設定］に設定してください。

10 設定が終了したら、[OK]をクリックします。

11 「デバイスをリセットしました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。

正常にリセット処理を行うため、[OK]をクリックしたあと、約 20 秒間はそのままお待ちください。
リセットが完了すると、設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

FTP クライアントによるプロトコル設定

1 コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトを起動します。

Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択します。
Windows 2000 の場合は、[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択します。
Windows Me の場合は、[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[MS-DOS プロンプト]を選択します。
Windows 98 の場合は、[スタート]メニューから[プログラム]→[MS-DOS プロンプト]を選択します。

2 次のコマンドを入力し、キーボードの[ENTER]キーを押します。

ftp <プリンタの IP アドレス>

メモ　本プリンタの IP アドレスがわからないときは、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」(→P.2-68)で印刷したネットワークステータスプリントを参照するか管理者に相談してください。

3 ユーザ名として、「root」を入力し、キーボードの[ENTER]キーを押します。

● **プリンタにパスワードを設定しているとき**

❑ パスワードを入力します。

● **プリンタにパスワードを設定していないとき**

❑ パスワードは入力せずに、キーボードの[ENTER]キーのみを押します。

メモ　ユーザ名は、「root」以外(空欄など)でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。

4 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

get config <ファイル名>

config ファイルがダウンロードされます。<ファイル名>に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

重要　Windows 98/Me の場合は、<ファイル名>に「config」と入力しないでください。

メモ　config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

5 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを編集します。

各項目の説明については、「ネットワーク設定項目一覧」（→P.5-2）を参照してください。

6 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

put <ファイル名> CONFIG

メモ　<ファイル名>には、ダウンロードしたときに入力した config ファイルのファイル名を入力します。

7 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ　プリンタを再起動（電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってからオンにする）しても設定が有効になります。

8 「quit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

9 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトが終了します。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

- プリンタドライバのアンインストール（➞P.2-90）
- Canon CAPT Print Monitor のアンインストール（➞P.2-92）
- NetSpot Device Installer のアンインストール（➞P.2-94）

重要

- 取扱説明書がインストールされている場合（LBP5000、LBP3500のみ）、アンインストーラでプリンタドライバのアンインストールを行なうことで、インストールした取扱説明書もアンインストールされます。
- プリンタドライバが Administrators の権限で Windows 2000/XP/Server 2003 にインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログインしてからアンインストールしてください。
- プリンタドライバがインストールされている状態で、Canon CAPT Print Monitor をアンインストールすることはできません。Canon CAPT Print Monitor をアンインストールする場合は、プリンタドライバをアンインストールしてから行ってください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータを使用している場合、［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページに本プリンタが登録されています。アンインストーラで CAPT ソフトウェアのアンインストールを行なうことで、［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページの本プリンタの設定も削除されます。

メモ

- NetSpot ConsoleのアンインストールについてはNetSpot ConsoleのReadmeファイルを参照してください。
- ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

プリンタドライバのアンインストール

1 **次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。**

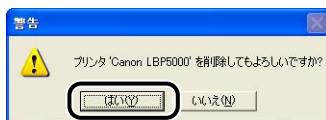
- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションプログラム

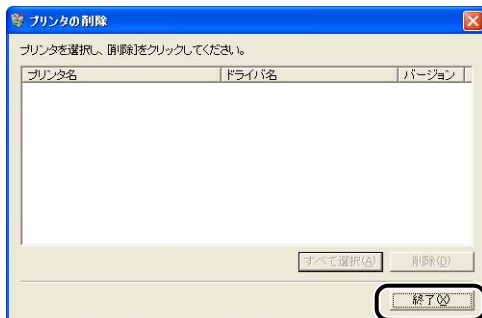
2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBPxxxx Uninstaller］を選択します。（xxxx はご使用のプリンタによって異なります。）

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBPxxxx Uninstaller］を選択します。（xxxx はご使用のプリンタによって異なります。）

3 本プリンタを選択し、［削除］をクリックします。

メモ　［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに本プリンタが表示されていない場合でも、［削除］をクリックすると本プリンタに関連するファイルおよび情報を削除することができます。

4 ［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。

メモ　アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」（→P.4-3）を参照してください。

Canon CAPT Print Monitor のアンインストール

重要　プリンタドライバがインストールされている状態で、Canon CAPT Print Monitor をアンインストールすることはできません。Canon CAPT Print Monitor をアンインストールする場合は、プリンタドライバをアンインストールしてから行ってください。

1 次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。

- ヘルプファイル
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションプログラム

2 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックしたあと、［コントロールパネル］を閉じます。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択します。

3 ［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon CAPT Print Monitor］を選択し、［変更と削除］をクリックします。

Windows 98/Me の場合は、［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon CAPT Print Monitor］を選択し、［追加と削除］をクリックします。
Windows 2000 の場合は、［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon CAPT Print Monitor］を選択し、［変更と削除］をクリックします。

4 アンインストール実行の確認ダイアログボックスが表示されますので、［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 アンインストールが正常に完了したら、アンインストール完了ダイアログボックスが表示されますので、［OK］をクリックします。

NetSpot Device Installer のアンインストール

1 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［NetSpot Device Installer］→［NetSpot Device Installer をアンインストール］を選択します。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［NetSpot Device Installer］→［NetSpot Device Installer をアンインストール］を選択します。

コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）が表示され、アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、コマンドプロンプトが終了したら、アンインストールは完了です。
Windows 98/Me の場合は、MS-DOS プロンプトに「NetSpot Device Installer has been unInstalled successfully.」と表示されたら、アンインストールは完了です。

メモ　インストール時に NetSpot Device Installer を［スタート］メニューに登録していない場合は、インストール先のフォルダ内にある［rmnsdi.bat］をダブルクリックしてください。

ネットワーク環境でプリンタを管理するには

3

CHAPTER

この章では、ネットワーク環境でプリンタを管理するための方法について説明しています。

プリンタを管理する

次のソフトウェアを使用して、プリンタの状況の確認や各種設定など、ネットワーク環境でプリンタの管理を行うことができます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。「ネットワーク設定項目一覧」（→P.5-2）を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。

■ **リモートUI（→P.3-3）**
リモートUIは、お手持ちのWebブラウザを使ってプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。Webブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プリンタの状況やジョブ履歴の確認、ネットワークやセキュリティに関する設定などができます。

■ **NetSpot Device Installer（→P.3-48）**
NetSpot Device Installerは、付属のCD-ROMに収められているソフトウェアです。NetSpot Device Installerはインストールが不要なソフトウェアで、付属のCD-ROMからNetSpot Device Installerを起動し、プロトコル設定やデバイス情報の設定ができます。

■ **FTPクライアント（→P.3-46）**
FTPクライアントは、コマンドプロンプト（Windows 98/MeはMS-DOSプロンプト）を使用して、ネットワークボードのFTPサーバにアクセスし、デバイスに関するさまざまな情報の設定やネットワークやセキュリティに関する設定ができます。

■ **NetSpot Console（→オンラインマニュアル）**
NetSpot Consoleは、お手持ちのWebブラウザを使ってネットワークに接続されているさまざまなプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。プリンタの一覧表示やマップ表示など、さまざまな情報の表示ができます。

重要　NetSpot Consoleを使用する場合は、ネットワーク上にあるいずれかのコンピュータにNetSpot Consoleがインストールされている必要があります。インストールされているコンピュータがない場合は、インストールしてください。インストール方法については、NetSpot ConsoleのReadmeを参照してください。詳しい操作方法については、NetSpot Consoleのオンラインマニュアルを参照してください。

メモ　NetSpot Consoleは、キヤノンホームページ（http://canon.jp）からダウンロードしてインストールします。

リモート UI を使用してプリンタを管理する

ここでは、リモート UI を使用して以下の管理を行う手順を記載します。

- プリンタの状況を電子メールで通知する（➞P.3-4）
- 印刷できるユーザを制限する（➞P.3-10）
- SNMP プロトコルで設定／参照できるユーザを制限する（➞P.3-15）
- マルチキャスト探索できるユーザを制限する（➞P.3-22）
- アクセスできるユーザを MAC アドレスによって制限する（➞P.3-27）
- SMTP サーバへのアクセス時にユーザ認証を行う（➞P.3-32）
- セキュリティアクセスログを取得／確認する（➞P.3-36）
- ネットワーク設定を初期化する（➞P.3-43）

なお、これらの管理は FTP クライアントでも管理することができます。

重要

- 本プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリント「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（➞P.2-68）を参照するか管理者に相談してください。
- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降、または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外]（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

メモ

お使いの環境によっては、リモート UI の画面が表示されないときがあります。このようなときは、[アドレス] または [場所] に「http:// <本プリンタの IP アドレス> /cab/top.shtml」を入力して、ページを表示しなおしてください。

プリンタの状況を電子メールで通知する

印刷が終了したときや、紙づまり、用紙切れなどのデバイスエラーが発生したときなどに、設定した宛先（メールアドレス）に電子メールでプリンタ状況を通知させることができます。通知させるプリンタ状況は、次のうちのいずれかまたは、すべてを選択することができます。

- ［ジョブ終了時］
  印刷が終了したとき（印刷ジョブごとに通知されます）。
  通知される電子メールには、「ドキュメント名」、「オーナ」、「総ページ数」、「印刷結果」などの情報が記載されます。
- ［デバイスエラー発生時］
  紙づまり、用紙切れ、用紙交換要求などのプリンタエラーや、電源を入れなおす必要があるプリンタエラーが発生したとき。
  通知される電子メールには、発生したエラーやエラーの解除方法などの情報が記載されます。
- ［消耗品交換要求時］
  トナーなどの消耗品が寿命に達して交換が必要なとき。
  通知される電子メールには、該当する消耗品の名称や状態などの情報が記載されます。

例えば、プリンタの前カバーが開いているときに、以下のような電子メールを受信できます。

```
From: “TestPrinter” <000085044567>
To: xxx001@example.com
Subject: [DEVICE ERROR] (0x0303100C)
Reply-to: xxx002@example.com
MIME-Version: 1.xx
Cotent-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP

エラーが発生しています。
    前カバーが開いています。
    前カバーをきちんと閉じてください。
--------
製品名：Canon LBPxxxx
Page Count：560
設置場所：○×ビル3階　営業部
連絡先：システム情報部　システム監視課　鈴木
```

メモ

電子メールのヘッダの From には、送信元のアドレス情報として、デバイス名と MAC アドレスが表示されています（例："TestPrinter"<000085044567>）。このメールの送信元（上記例の "TestPrinter"<000085044567>）は、リモート UI の［デバイス管理］－［情報］－［デバイス情報の変更］ページで設定するデバイス名と MAC アドレスから生成したメールアドレス（変更不可）になります。プリンタからのメールを識別するためには、固有のデバイス名を指定してください。ただし、このアドレスに直接返信することはできません。

1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

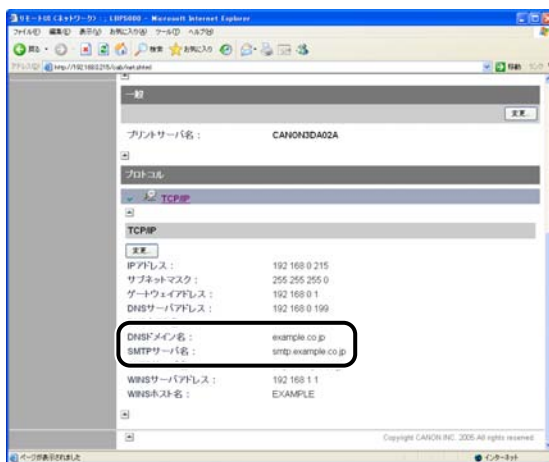
入力例： http://192.168.0.215/

2 ［ログイン］をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［ログイン］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

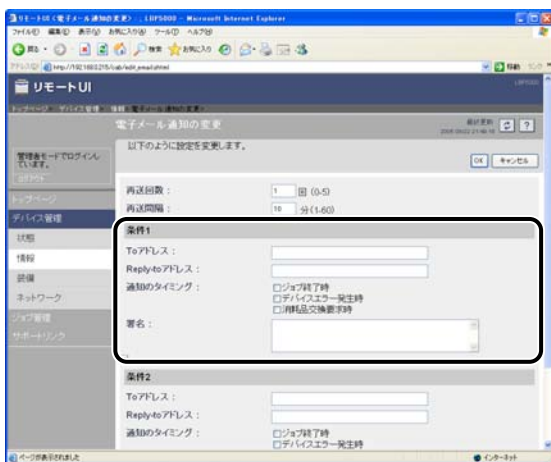
4 ［TCP/IP］の［DNS ドメイン名］に本プリンタの所属するドメイン名が正しく設定されていることと、［SMTP サーバアドレス］にメールサーバのアドレスが正しく設定されていることを確認します。

メールサーバのアドレスと本プリンタのドメイン名が正しく設定されていない場合は、メールサーバのアドレスと本プリンタのドメイン名を設定します。（➞ リモート UI によるプロトコル設定：P.2-72）

5 ［デバイス管理］メニューから［情報］をクリックします。

6 ［電子メール通知］の右にある［変更］をクリックします。

7 ［再送回数］、［再送間隔］に、プリンタの状況を通知するメールの送信に失敗したときに再送する回数と、再送するまでの時間を設定します。

重要　ネットワークボードは送信した電子メールを保存することができるため、プリンタの状況を通知するメールの送信に失敗したときに、再送することができます。電子メールは 15 個まで保存することができます。16 個以上になった場合は、古い電子メールから順に削除されるため、再送することはできません。

8 ［条件 1］の各項目を設定します。

設定する項目

[To アドレス]：　プリンタ状況を通知する電子メールの宛先（メールアドレス）を設定します。複数のメールアドレスを設定するときは、アドレスごとに「,」で区切って入力します。

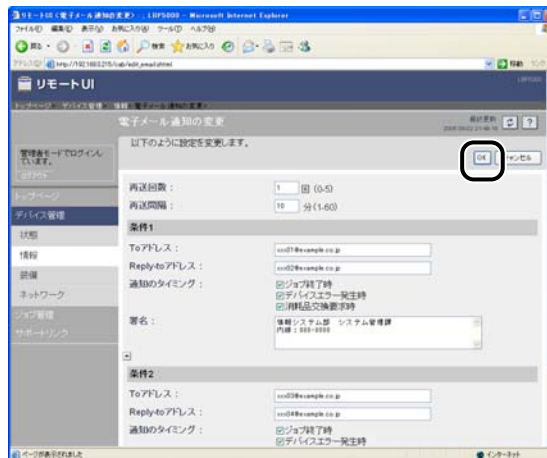
[Reply-to アドレス]：返信先となる宛先（メールアドレス）を設定します。プリンタ状況を通知する電子メールに対して返信すると、ここで設定した宛先に電子メールが送信されます。プリンタ管理者や消耗品管理者などのメールアドレスを設定しておくと、管理者に電子メールで状況を知らせることができます。複数のメールアドレスを設定するときは、アドレスごとに「,」で区切って入力します。

[通知のタイミング]：　通知させたいプリンタ状況を選択します。次の項目から選択します。複数の項目を選択することもできます。また、いずれも選択しなかった場合は、電子メール通知は行われません。

・[ジョブ終了時]：
　印刷が終了したときに通知させたい場合に選択します。
・[デバイスエラー発生時]：
　紙づまり、用紙切れ、用紙交換要求などのプリンタエラーが発生したときに通知させたい場合に選択します。
・[消耗品交換要求時]：
　トナーなどの消耗品が寿命に達して交換が必要なときに通知させたい場合に選択します。

[署名]：　メールの本文の最後に表示される文章を設定します。

9 **[条件 1］と異なる宛先や、異なる条件でプリンタの状況を通知するメールを送信したいときは、［条件 2］も設定します。**

10 **[OK］をクリックします。**

これで電子メール通知機能の設定は完了しました。

印刷できるユーザを制限する

重要 本機能によって制限されるのは印刷要求のみであり、リモート UI からのアクセスなどは制限されません。

メモ
- 印刷を拒否したIPアドレスのコンピュータから印刷しようとした場合、プリンタステータスウィンドウに「印刷ができません」と表示されます。
- 印刷を拒否した IP アドレスのコンピュータの場合、プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから実行できなくなる項目があります。

---

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

入力例：http://192.168.0.215/

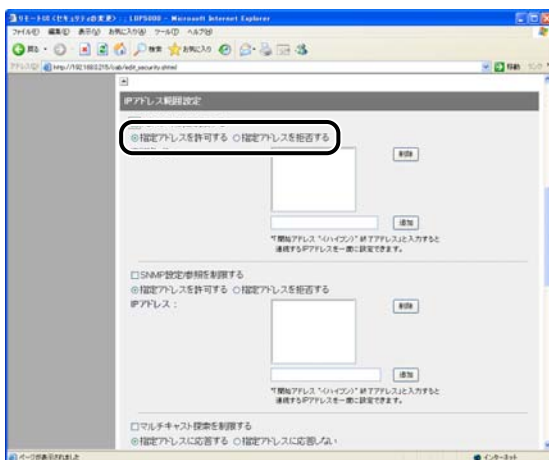
2 **［ログイン］をクリックします。**

メモ プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［ログイン］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［情報］をクリックします。

4 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

5 [TCP/IP 印刷を制限する] にチェックマークを付けます。

6 [指定アドレスを許可する] または [指定アドレスを拒否する] を選択します。

メモ　[指定アドレスを許可する] を選択すると、[IP アドレス] で入力したユーザからのみ印刷できます。[指定アドレスを拒否する] を選択すると、[IP アドレス] で入力したユーザからの印刷ができなくなります。

7 印刷を許可または拒否するコンピュータの IP アドレスを入力して、[追加] をクリックします。

IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します。また、以下のように入力することもできます。

IP アドレスの入力例	IP アドレスの入力方法
AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18	連続する複数の IP アドレスを入力するときは「-」で IP アドレスをつなげます。左記の例では AAA.BBB.C.15～AAA.BBB.C.18 までの IP アドレスを入力するのと同じです。
AAA.BBB.C.*	IP アドレスに「*」を入力すると、0～255 までの数値を入力するのと同じです。左記の例では AAA.BBB.C.0～AAA.BBB.C.255 までの IP アドレスを入力するのと同じです。

IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して [削除] をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

SNMP プロトコルで設定／参照できるユーザを制限する

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

2 **［ログイン］をクリックします。**

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［ログイン］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［情報］をクリックします。

4 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

5 SNMPv1 プロトコルを設定します。

● SNMPv1 プロトコルを使用する場合

❑ ［SNMPv1］を［オン］に設定します。

❑ ［アクセス権限］でSNMPv1エージェントを［ReadOnly］または［ReadWrite］のどちらのモードで動作させるか選択します。

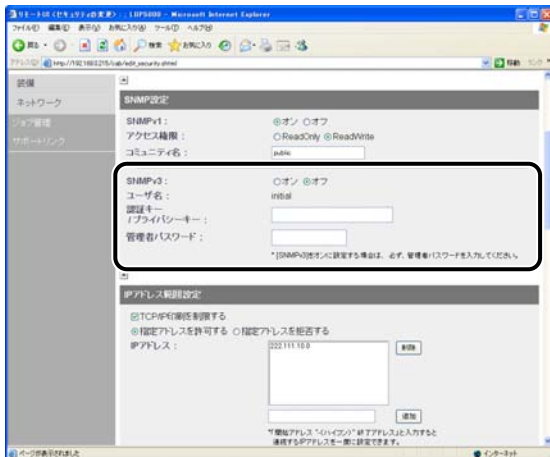
❑ ［コミュニティ名］に、SNMP のコミュニティ名を設定します。

重要　［ReadOnly］を選択すると書き込みができなくなり、キヤノン製のユーティリティソフトウェアの一部が使用できなくなったり、エラーが発生して正常に使えないことがあります。

● SNMPv1 プロトコルを使用しない場合

❑ ［SNMPv1］を［オフ］に設定します。

重要　［SNMPv1］を［オフ］に設定すると、キヤノン製のユーティリティソフトウェアが使用できなくなることがあります。［オフ］を選択する場合は、管理者に相談してから設定してください。

6 SNMPv3 プロトコルを設定します。

● SNMPv3 プロトコルを使用する場合

❏ ［SNMPv3］を［オン］に設定します。

❏ ［認証キー/ プライバシーキー］に、SNMPv3 で使用する認証キーとプライバシーキーを設定します。

❏ ［管理者パスワード］に、リモート UI の管理者パスワードを入力します。

重要 SNMPv3 プロトコルの設定をリモート UI 以外のソフトウェアで行った場合、SNMPv3 プロトコルの設定項目はリモート UI には表示されなくなります。再度表示するには、ネットワークボードの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。設定値を工場出荷時の状態に戻す方法については、「ネットワーク設定の初期化」（➞P.5-8）を参照してください。

メモ
- SNMPv3 プロトコルで使用するユーザ名は、「initial」に設定されます。
- リモート UI の管理者パスワードを設定していない場合は、［管理者パスワード］を入力する必要はありません。

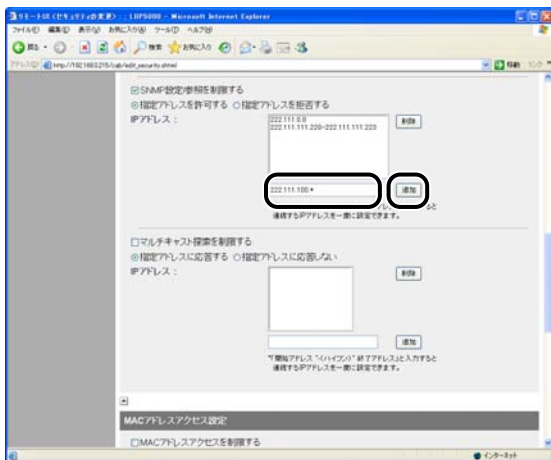
● SNMPv3 プロトコルを使用しない場合

❏ ［SNMPv3］を［オフ］に設定します。

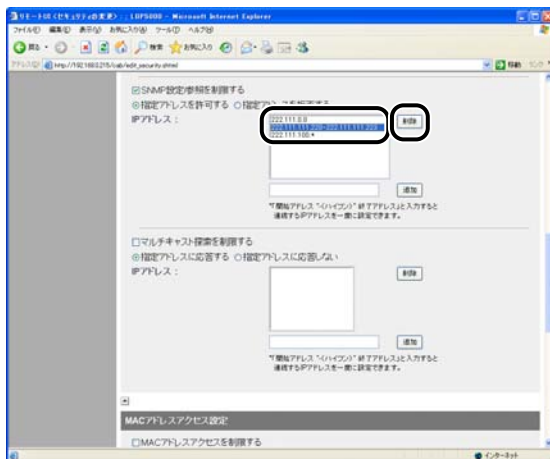
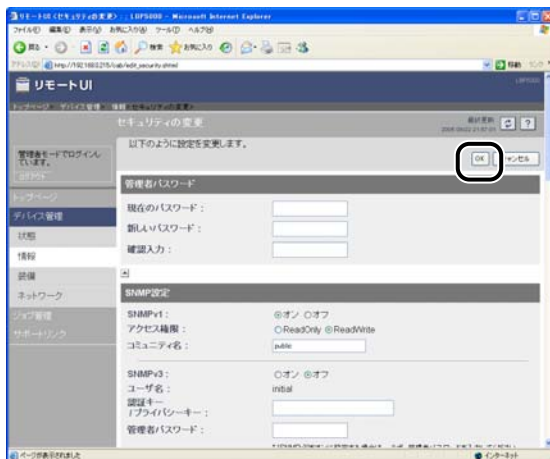
7 ［SNMP 設定 / 参照を制限する］にチェックマークを付けます。

8 ［指定アドレスを許可する］または［指定アドレスを拒否する］を選択します。

メモ　［指定アドレスを許可する］を選択すると、［IP アドレス］で入力したユーザからのみ設定 / 参照できます。［指定アドレスを拒否する］を選択すると、［IP アドレス］で入力したユーザからの設定 / 参照ができなくなります。

9 SNMPでの設定/参照を許可または拒否するコンピュータのIPアドレスを入力して、［追加］をクリックします。

IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します。また、以下のように入力することもできます。

IP アドレスの入力例	IP アドレスの入力方法
AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18	連続する複数の IP アドレスを入力するときは「-」で IP アドレスをつなげます。左記の例では AAA.BBB.C.15～AAA.BBB.C.18 までのIP アドレスを入力するのと同じです。
AAA.BBB.C.*	IP アドレスに「*」を入力すると、0～255 までの数値を入力するのと同じです。左記の例では AAA.BBB.C.0～AAA.BBB.C.255 までのIP アドレスを入力するのと同じです。

IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して［削除］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

マルチキャスト探索できるユーザを制限する

メモ　マルチキャスト探索とは、サービスロケーションプロトコル（SLP）によって特定のデバイスを探索する機能です。マルチキャスト探索を利用すると、NetSpot Device Installer や NetSpot Console などのユーティリティソフトウェアからサービスロケーションプロトコル（SLP）を使用して、［スコープ名］が一致するデバイスのみを探索することができます。

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

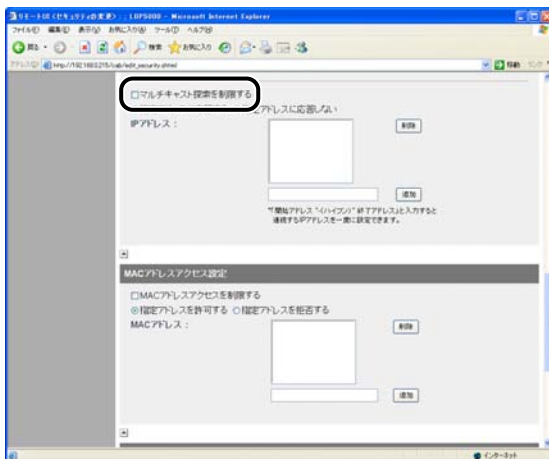
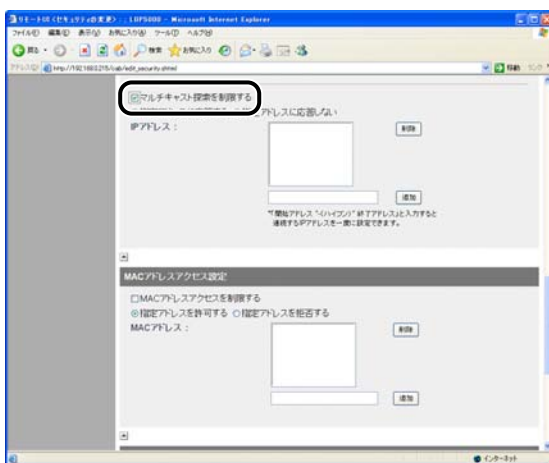
入力例：http://192.168.0.215/

2 **［ログイン］をクリックします。**

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［ログイン］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［情報］をクリックします。

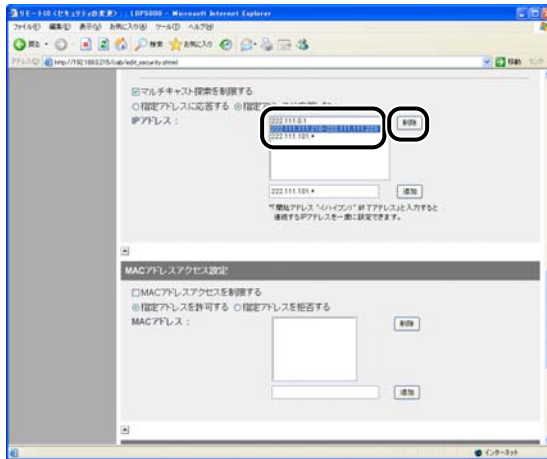
4 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

5 ［マルチキャスト探索を制限する］にチェックマークを付けます。

6 ［指定アドレスに応答する］または［指定アドレスに応答しない］を選択します。

メモ　［指定アドレスに応答する］を選択すると、［IP アドレス］で入力したユーザからのみマルチキャストを使用した探索に応答します。［指定アドレスに応答しない］を選択すると、［IP アドレス］で入力したユーザからのマルチキャストを使用した探索に応答しなくなります。

7 マルチキャスト探索に応答するまたは応答しないコンピュータのIPアドレスを入力して、［追加］をクリックします。

IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します。また、以下のように入力することもできます。

IP アドレスの入力例	IP アドレスの入力方法
AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18	連続する複数の IP アドレスを入力するときは「-」で IP アドレスをつなげます。左記の例では AAA.BBB.C.15 ～ AAA.BBB.C.18 までの IP アドレスを入力するのと同じです。
AAA.BBB.C.*	IP アドレスに「*」を入力すると、0 ～ 255 までの数値を入力するのと同じです。左記の例では AAA.BBB.C.0 ～ AAA.BBB.C.255 までの IP アドレスを入力するのと同じです。

IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して [削除] をクリックします。

8 [OK] をクリックします。

アクセスできるデバイスを MAC アドレスによって制限する

1 **Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

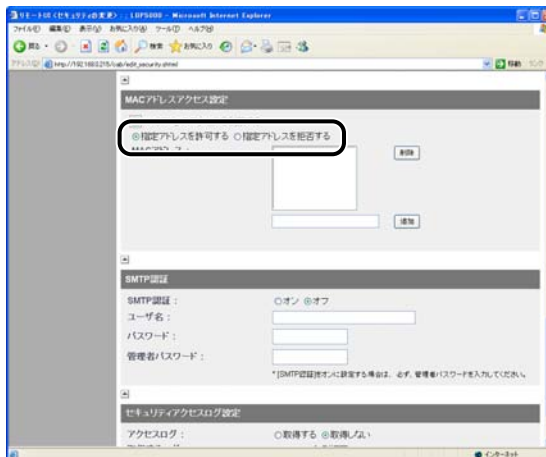
2 **[ログイン] をクリックします。**

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[ログイン] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

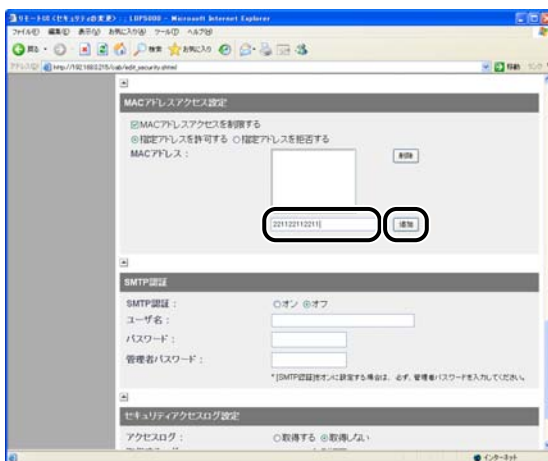
3 ［デバイス管理］メニューから［情報］をクリックします。

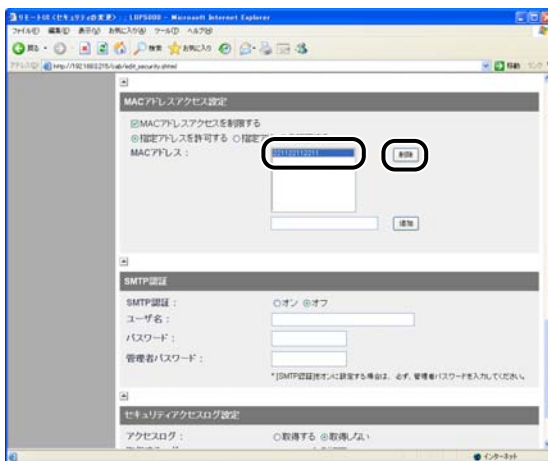
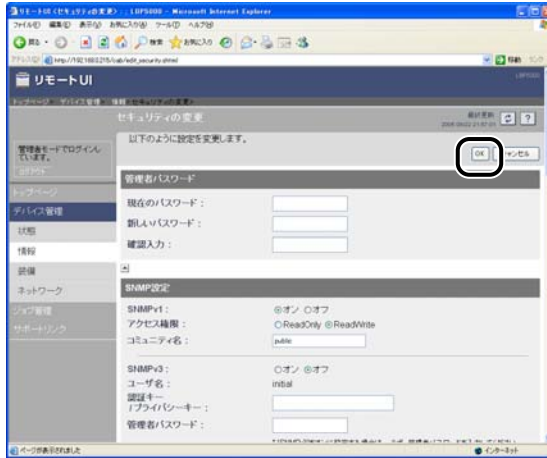
4 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

5 ［MAC アドレスアクセスを制限する］にチェックマークを付けます。

6 ［指定アドレスを許可する］または［指定アドレスを拒否する］を選択します。

重要　［指定したアドレスのみ許可する］を選択すると、許可されていない MAC アドレスからのアクセスができなくなります。そのため入力の際には MAC アドレスをよく確認してください。該当する MAC アドレスが存在しない場合は、ネットワークにアクセスできなくなります。なお、その際は、ネットワーク設定を初期化する必要があります。（→ ネットワーク設定の初期化：P.5-8）

7 アクセスを許可または拒否するデバイスの MAC アドレスを入力して、［追加］をクリックします。

MAC アドレスは、12 桁の英数字を 0123456789ab のようにハイフン (-) やコロン (:) で区切らずに入力します。

メモ　MAC アドレスは 20 個まで追加することができます。

MAC アドレスを削除する場合は、削除する MAC アドレスを選択して［削除］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

SMTP サーバへのアクセス時にユーザ認証を行う

1 **Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。**

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

入力例：http://192.168.0.215/

2 **[ログイン] をクリックします。**

メモ

プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[ログイン] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［情報］をクリックします。

4 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

5 ［SMTP 認証］を設定します。

● SMTP 認証を行う場合

- ❑ ［SMTP 認証］を［オン］にします。
- ❑ ［ユーザ名］に、SMTP 認証で使用するユーザ名を入力します。
- ❑ ［パスワード］に、SMTP 認証で使用するパスワードを入力します。
- ❑ ［管理者パスワード］に、リモート UI の管理者パスワードを入力します。

メモ　リモート UI の管理者パスワードを設定していない場合は、［管理者パスワード］を入力する必要はありません。

● SMTP 認証を行わない場合

- ❑ ［SMTP 認証］を［オフ］にします。

6 [OK] をクリックします。

セキュリティアクセスログを取得／確認する

セキュリティアクセスログを取得する

印刷できるユーザや、SNMP プロトコルで設定／参照できるユーザ、マルチキャスト探索できるユーザを［IP アドレス範囲設定］で制限している場合、制限したユーザからのアクセスをブロックしたときに、セキュリティアクセスログ（アクセスをブロックした日時、IP アドレス、ポート番号、制限の種類の情報）を取得することができます。制限の種類によってセキュリティアクセスログを取得するかしないかを選択することができます。

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

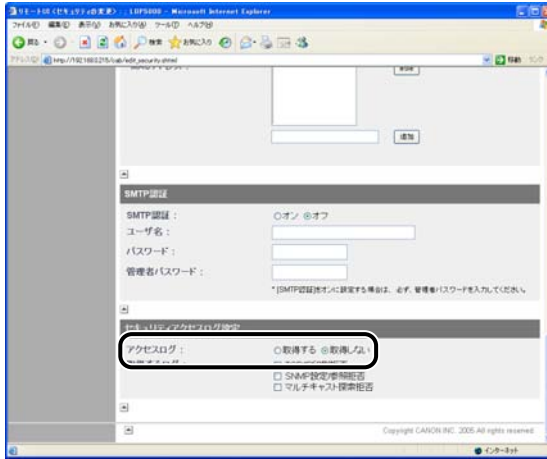
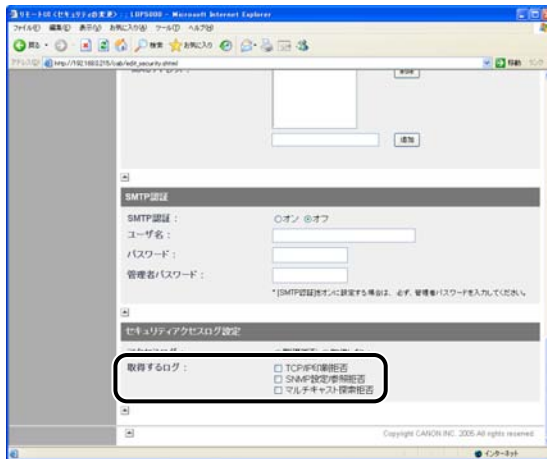
2 **［ログイン］をクリックします。**

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［ログイン］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［情報］をクリックします。

4 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

5 ［アクセスログ］の［取得する］または［取得しない］を選択します。

［取得する］を選択すると、［IP アドレス範囲設定］で制限したユーザからのアクセスをブロックした場合にセキュリティアクセスログを取得します。
［取得しない］を選択すると、［IP アドレス範囲設定］で制限したユーザからのアクセスをブロックした場合にセキュリティアクセスログを取得しません。

6 ［アクセスログ］で［取得する］を選択した場合、［取得するログ］から取得したいセキュリティアクセスログを選択します。

設定する項目

[TCP/IP 印刷拒否]： TCP/IP 印刷を制限したユーザからのアクセスをブロックした場合にセキュリティアクセスログを記録します。

[SNMP 設定 / 参照拒否]： SNMP設定/参照を制限したユーザからのアクセスをブロックした場合にセキュリティアクセスログを記録します。

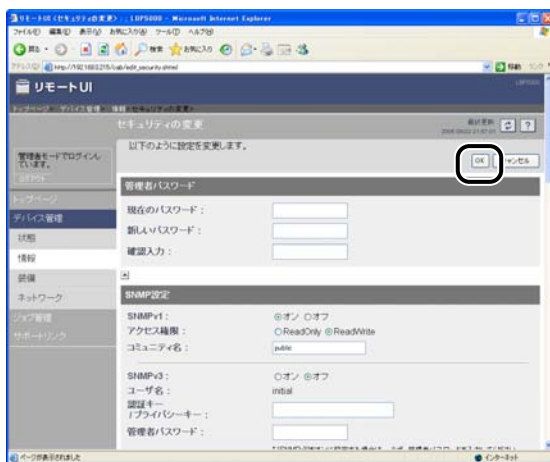
[マルチキャスト探索拒否]： マルチキャスト探索を制限したユーザからのアクセスをブロックした場合にセキュリティアクセスログを記録します。

メモ

取得したセキュリティアクセスログは、[セキュリティアクセスログ] ページで表示や [保存]、[クリア] をすることができます。[セキュリティアクセスログ] ページを表示するには、リモート UI の [デバイス管理] メニューの [情報] ページで [ログ表示] をクリックします。詳しくは、「セキュリティアクセスログを確認する」(→P.3-40）を参照してください。

7 [OK] をクリックします。

3

ネットワーク環境でプリンタを管理するには

セキュリティアクセスログを確認する

印刷できるユーザや、SNMP プロトコルで設定／参照できるユーザ、マルチキャスト探索できるユーザを［IP アドレス範囲設定］で制限している場合、制限したユーザからのアクセスをブロックしたときに、取得されるセキュリティアクセスログ（アクセスをブロックした日時、IP アドレス、ポート番号、制限の種類の情報）を確認することができます。また、セキュリティアクセスログの［保存］、［クリア］を行うこともできます。

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

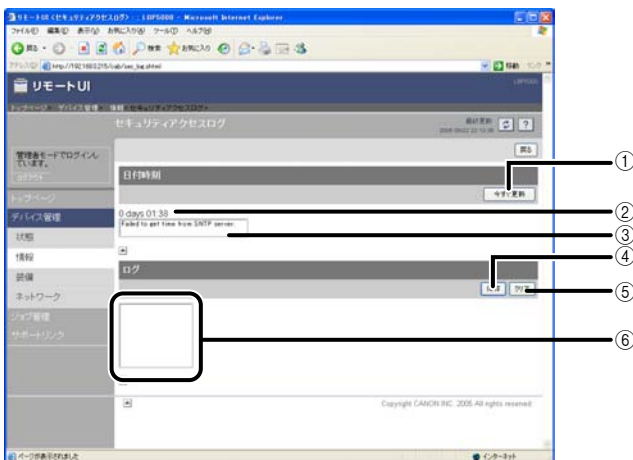
入力例：http://192.168.0.215/

2 **［ログイン］をクリックします。**

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［ログイン］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［情報］をクリックします。

4 ［セキュリティ］にある［ログ表示］をクリックします。

5 [セキュリティアクセスログ] ページでセキュリティアクセスログを確認します。

① [今すぐ更新]
このボタンをクリックすると設定している SNTP サーバから日付と時刻の情報を取得します。情報の取得成功 / 失敗時に応じて、日付時刻と SNTP サーバログにステータスを反映します。

② [日付時刻]
SNTP サーバから取得した日付と時刻を表示します。SNTP サーバアドレスが設定されていなかったり、SNTP サーバから応答がないなど、日付時刻が取得できなかった場合は、ネットワークボードの持つローカルタイムを表示します。

③ [SNTP サーバログ]
SNTP サーバからの取得状況を表示します。
SNTP から取得成功時：Synchronized with the SNTP server at ＜取得した日時＞.
Next synchronization in ＜次回の取得日時＞ .
SNTP から取得実行時：Getting time from SNTP Server.
SNTP から取得失敗時：Failed to get time from SNTP Server.

④ [保存]
取得したセキュリティアクセスログをテキスト形式で保存します。

⑤ [クリア]
取得したセキュリティアクセスログをクリアします。

⑥ [セキュリティアクセスログ]
取得したセキュリティアクセスログを表示します。アクセスをブロックした日時、IP アドレス、ポート番号、制限の種類（「PRINT」（TCP/IP 印刷拒否）、「SNMP」（SNMP 設定 / 参照拒否）、「SLP」（マルチキャスト探索拒否）のいずれか）が表示されます。

重要 取得できるセキュリティアクセスログは 100 ログまでです。100 ログを超えた場合は、古いログから消去されます。

ネットワーク設定を初期化する

ネットワークボードの設定値を工場出荷時の値に戻したいときは、リモート UI、FTP クライアント、NetSpot Device Installer のいずれかの方法で行います。

ここでは、リモート UI でネットワーク設定を初期化する方法を説明します。FTP クライアントまたは NetSpot Device Installer のどちらかを使用して、ネットワーク設定の初期化を行う場合は、「ネットワーク設定の初期化」（→P.5-8）を参照してください。

重要 ネットワーク設定の初期化は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。印刷中やデータの受信中に行うと、受信したデータが正しく印刷されなかったり、紙づまりや故障の原因になります。

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

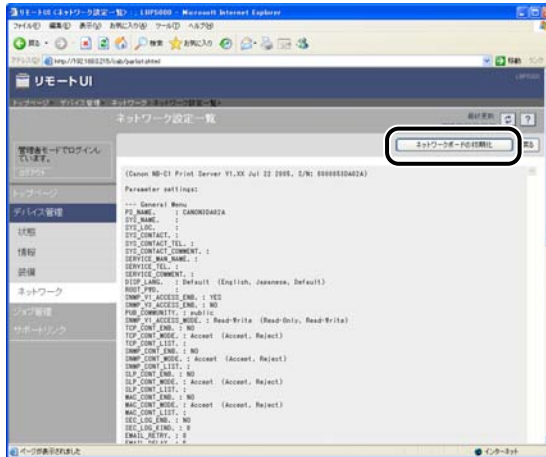
入力例：http://192.168.0.215/

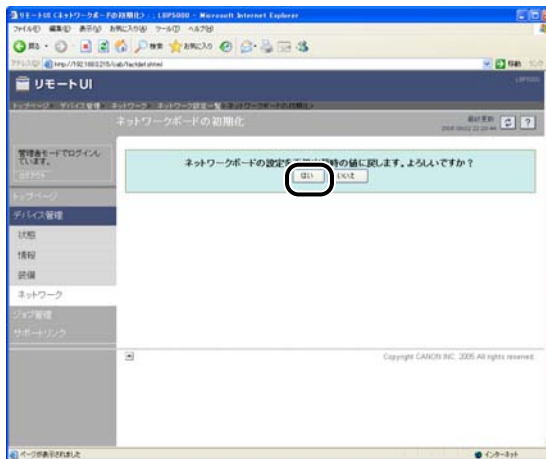
2 **［ログイン］をクリックします。**

メモ プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［ログイン］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

4 ［ネットワークインタフェース］にある［ネットワーク設定一覧］をクリックします。

5 ［ネットワークボードの初期化］をクリックします。

6 ［はい］をクリックすると、ネットワーク設定を初期化します。

［いいえ］をクリックすると、ネットワーク設定を初期化しないで元のページに戻ります。

FTP クライアントを使用してプリンタを管理する

以下の手順で、FTP クライアントを使用して、プリンタを管理することができます。また、ファームウェアのバージョンアップなども行うことができます。

1 コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトを起動します。

Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。
Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。
Windows Me の場合は、[スタート] メニューから [プログラム] → [アクセサリ] → [MS-DOS プロンプト] を選択します。
Windows 98 の場合は、[スタート] メニューから [プログラム] → [MS-DOS プロンプト] を選択します。

2 次のコマンドを入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。

ftp <プリンタの IP アドレス>

メモ　本プリンタの IP アドレスがわからないときは、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」(→P.2-68) で印刷したネットワークステータスプリントを参照するか管理者に相談してください。

3 ユーザ名として「root」を入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。

プリンタにパスワードを設定しているときは、さらにパスワードを入力します。パスワードを設定していないときは、パスワードは入力せずにキーボードの [ENTER] キーのみを押します。

メモ　ユーザ名は、「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。

4 次のコマンドを入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。

get config <ファイル名>

config ファイルがダウンロードされます。<ファイル名>に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

重要　Windows 98/Me の場合は、<ファイル名>に「config」と入力しないでください。

メモ

- ファームのバージョンアップを行う場合は、「put <ファームウェアのアップデートファイル> FLASH」を入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。ファームウェアのアップデートファイルについては、「ファームウェアを更新する」（➞P.5-16）を参照してください。
- ネットワークボードの初期設定値を取得する場合は、「get defaults」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押すと、ネットワークボードの初期設定値リストがダウンロードされます。
- config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

5 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを編集します。

各項目の説明については「ネットワーク設定項目一覧」（➞P.5-2）を参照してください。

6 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

put <ファイル名> CONFIG

メモ

<ファイル名>には、ダウンロードしたときに入力した config ファイルのファイル名を入力します。

7 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ

プリンタを再起動（電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってからオンにする）しても設定が有効になります。

8 「quit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

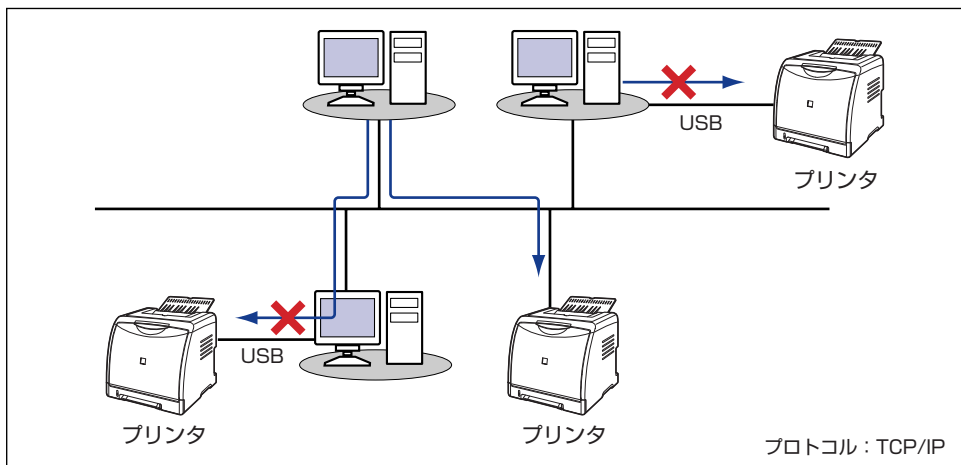
9 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトが終了します。

NetSpot Device Installer を使用してプリンタを管理する

NetSpot Device Installer を使うと、ネットワーク上にあるさまざまなプリンタの基本的なプロトコル設定や状態表示を行えます。ここでは、NetSpot Device Installer の起動方法やインストール方法などを説明しています。NetSpot Device Installer の使用方法については、NetSpot Device Installer のオンラインヘルプをご覧ください。

設定できるデバイスの種類

NetSpot Device Installer では、TCP/IP ネットワークに接続されているデバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行うことができます。それ以外の接続形態のデバイスは、NetSpot Device Installer では設定できません。

NetSpot Device Installer をインストールする

NetSpot Device Installer は、次の手順でインストールします。

重要

- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバとしてログオンしてください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer を使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。異なるサブネット上にあるプリンタを探索する場合は、NetSpot Device Installer の Readme を参照して、[Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページに「NetSpot Device Installer」を登録してください。

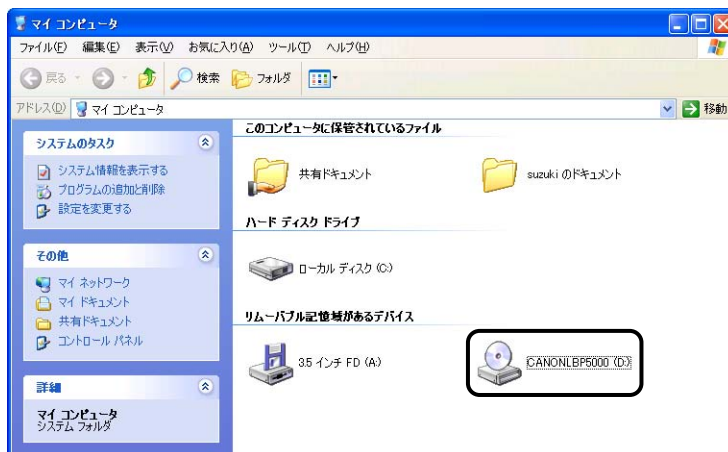
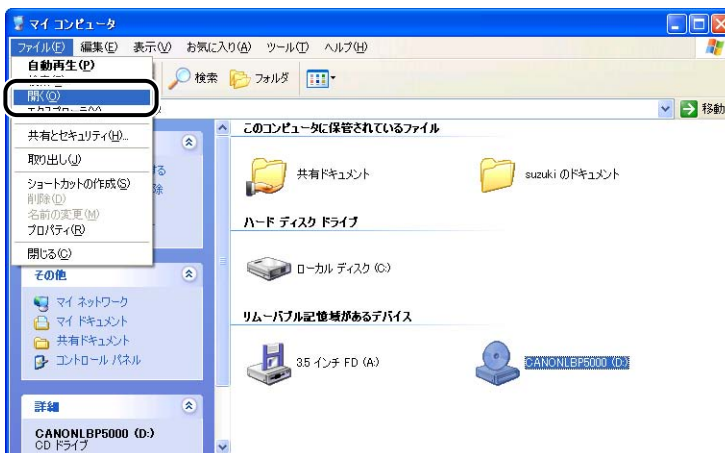
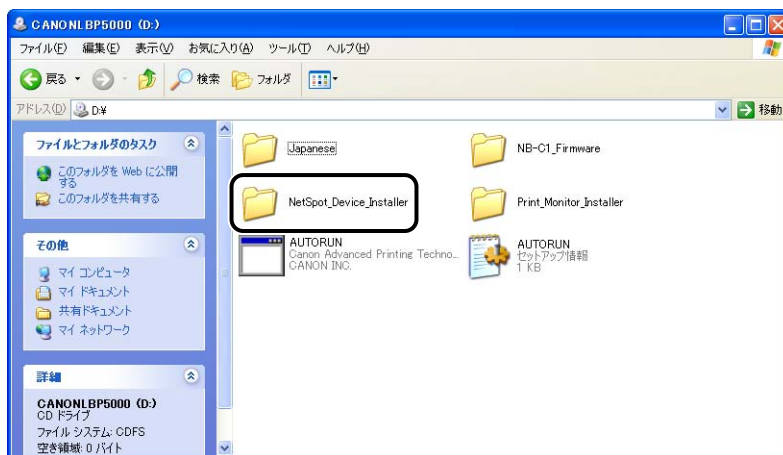
メモ

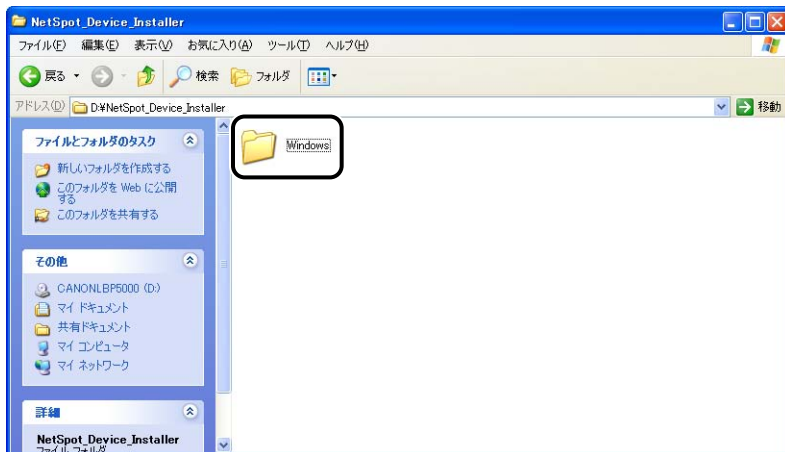
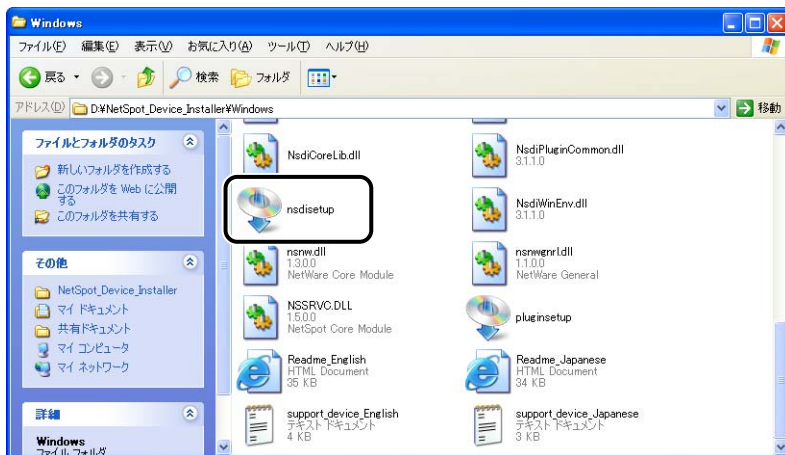
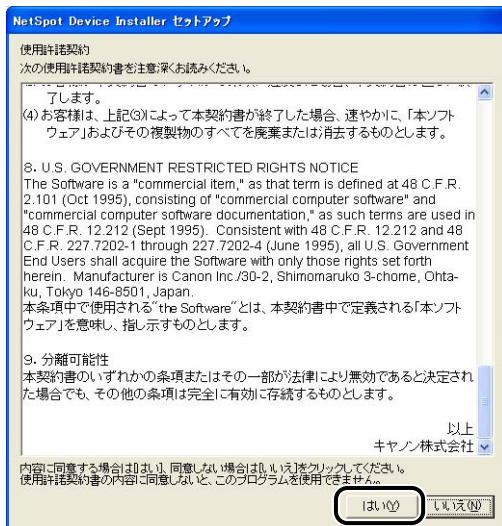
- NetSpot Device Installer は、インストールせずに使用できるユーティリティソフトウェアです。インストールせずに使用する場合は、「NetSpot Device Installer を起動する」（→P.3-54）をお読みください。
- NetSpot Device Installerにプラグインを追加すると、機能を拡張することができます。プラグインの機能を使用する場合は、NetSpot Device Installer とプラグインの両方をコンピュータにインストールしてください。プラグインの詳細については、NetSpot Device Installer の Readme を参照してください。

---

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

2 ［マイコンピュータ］を開き、CD-ROM ドライブを選択します。

3 ［ファイル］メニューから［開く］を選択します。

4 ［NetSpot_Device_Installer］フォルダをダブルクリックします。

5 [Windows］フォルダをダブルクリックします。

6 [nsdisetup.exe］をダブルクリックします。

7 ［はい］をクリックします。

8 ［参照］をクリックして、インストール先を選択します。

［スタート］メニューに NetSpot Device Installer を追加する場合は［スタートメニューに追加する］にチェックマークを付けます。

9 ［OK］をクリックします。

NetSpot Device Installer のインストールが開始されます。

Windows XP Service Pack 2などのWindows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、以下の画面が表示されます。

登録する場合は、［はい］をクリックします。［いいえ］をクリックすると、IP アドレスが設定されていないプリンタや NetSpot Device Installer を使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。

10 インストール完了の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

11 インストールしたいプラグインを選択し、［インストール開始］をクリックします。

プラグインの詳細については、NetSpot Device InstallerのReadme ファイルを参照してください。

メモ　プラグインは、後でインストールすることもできます。後からプラグインをインストールする手順については、 Readme ファイルを参照してください。

NetSpot Device Installer のインストールの作業が終了しました。

NetSpot Device Installer を起動する

ここでは、NetSpot Device Installer を起動する方法を説明しています。

コンピュータにインストールした NetSpot Device Installer を起動する場合

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［NetSpot Device Installer］→［NetSpotDevice Installer］を選択します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、[スタート] メニューから [プログラム] → [NetSpot Device Installer] → [NetSpotDevice Installer] を選択します。

NetSpot Device Installer が起動します。

メモ　インストールするときに NetSpot Device Installer を［スタート］メニューに追加しなかった場合は、インストール先のフォルダにある［nsdi.exe］をダブルクリックします。

付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動する場合

■LBP5000、LBP3500 の場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2 ［付属ソフトウェア］をクリックします。

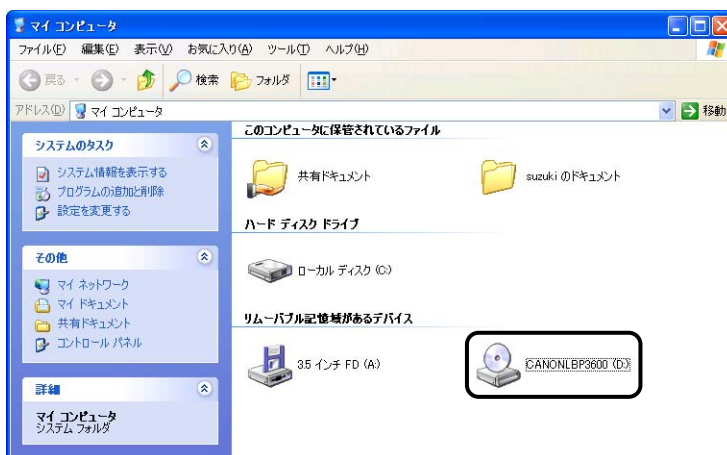
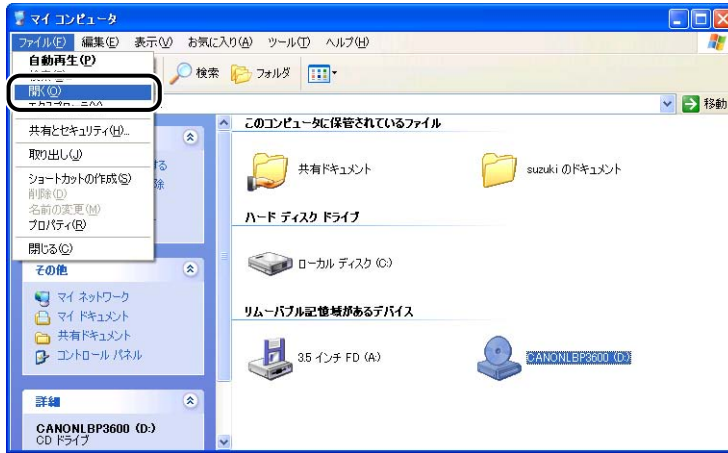
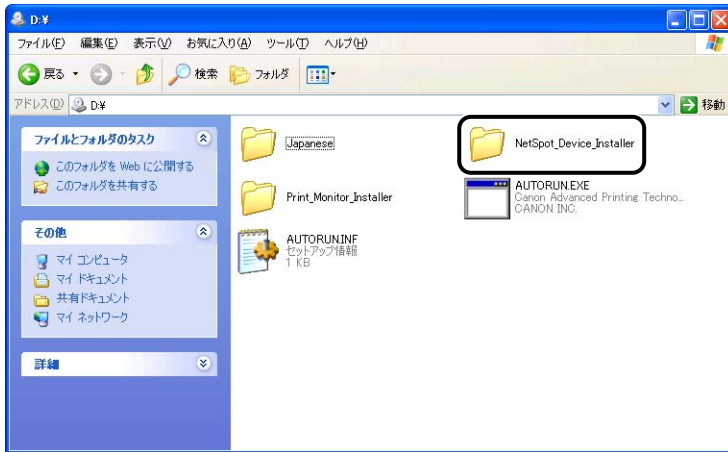
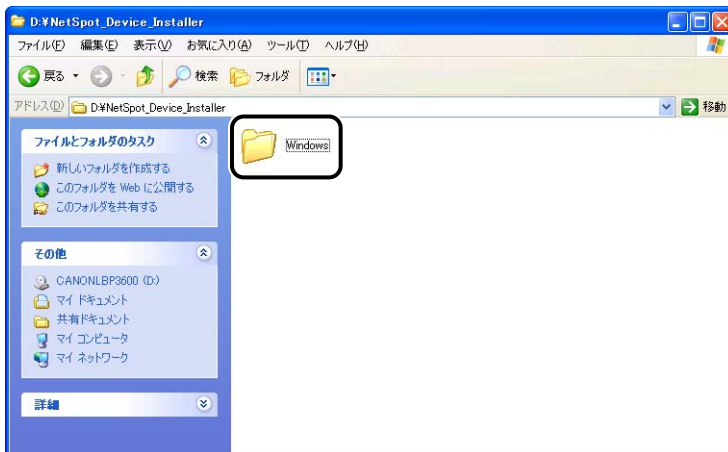
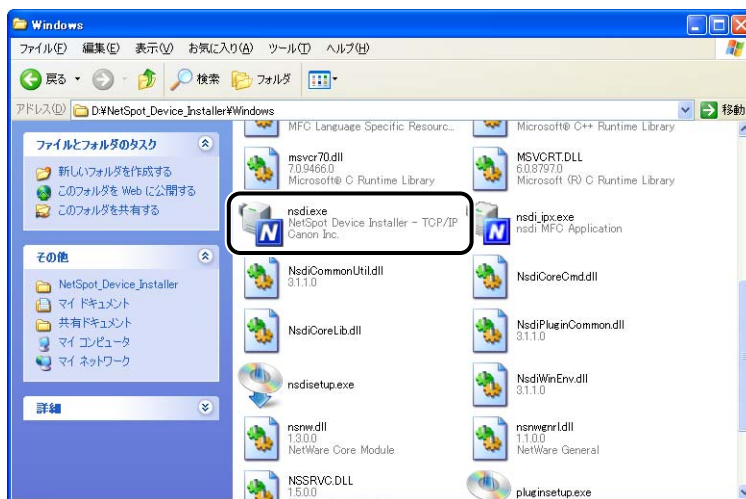
3 [NetSpot Device Installer for TCP/IP]の[起動]をクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

■LBP5600、LBP3600 の場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了] をクリックします。

2 [マイコンピュータ] を開き、CD-ROM ドライブを選択します。

3 ［ファイル］メニューから［開く］を選択します。

4 ［NetSpot_Device_Installer］フォルダをダブルクリックします。

5 ［Windows］フォルダをダブルクリックします。

6 ［nsdi.exe］をダブルクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

使用方法

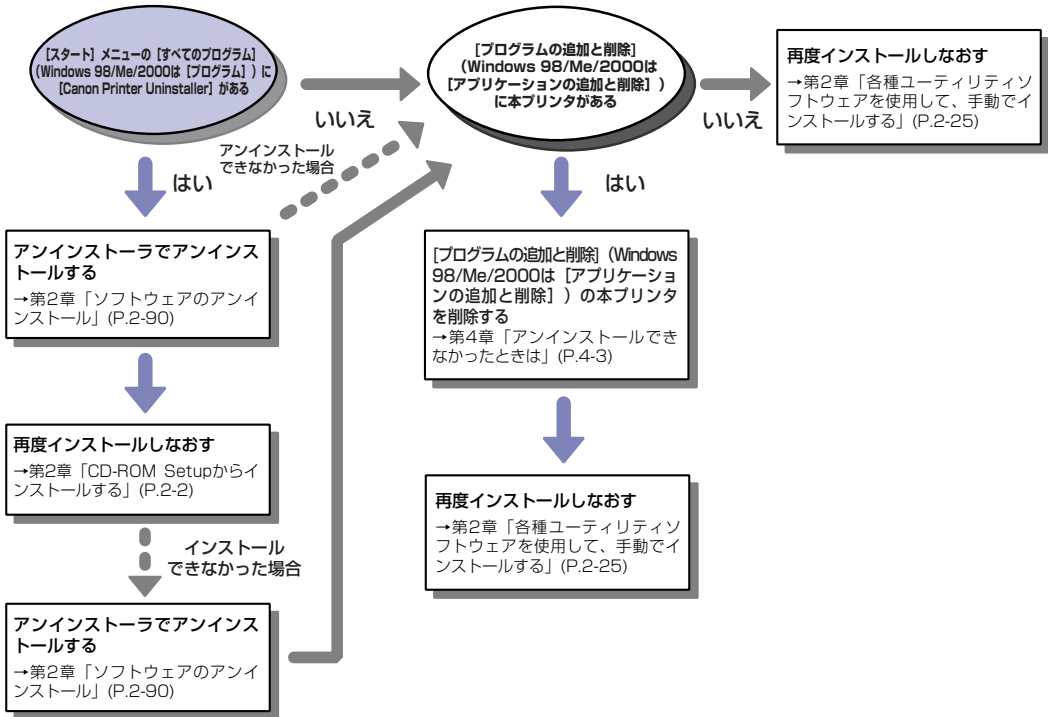
NetSpot Device Installer の詳しい使用方法は、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、［ヘルプ］メニューの［ヘルプ］をクリックすると、表示されます。

困ったときには

ネットワーク環境で起こったトラブルの解決法について説明しています。

インストールのトラブル

プリンタドライバのインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

メモ　ローカルインストール時のトラブルについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

アンインストールできなかったときは

インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合は、以下の手順にしたがって［プログラムの追加と削除］（Windows 98/Me/2000 は［アプリケーションの追加と削除］）で CAPT ソフトウェアを削除します。

1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➡［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］➡［プログラムの追加と削除］を選択します。

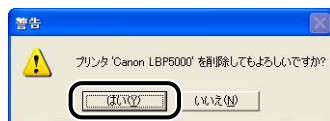
2 **［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内の本プリンタを選択し、［変更と削除］をクリックします。**

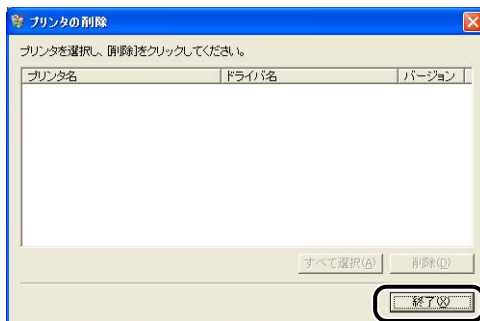
Windows 2000 の場合は［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の本プリンタを選択し、［変更と削除］をクリックします。
Windows 98/Me の場合は［アプリケーションの追加と削除のプロパティ］ダイアログボックス内の本プリンタを選択し、［追加と削除］をクリックします。

メモ　ダイアログボックス内に本プリンタがない場合は「各種ユーティリティソフトウェアを使用して、手動でインストールする」(➡P.2-25) を行って再度インストールしてください。

3 本プリンタを選択し、[削除]をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

4 [はい]をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 [終了]をクリックします。

[プリンタの削除]ダイアログボックスが閉じます。

6 Windows を再起動します。

その他のトラブル

メモ　紙づまりが起こったときや印刷品質のトラブルなど、プリンタに関するトラブルについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

ネットワークから印刷できない

原因 1　ネットワークボードとケーブルが、正しく接続されていない

処　置　次のことを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが、正しく取り付けられていることを確認します。（➞ ネットワークガイド／スタート編「第 2 章 ネットワークボードの取り付け」）
- プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。（➞ ネットワークガイド／スタート編「第 2 章 ネットワークボードの取り付け」）

原因 2　ネットワークが、正しく設定されていない

処置 1　IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。

メモ　確認方法として、以下の操作を行ってください。

1. コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトを起動します。
   - Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。
   - Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。
   - Windows Me の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［MS-DOS プロンプト］を選択します。
   - Windows 98 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［MS-DOS プロンプト］を選択します。
2. 「ftp <プリンタの IP アドレス>」を入力します。
   - 入力例：ftp 192.168.0.215
3. IP アドレスが正しく設定されている場合は、以下のコマンドが入力されます。
   - Connected to <プリンタの IP アドレス>

処置 2　DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、BOOTP、RARP が動作していることを確認してください。（➞ プリンタのプロトコル設定：P.2-71）

原因 3 Canon CAPT Print Monitor がインストールされていない

処　置 ［プリンタの追加ウィザード］でプリンタドライバをインストールする場合やプリンタに付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）を使って、ポートを手動で設定してプリンタドライバをインストールする場合は、インストールする前に必ず Canon CAPT Print Monitor をインストールしたあと、プリンタドライバをインストールしてください。(➞ 各種ユーティリティソフトウェアを使用して、手動でインストールする：P.2-25)

原因 4 印刷を行うコンピュータの設定が正しくされていない

処　置 次のことを確認してください。

- プリンタが通常使うプリンタとして設定されているか確認してください。
- プリンタドライバが正常にインストールされているかどうかを確認してください。正常にインストールされているかどうかを確認するために、ネットワークステータスプリントを印刷してみてください。(➞ ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する：P.2-68）正常に印刷されない場合は、プリンタドライバをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください。(ソフトウェアのアンインストール ➞P.2-90、ソフトウェアをインストールする ➞P.2-2）
- TCP/IP プロトコルが動作しているか確認してください。

原因 5 印刷データを送信するコンピュータの IP アドレスが、［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP 印刷を制限する］で制限されている。

処　置 ［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP 印刷を制限する］の設定内容を確認してください。(➞ 印刷できるユーザを制限する：P.3-10）

原因 6 ユニキャスト通信モードになっている

処　置 通常のモード（ブロードキャスト通信モード）に戻します。詳しくは、「ユニキャスト通信モードを使用する」（➞P.5-12）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

ネットワークボードのランプがすべて消灯している

原因 1 LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している

処置 1 LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。

処置 2 他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。

原因 2 ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している

処置 1 ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。

処置 2 ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。

原因３ クロスタイプの LAN ケーブルを使っている

処置１ ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。

処置２ クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。

メモ　クロスタイプの LAN ケーブルとは、プリンタとコンピュータを直接接続する場合に使用するケーブルのことです。

原因４ ハブと通信できない

処置１ ハブの電源がオンになっていることを確認します。

処置２ 接続したハブの通信速度に合わせてネットワークボードのディップスイッチを設定します。（➞ ネットワークガイド／スタート編「第４章 付録」）

処置３ ハブを交換します。

原因５ ネットワークボードが正しく取り付けられていない

処　置 ネットワークボードを一度取り外し、取り付けなおします。

原因６ ネットワークボードのハードウェアに異常がある

処　置 お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

ネットワークボードの ERR ランプが点灯している

原　因 ネットワークケーブルの接続不良や断線、あるいはネットワークボードが正しく取り付けられていない

処置１ ネットワークケーブルが正しく取り付けられているか確認してください。

処置２ ネットワークケーブルを正常に使えるものと交換し、断線や破損がないか確認してください。

処置３ 上記の操作を行っても ERR ランプが点灯するときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

ネットワークボードの ERR ランプが４回ずつ点滅している

原　因 ネットワークボードのディップスイッチ１がオンになっている

処　置 一度ディップスイッチ１をオフにしてください。（➞ ネットワーク設定の初期化：P.5-8）

ネットワークボードの ERR ランプが点滅し続けている

原　因　ネットワークボードのハードウェアに異常がある

処　置　お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

Canon CAPT Print Monitor をアンインストールできない

原因 1　プリンタドライバをアンインストールしていない

処　置　プリンタドライバがインストールされている状態で、Canon CAPT Print Monitor をアンインストールすることはできません。Canon CAPT Print Monitor をアンインストールする場合は、プリンタドライバをアンインストールしてから行ってください。(➞ プリンタドライバのアンインストール：P.2-90)

原因 2　Canon CAPT Port にプリンタが割り当てられている

処　置　[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダから [プリンタプロパティ] ダイアログボックスを表示して、[ポート] ページ (Windows 98/Me の場合は [詳細] ページ) で、Canon CAPT Port 以外のポートに設定してください。

ネットワークボードの機能を確認したいときには

ネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が確認できるネットワークステータスプリントの機能が用意されています。ネットワーク環境の設定が終了したあと、ネットワークボードの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

メモ
- ネットワークステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ここでは、Windows XP Professional の画面例で説明します。

1 **［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 **本プリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。**

Windows 98/Me の場合は、本プリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

3 ［ページ設定］ページを表示させ、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして、プリンタステータスウィンドウを起動します。

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［ネットワークステータスプリント］を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

ネットワークステータスプリントが印刷されます。

6 ネットワークステータスプリントの印刷内容を確認します。

ネットワークステータスプリントを行うと、次のように印刷されます。ネットワークボードのバージョンやTCP/IPの設定などの情報が確認できます。

重要 ここに掲載されているネットワークステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したネットワークステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

Canon ネットワークステータスプリント

製品名 :LBP5000
CAPTインタフェースバージョン :2.1
インタフェース :Fast Ethernet 10/100BaseT
伝送速度 :100Mbps
MACアドレス :00:00:85:3D:A0:2A
ファームウェア名 :NB-C1
ファームウェアバージョン :X.XX
CANON-MIBバージョン :X.XX
プリントサーバ名 :CANON3DA02A

TCP/IP
IPアドレス :192.168.0.215
サブネットマスク :Automatic router sensing
ゲートウェイアドレス :Automatic router sensing
DHCPによるアドレス設定 :OFF
BOOTPによるアドレス設定 :OFF
RARPによるアドレス設定 :OFF
DNSサーバアドレス :0.0.0.0
DNSホスト名 :
DNSドメイン名 :
SMTPサーバ名 :
WINSサーバアドレス :
WINSホスト名 :
SNTPサーバ名 :
マルチキャスト探索応答 :ON

セキュリティ
SNMPv1 :ON
SNMPv3 :OFF
TCP/IP印刷の制限 :OFF
SNMP設定/参照の制限 :OFF
マルチキャスト探索の制限 :OFF
MACアドレスアクセスの制限 :OFF
SMTP認証 :OFF

キヤノン CAPT プリントモニタ
バージョン :X.XX

Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

付録

5
CHAPTER

この章では、ネットワーク設定項目一覧やネットワークボードのおもな仕様などについて説明しています。

ネットワーク設定項目一覧

Web ブラウザ（リモート UI）、FTP クライアント、NetSpot Device Installer を使用すると、ネットワークボードの設定を変更することができます。変更できる設定項目は以下のものになります。

メモ

- 以下の一覧で、カッコ内に記載されている情報は、FTP クライアント固有のものです（例：「デバイス名（DEVICE_NAME）」は、リモート UI や NetSpot Device Installer［デバイス名］と表示され、FTP クライアントの config ファイルでは［DEVICE_NAME］と表示されます）。
- 項目名の最後の「*1」などは以下のことを表しています。
  - *1： NetSpot Device Installer では設定できません。これらの項目は、リモート UI、FTP クライアントで設定してください。
  - *2： FTP クライアントのみで設定できます。
- 文字数は、1byte 文字の場合の設定数です。

5

付録

■ 一般設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
［プリントサーバ名］ （PS_NAME）*1	ネットワークボード（プリントサーバ）の名称（0 ～ 15 文字）	CANONXXXXXX
［デバイス名］ （SYS_NAME）	デバイスの名称（0 ～ 32 文字）	（空欄）
［設置場所］ （SYS_LOC）	デバイスの設置場所（0 ～ 32 文字）	（空欄）
［管理者名］ （SYS_CONTACT）	デバイスの管理者の名前（0 ～ 32 文字）	（空欄）
［管理者連絡先］ （SYS_CONTACT_TEL）*1	デバイスの管理者の連絡先（0 ～ 32 文字）	（空欄）
［管理者コメント］ （SYS_CONTACT_COMMENT）*1	デバイスの管理者のコメント(0～32文字)	（空欄）
（SERVICE_MAN_NAME）*2	サービスマンの名前（0 ～ 32 文字）	（空欄）
（SERVICE_TEL）*2	サービスマンの連絡先（0 ～ 32 文字）	（空欄）
（SERVICE_COMMENT）*2	サービスマンのコメント（0 ～ 32 文字）	（空欄）
［管理者パスワード］ （ROOT_PWD）	デバイスのパスワード（0 ～ 15 文字）	（空欄）

項目名	内容	工場出荷時の設定
[表示言語]（DISP_LANG）*1	リモート UI で表示する言語（English、Japanese、Default）	Default
[再送回数] （EMAIL_RETRY）*1	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの最大再送回数（0 ～ 5 回）	0
[再送間隔] （EMAIL_DELAY）*1	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの再送までの時間（1 ～ 60 分）	5
[To アドレス] （EMAIL_ADDR1）*1 （EMAIL_ADDR2）*1	電子メール通知機能でメールを送信する宛先（0 ～ 128 文字）	（空欄）
[Reply-to アドレス] （EMAIL_REPLY1）*1 （EMAIL_REPLY2）*1	電子メール通知機能で送信するメールの返信アドレス（0 ～ 128 文字）	（空欄）
[通知のタイミング] （EMAIL_NOTIFY1）*1 （EMAIL_NOTIFY2）*1	電子メール通知機能でメールを送信する条件 2：ジョブ終了時 4：デバイスエラー発生時 8：消耗品交換要求時 0：通知条件なし	0
[署名] （EMAIL_SIG1）*1 （EMAIL_SIG2）*1	電子メール通知機能で送信するメールの署名（0 ～ 255 文字）	（空欄）
[リンク先] （LINK_NAME1）*1 （LINK_NAME2）*1	リモート UI の［サポートリンク］ページに表示されるリンク先（0 ～ 32 文字）	（空欄）
[URL] （LINK_URL1）*1 （LINK_URL2）*1	リモート UI の［サポートリンク］ページに表示される URL（0 ～ 128 文字）	（空欄）
[コメント] （LINK_COMMENT1）*1 （LINK_COMMENT2）*1	リモート UI の［サポートリンク］ページに表示されるコメント（0 ～ 64 文字）	（空欄）
[リンク先] （DOWNLOAD_SITE_NAME）*1	リモート UI の［サポートリンク］ページに表示されるリンク先（0 ～ 32 文字）	Download Service
[URL] （DOWNLOAD_SITE_URL）*1	リモートUIのサポートリンクページに表示される URL ／リモート UI の［デバイス管理］ー[ネットワーク] ページにある[ファームウェア］の［ダウンロードサイト］をクリックしたときの URL（0 ～ 128 文字）	http://www.canon-sales.co.jp/drv-upd/nic/index-j.html
[コメント] （DOWNLOAD_SITE_COMMENT）*1	リモートUIのサポートリンクページに表示されるコメント（0 ～ 64 文字）	Update network firmware

項目名	内容	工場出荷時の設定
[SNMPv1] (SNMP_V1_ACCESS_ENB) *1	SNMPv1 プロトコルによるアクセス	YES
[アクセス権限] (SNMP_V1_ACCESS_MODE) *1	SNMPv1 エージェントの動作モード(Read-Only、Read-Write)	Read-Write
[コミュニティ名] (PUB_COMMUNITY) *1	SNMP のコミュニティ名(0 ～ 32 文字)	public
[SNMPv3] (SNMP_V3_ACCESS_ENB) *1	SNMPv3 プロトコルによるアクセス	NO
[TCP/IP 印刷を制限する] (TCP_CONT_ENB) *1	印刷できるユーザを制限するかどうか	NO
[指定アドレスを許可する] ／ [指定アドレスを拒否する] (TCP_CONT_MODE) *1	[IP アドレス](TCP_CONT_LIST)で入力したユーザからの印刷を許可／拒否する(Accept、Reject)	Accept
[IP アドレス] (TCP_CONT_LIST) *1	TCP/IP 印刷の制限に指定した IPアドレス	(空欄)
[SNMP 設定 / 参照を制限する] (SNMP_CONT_ENB) *1	SNMP設定／参照ができるユーザを制限するかどうか	NO
[指定アドレスを許可する] ／ [指定アドレスを拒否する] (SNMP_CONT_MODE) *1	[IP アドレス](SNMP_CONT_LIST)で入力したユーザからSNMPプロトコルによる設定／参照を許可／拒否する(Accept、Reject)	Accept
[IP アドレス] (SNMP_CONT_LIST) *1	SNMP 設定／参照の制限に指定した IP アドレス	(空欄)
[マルチキャスト探索を制限する] (SLP_CONT_ENB) *1	マルチキャスト探索できるユーザを制限するかどうか	NO
[指定アドレスに応答する] ／ [指定アドレスに応答しない] (SLP_CONT_MODE) *1	[IP アドレス](SLP_CONT_LIST)で入力したユーザからのマルチキャスト探索に応答する／しない(Accept、Reject)	Accept
[IP アドレス] (SLP_CONT_LIST) *1	マルチキャスト探索の制限に指定したIP アドレス	(空欄)
[MACアドレスアクセスを制限する] (MAC_CONT_ENB)	アクセスできるデバイスを制限するかどうか	NO
[指定アドレスを許可する] ／ [指定アドレスを拒否する] (MAC_CONT_MODE)	[MAC アドレス](MAC_CONT_LIST)で入力したデバイスからのアクセスを許可／拒否する(Accept、Reject)	Accept
[MAC アドレス] (MAC_CONT_LIST)	アクセスを許可／拒否する MAC アドレス	(空欄)

項目名	内容	工場出荷時の設定
[アクセスログ] (SEC_LOG_ENB) *1	セキュリティアクセスログを取得するかどうか	NO
[取得するログ] (SEC_LOG_KIND) *1	取得するセキュリティアクセスログ 0：取得するアクセスログなし 1：TCP/IP 印刷拒否 2：SNMP 設定／参照拒否 3：TCP/IP 印刷拒否と SNMP 設定／参照拒否 4：マルチキャスト探索拒否 5：TCP/IP 印刷拒否とマルチキャスト探索拒否 6：SNMP 設定／参照拒否とマルチキャスト探索拒否 7：すべてのアクセスログを取得	0

■ TCP/IP 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
[フレームタイプ] (TCP_FRAME_TYPE)	TCP/IP で使用しているフレームタイプ	Ethernet II
(G_ARP_ENB) *2	Gratuitous ARP 機能を使用するかどうか	YES
[DHCP によるアドレス設定] (DHCP_ENB)	IP アドレスの設定に DHCP を使用するかどうか	NO
[BOOTP によるアドレス設定] (BOOTP_ENB)	IPアドレスの設定に BOOTPを使用するかどうか	NO
[RARP によるアドレス設定] (RARP_ENB)	IP アドレスの設定に RARP を使用するかどうか	NO
[IP アドレス] (INT_ADDR)	プリンタの IP アドレス	192.168.0.215
[サブネットマスク] (NET_MASK)	サブネットマスク	0.0.0.0
[ゲートウェイアドレス] (DEF_ROUT)	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
[DNS サーバアドレス] (DNS_ADDR) *1	DNS サーバの IP アドレス	0.0.0.0
[DNS の動的更新] (DDNS_ENB) *1	本デバイスを DNS に動的に登録するかどうか	NO
[DNS ホスト名] (HOST_NAME) *1	本デバイスのホスト名（0 ～ 63 文字）	（空欄）

項目名	内容	工場出荷時の設定
[DNS ドメイン名] (DOMAIN_NAME) *1	本デバイスの所属するドメイン名(0 ～ 64 文字)	(空欄)
[SMTP サーバ名] (SMTP_ADDR) *1	メールサーバの IP アドレスまたは名前 (0 ～ 64 文字)	(空欄)
[WINS による名前解決] (WINS_ENB) *1	WINS による名前解決機能を使用するかどうか	YES
[WINS サーバアドレス] (WINS_ADDR1) *1	WINS サーバアドレス	0.0.0.0
[WINS ホスト名] (WINS_HOSTNAME) *1	WINS ホスト名の登録 (0 ～ 15 文字)	(空欄)
[スコープ ID] (NBT_SCOPE_ID) *1	プリンタ、コンピュータの通信範囲を決めるための識別子 (0 ～ 220 文字)	(空欄)
[SNTP サーバ名] (SNTP_ADDR) *1	SNTP サーバの IP アドレスまたは名前 (0 ～ 64 文字)	(空欄)
(SNTP_CHECK_ INTERVAL)*2	SNTP 更新間隔 (10min、30min、1hours、3hours、6hours、12hours、24hours)	1hours
[マルチキャスト探索設定] (SLP_ENB) *1	マルチキャスト探索に応答するかどうか	YES
[スコープ名] (SLP_SCOPE) *1	マルチキャスト探索で使用するスコープ名 (0 ～ 32 文字)	default
[SMTP 認証] (SMTP_AUTH_ENB)	SMTP 認証を行うかどうか	NO
[ユーザ名] (SMTP_USER)	SMTP 認証で使用するユーザ名 (0 ～ 64 文字)	(空欄)
[パスワード] (SMTP_PASS)	SMTP認証で使用するパスワード(8～15 文字)	(空欄)
(USE_IP_PORT_NAME)*2	ユニキャスト通信モードを使用するかどうか	NO

ネットワーク設定に利用できるソフトウェア

ネットワーク設定は、以下を使用して行うことができます。

○：設定可能 ×：設定不可 △：一部の設定が可能（➞ ネットワーク設定項目一覧：P.5-2）

設定の種類	Web ブラウザ（リモート UI）	FTP クライアント	NetSpot Device Installer	ARP/PING コマンド	プリンタステータスウィンドウ
IP アドレスの初期設定（➞P.2-26、2-35、2-37）	×	×	○	○	○ *
プロトコル設定（➞P.2-71）	○	○	△	×	×
電子メール通知機能の設定（➞P.3-4、3-46）	○	○	×	×	×
印刷できるユーザの制限（➞P.3-10、3-46）	○	○	×	×	×
SNMP プロトコルによる設定／参照できるユーザの制限（➞P.3-15、3-46）	○	○	×	×	×
マルチキャスト探索できるユーザの制限（➞P.3-22、3-46）	○	○	×	×	×
MAC アドレスアクセスの制限（➞P.3-27、3-46）	○	○	×	×	×
SMTP 認証（➞P.3-32、3-46）	○	○	×	×	×
セキュリティアクセスログの取得（➞P.3-36、3-46）	○	○	×	×	×

* LBP3600 をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウによる IP アドレスの初期設定はできません。

ネットワーク設定の初期化

ネットワークボードの設定値を工場出荷時の値に戻したいときは、リモート UI、FTP クライアント、NetSpot Device Installer のいずれかの方法で行います。

- •リモート UI：「ネットワーク設定を初期化する」（➞P.3-43）を参照してください。
- •FTP クライアント：「FTPクライアントを使用してプリンタを管理する」（➞P.3-46）を参照してください。
- •NetSpot Device Installer：
  1. デバイスリストで、工場出荷時の設定値に戻したいプリンタを選択し、［デバイス］メニューから［工場出荷時の設定に戻す］を選択します。
  2. メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。
  3. 「デバイスをリセットしました。」というメッセージが表示されたときは、［OK］をクリックします。正常にリセット処理を行うため、［OK］をクリックしたあと、約 20 秒間はそのままお待ちください。ネットワークボードのリセットが完了すると設定が有効になります。「デバイスの電源を入れなおしてください。」というメッセージが表示されたときは、［OK］をクリックして、プリンタの電源を入れなおすと設定が有効になります。

もし、上記のいずれの方法も行えない場合は、次の手順でディップスイッチを操作して、ネットワークボードの設定値をリセットすることができます。ネットワークボードをリセットする作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

重要

- ネットワーク設定の初期化は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。印刷中やデータの受信中に行うと、受信したデータが正しく印刷されなかったり、紙づまりや故障の原因になります。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合に、NetSpot Device Installer を使用してネットワークボードの設定値を工場出荷時の値に戻すときは、次のことに気をつけてください。
  Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer を使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。異なるサブネット上にあるプリンタを探索する場合は、NetSpot Device Installer の Readme を参照して、［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページに「NetSpot Device Installer」を登録してください。
- ここに記載されているネットワークボードの取り外し手順や、取り付け手順がお使いのプリンタと異なる場合があります。取り外し手順や、取り付け手順の詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

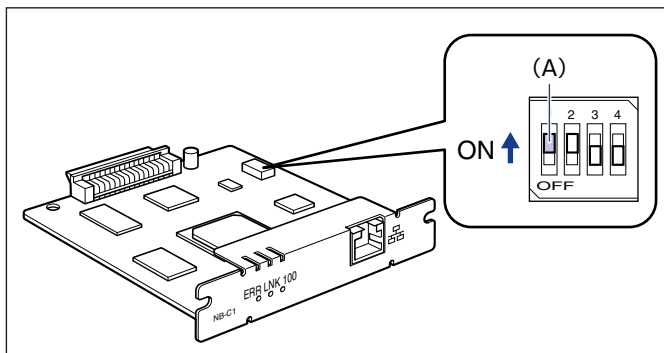
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

3 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要　ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

4 ディップスイッチ 1（A）をオン側に切り替えます。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要　ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

5 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 ネットワークボードの上下を、付属の２本のネジで固定します。

7 電源コード、アース線を接続します。

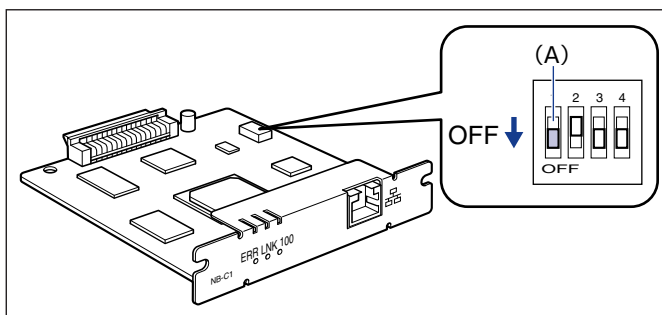
8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにし、印刷可ランプが点灯するまで待ってから、電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにします。

10 電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

11 電源コード、アース線を取り外します。

12 ネットワークボードを取り外し、ディップスイッチ１（A）をオフ側に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

13 ネットワークボードを取り付けます。

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

14 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

15 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントに接続します。

16 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

ユニキャスト通信モードを使用する

ユニキャスト通信モードについて

ユニキャスト通信モードを使用する場合は、通常（ブロードキャスト通信モード）とは異なり、プリンタからのステータスの送信でユニキャストを使用した通信を行います。

ユニキャスト通信モードを使用する場合は、FTP クライアントでネットワークボードの設定をユニキャスト通信モードにします。

重要

• ネットワークボードのIPアドレスを設定する方法によって、ポートを追加するときに表示される以下の画面で［IP アドレスまたはプリンタ名］に入力する値が異なります。

ネットワークボードに割り当てるIP アドレスを手動で設定する場合 (使用する IPアドレスがわかっている場合)：

・［IP アドレスまたはプリンタ名］に IP アドレスを入力してください。

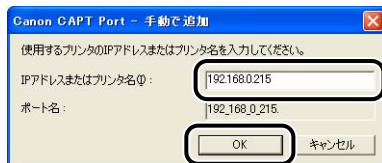
・DNS サーバを用いて設定する場合は、ネットワークボードの DNS 設定を行います。さらに［IP アドレスまたはプリンタ名］にプリンタ名（DNS サーバに登録される DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力します。例えば、ホスト名を「AAA」、ドメイン名を「BBB.co.jp」にした場合は「AAA.BBB.co.jp」と入力します。ただし、DHCP などから IP アドレスを取得するときに同時にドメイン名（CCC.co.jp）が取得できる場合は「AAA.CCC.co.jp」と入力します。

ネットワークボードに割り当てる IP アドレスを DHCP などで設定する場合：

・プリンタの起動時に、常に同じ IP アドレスがネットワークボードに割り当てられるように DHCP などを設定します。この場合、上記の「ネットワークボードに割り当てる IP アドレスを手動で設定する場合」をご覧ください。

・プリンタの起動ごとに、異なる IP アドレスがネットワークボードに割り当てられる場合は、まずネットワークボードの DNS 設定を行います。さらに、［IP アドレスまたはプリンタ名］にはプリンタ名（DNS サーバに登録される DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力します。例えば、ホスト名を「AAA」、ドメイン名を「BBB.co.jp」にした場合は「AAA.BBB.co.jp」と入力します。ただし、DHCP などから IP アドレスを取得するときに同時にドメイン名（CCC.co.jp）が取得できる場合は「AAA.CCC.co.jp」と入力します。

ネットワークボードの DNS 設定については、「リモート UI によるプロトコル設定」(→P.2-72)を参照してください。

- ポートを追加するときに表示される以下の画面で［IP アドレスまたはプリンタ名］に入力して［OK］をクリックし、正常に通信が行われた場合は、［Canon CAPT Port - プリンタポートの追加］ダイアログボックスが閉じます。

正常に通信が行われない場合は「指定したプリンタと通信できませんでした。入力した内容で操作を続行しますか？」というメッセージが表示されます。このメッセージは以下の状態のときなどに表示されますので、設定した内容を確認して問題がないときは、［OK］をクリックします。設定した内容を変更するときは、［キャンセル］をクリックします。

・プリンタの電源が入っていない

・プリンタの電源が入っている場合、何らかの理由でデバイスから応答がない

- ユニキャスト通信モードを使用する場合は、必ずネットワーク管理者へお問い合わせください。

メモ　ユニキャスト通信モードの設定後、プリンタステータスウィンドウに「ネットワークボードエラー」または「ネットワーク通信エラー」と表示されている場合は、プリンタステータスウィンドウの［最新の情報に更新］ボタンをクリックしてください。

5 付録

ネットワークボードの設定をユニキャスト通信モードにする

1 コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトを起動します。

Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。
Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。
Windows Me の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［MS-DOS プロンプト］を選択します。
Windows 98 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［MS-DOS プロンプト］を選択します。

2 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

ftp ＜プリンタの IP アドレス＞

3 ユーザ名として、「root」を入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

● **プリンタにパスワードを設定しているとき**

❑ パスワードを入力します。

● プリンタにパスワードを設定していないとき

❑ パスワードは入力せずに、キーボードの［ENTER］キーのみを押します。

4 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

get config <ファイル名>

config ファイルがダウンロードされます。<ファイル名>に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

重要　Windows 98/Me の場合は、<ファイル名>に「config」と入力しないでください。

メモ　config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

5 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを開きます。

6「USE_IP_PORT_NAME」を「YES」に編集します。

入力例： USE_IP_PORT_NAME. ：YES

7 config ファイルを保存します。

8 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

put <ファイル名> CONFIG

メモ　<ファイル名>には、ダウンロードしたときに入力した config ファイルのファイル名を入力します。

9 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ　プリンタを再起動（電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってからオンにする）しても設定が有効になります。

10「quit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

11「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

コマンドプロンプト、または MS-DOS プロンプトが終了します。

重要　通常のモード（ブロードキャスト通信モード）に戻す場合は、「USE_IP_PORT_NAME」を「NO」に編集します。
入力例：USE_IP_PORT_NAME．：NO

メモ　ユニキャスト通信モードの設定後、プリンタステータスウィンドウに「ネットワークボードエラー」または「ネットワーク通信エラー」と表示されている場合は、プリンタステータスウィンドウの［最新の情報に更新］ボタンをクリックしてください。

ファームウェアを更新する

ファームウェアの更新は、アップデートファイルを指定し、プリントサーバのファームウェアをアップデートします。

重要

- お使いのプリンタによって、対応するネットワークボードのファームウェアのバージョンが異なります。古いバージョンのファームウェアの場合、正常に動作しないことがあります。
  キヤノンホームページ（http://canon.jp/）から、最新のアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアを更新してください。
  なお、プリンタに付属の CD-ROM 内の「NB-C1_Firmware」フォルダに収められているアップデートファイルを使用して、ファームウェアを更新することもできます。
  プリンタに付属のCD-ROMに収められているファームウェアのバージョンの確認方法および更新方法については、「NB-C1_Firmware」フォルダに収められている README ファイルをご覧ください。
- 正常にファームウェアを更新できなかった場合やファームウェアの更新についての詳細は、ファームウェアに添付の README ファイルを参照してください。
- ファームウェアの更新は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。また、ファームウェアの更新中は印刷を行わないでください。正常にファームウェアが更新されません。

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

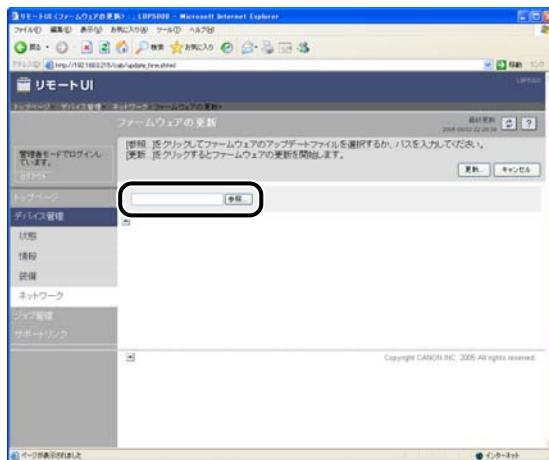
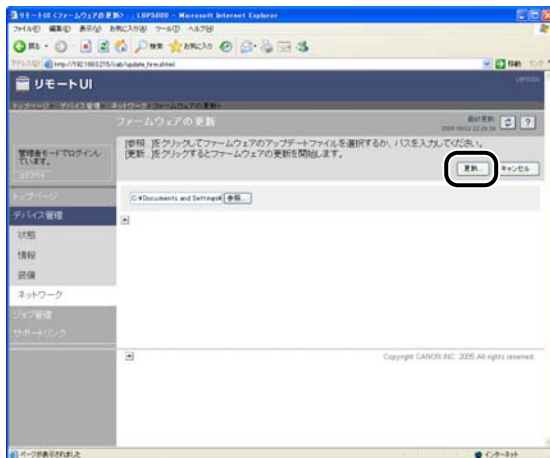
入力例：http://192.168.0.215/

2 [ログイン] をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[ログイン] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 [デバイス管理] メニューから [ネットワーク] をクリックします。

4 [バージョン] で現在のファームウェアのバージョンを確認して、[ファームウェアの更新] をクリックします。

5 [参照] をクリックしてファームウェアのアップデートファイル選択するか、パスを入力します。

6 ［更新］をクリックしてファームウェアを更新します。

重要　正常にファームウェアを更新できなかった場合は、ファームウェアに添付の README ファイルを参照してください。

おもな仕様

ハードウェア仕様

CPU	RISC 100MHz
ROM	2MB（フラッシュ ROM）
RAM	8MB
ネットワークインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX 共用（RJ-45） 全二重・半二重
ランプ	3 個（ERR、LNK、100）

ソフトウェア仕様

対応プロトコル	TCP/IP
TCP/IP	フレームタイプ：Ethernet II
プリンティングソフトウェア	CAPT (Canon Advanced Printing Technology)

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］ <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

R-IJ-1280AB